

Canon

EOS DIGITAL ソフトウェア

EOS Viewer Utility

Windows

EOS Capture

Macintosh

PhotoStitch

対応機種

EOS-1D Mark II

EOS-1Ds

EOS-1D

J

使用説明書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。
本書には製品をより安全にご使用いただくための注意事項や、操作の手助けとなるマーク、ソフトウェアの使用に関する契約内容などが本書の冒頭に記載されています。これらの内容をご一読いただいでから、各章の内容をお読みになり、正しくご使用ください。

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ② 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- ③ 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気づきの点がありましたら、別紙のキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ④ このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

ソフトウェア製品使用許諾契約書について

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約にご同意いただいた場合のみソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ですが、本ソフトウェア製品を使用される前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未使用のまま速やかに他の同梱の製品並びに領収書（購入を証するものを含みます。）とともに買い上げいただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品を使用された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともに提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はその内容によりキヤノンまたはキヤノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾

- ① お客様は、「許諾ソフトウェア」を、一時に一台のパソコンにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のパソコンで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をパソコンネットワーク上の複数のパソコンで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。
- ② お客様は、再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により、第三者に「許諾ソフトウェア」を使用もしくは利用させることはできません。
- ③ お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のパソコンのハードディスクなどの記憶装置1台のみに1コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証

キヤノンは、お客様が「許諾ソフトウェア」を購入した日から90日の間、「許諾ソフトウェア」が格納されているディスク（以下「ディスク」といいます。）に物理的な欠陥がないことを保証します。当該保証期間中に「ディスク」に物理的な欠陥が発見された場合には、キヤノンは、「ディスク」を交換いたします。

4. 保証の否認・免責

- ① 前項に定める場合を除き、キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他ソフトウェア製品に関していかなる保証もいたしません。
- ② キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

5. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。

6. 契約期間

- ① 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用された時点で発効します。
- ② お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- ③ キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- ④ 本契約は、上記②または③により終了するまで有効に存続します。上記②または③により本契約が終了した場合、キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、本製品の代金をお返しいたしません。お客様は、本製品の代金の返還をキヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店に請求できません。
- ⑤ お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去した上、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

7. 一般条項

- ① 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- ② 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

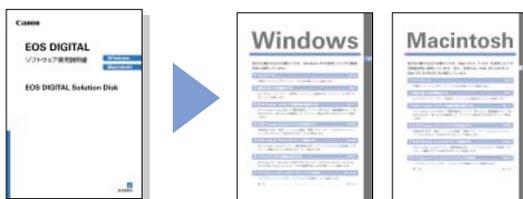
以上
キヤノン株式会社

登録商標について

- CanonおよびEOSは、キヤノン株式会社の商標です。
- Adobe、Photoshopは、アドビ システムズ社の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- IBM PC/ATシリーズは、米国International Business Machines社の商標または登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- iBookおよびiMac、QuickTimeは、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MacintoshおよびPowerBook、Power Macintosh、FireWireは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の構成と操作説明、本文中のマークについて

- 本書はWindows章、Macintosh章の順に構成されています。



- 本書では、Windows XP Professional/Home EditionをWindows XP、Windows Millennium EditionをWindows Me、Windows 2000 ProfessionalをWindows 2000、Windows 98 Second EditionをWindows 98 SEと表記しています。
- 各OSの操作方法が共通のときは、WindowsではWindows XP、MacintoshではMac OS X (10.2) を使用したときの画面を例に説明しています。
- 本書では、EOS-1D Mark IIを使用したときの操作方法、画面を例に説明しています。各カメラ固有の機能については、必要箇所に補足説明を入れています。
- 本文中の【 】内の語句は、パソコンの画面上に表示されるボタン名称やアイコン名称などを示しています。
- 本文中の（ ）内の数字は、参照ページを示しています。
- カメラの操作については、カメラに付属の使用説明書を読まれたことを前提に説明しています。
- 各ソフトウェアの制限事項については、各ソフトウェアの「Readme」、「はじめにお読みください」もあわせて参照してください。
- EOS Viewer Utilityからの画像転送には、別途レタッチソフトが必要です。また、TWAIN Driverの起動には、別途TWAIN Driver対応のソフトウェアが必要です。本文中に記載しているEOS Viewer Utilityから画像を転送するときの説明や、TWAIN Driver対応のソフトウェアの説明は、Adobe Photoshop 7.0を例に行っています。
- 本文中の以下のマークのついた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。



：ソフトウェアやパソコンの操作に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。



：基本操作に加えて、知っておいていただきたい事項が書かれています。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

同梱のCD-ROMをCD-ROM対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。音楽用CDプレイヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。またヘッドフォンなどをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を負う恐れがあります。

ソフトウェアについて

同梱されているCD-ROMに収められているソフトウェアの主な機能を紹介します。

イオス デジタル ソリューションディスク

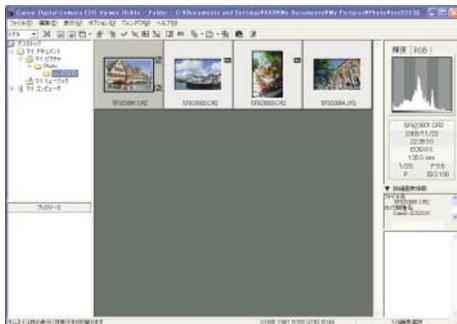
EOS DIGITAL Solution Disk

イオスビューワーユーティリティ イオスキャプチャー
EOS Viewer Utility / EOS Capture

Windows

Macintosh

- 画像の取り込みや表示、RAW画像の現像処理、パーソナル機能などのカメラへの設定、カメラを制御してのリモート撮影を行うことができる、EOS DIGITAL カメラ専用のソフトウェアです。
- カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込み、画像の一覧表示や個別画像の1枚表示、撮影情報やヒストグラムが確認できます。
- 画像の回転、プロテクト、保存、音声再生、インデックス印刷、レタッチソフトへの転送ができます。
- RAW画像の表示や、各種の現像条件の設定を行うことができます。
- カラーマネージメントシステム対応。
- sRGB、Adobe RGBの色空間に対応。
- パーソナル機能や現像パラメーターなどを、カメラに設定することができます。
- リモート撮影機能 (EOS Capture) によりカメラを制御して、1枚撮影、タイマー撮影、インターバルタイマー撮影ができます。また、撮影画像はパソコンに直接、取り込むことができます。



フォトスティッチ
PhotoStitch

Windows

Macintosh

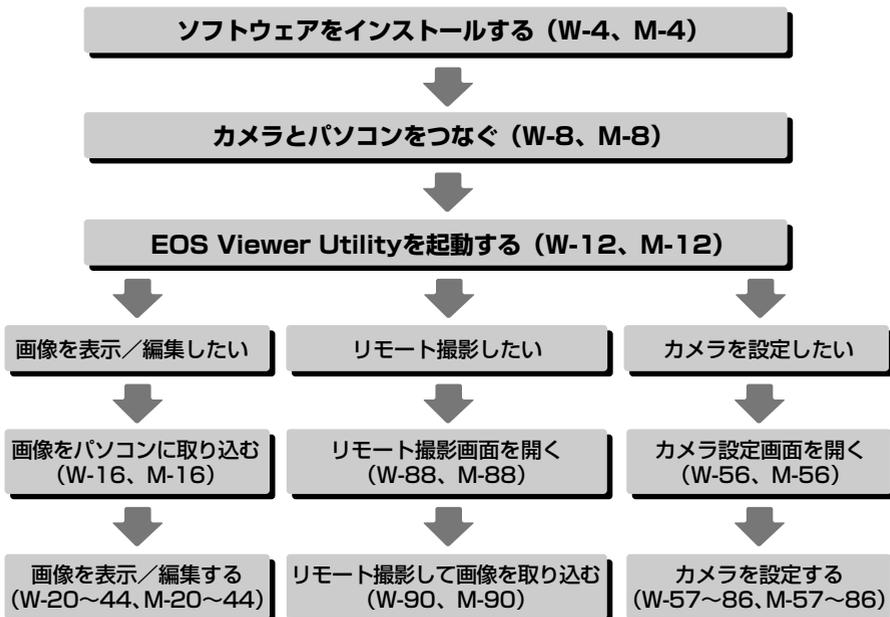
- 撮影した複数の画像を合成して、パノラマ写真などが簡単に作成できる画像合成ソフトウェアです。

ダブルユーアイエードライバー トゥエイン ドライバー
WIA Driver / TWAIN Driver

Windows

- WIA Driver、TWAIN Driverは、カメラとEOS Viewer Utilityの通信を制御するソフトウェアです。EOS Viewer Utilityを使用するには、Windows XP、Meを使用している方はWIA Driverを、Windows 2000、98 SEを使用している方はTWAIN Driverを、必ず一緒にインストールしてください。
- WIA Driverを単体で使用したときや、TWAIN DriverをTWAIN機能対応ソフトと一緒に使用したときは、JPEG画像の取り込み用ソフトとして機能します。

操作の流れ



- このほか、WIA Driver/TWAIN Driver (W-97) では、カメラから簡単にJPEG画像を取り込むことができます。また、PhotoStitchでは複数の画像を合成して、パノラマ写真を簡単に作ることができます。

Windows

各OSの操作方法が共通のときは、Windows XPを使用したときの画面を例に説明しています。

1 インストール.....W-3

付属のソフトウェアをインストールする手順について説明します。

2 画像を取り込む準備をするW-7

カメラやカードリーダー（市販品）とパソコンの接続方法、インストールの完了方法について説明します。

3 EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する.....W-11

EOS Viewer Utilityを使って撮影画像をパソコンへ取り込み、画像編集を行って保存する方法や、取り込んだ画像をレタッチソフトに転送する方法などについて説明します。

4 EOS Viewer Utilityでカメラを設定するW-55

所有者名や日付／時刻、パーソナル機能、現像パラメーター、カスタムホワイトバランスなどをカメラに設定する方法について説明します。

5 EOS Viewer Utilityでリモート撮影するW-87

EOS Viewer Utilityのリモート撮影機能を使い、パソコンからカメラを制御してのリモート撮影やカメラの設定方法について説明します。

6 ドライバでJPEG画像を取り込むW-97

Windows XP、Windows Me用のWIA Driverや、Windows 2000、Windows 98 SE用のTWAIN Driverで、JPEG画像を取り込む手順について説明します。

7 トラブルシューティングとソフトウェアの削除.....W-103

トラブルシューティングや、ソフトウェアの削除について説明します。

索引.....W-117

ソフトウェア動作環境

付属のソフトウェアは、次の動作環境に対応しています。

OS (オーエス)	Windows XP (Home Edition/Professional)、 Windows Me、Windows 2000、Windows 98 SE
機種	上記の日本語版OSがプリインストールされていて、 IEEE1394接続部を装備したパソコン * アップグレード機は非対応
CPU (シーピーユー)	Windows XP : Pentium 300MHz以上 Windows Me、2000、98 SE : Pentium 150MHz以上
RAM (ラム)	Windows XP : 256MB以上 Windows Me、2000、98 SE : 128MB以上
インターフェース	IEEE1394
ハードディスク空き容量	EOS Viewer Utility/EOS Capture : 300MB以上 WIA Driver : 25MB以上 TWAIN Driver : 25MB以上 PhotoStitch : 40MB以上
ディスプレイ	画面の解像度 : 1024×768ピクセル以上 画面の色 : 中 (16ビット) 以上

- Windows 98では、使用しているパソコンの環境により、正しく動作しないことがあります。Windows 98 SE以降のOSを使用してください。
- インストールには、CD-ROMドライブが必要です。

インストール



この章では、付属のソフトウェアをインストールする手順について説明します。

手順通りにインストールできないときは、「トラブルシューティング」(W-104)を参照してください。

ソフトウェアをインストールする	W-4
正しいインストール手順	W-4

ソフトウェアをインストールする

- 使用しているパソコンが、ソフトウェア動作環境（W-2）に対応していることを確認してから、手順通りにインストールしてください。

正しいインストール手順

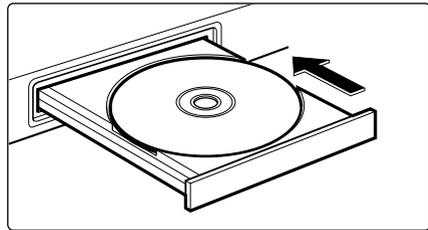
- ソフトウェアのインストールは、必ず以下の手順通りに行ってください。
 - 1 パソコンを起動する（手順1）
 - 2 ソフトウェアをインストールする（手順2～9）
 - 3 CDを取り出す（手順10）
 - 4 カメラとパソコンを接続して、インストールを完了する（W-8）
- ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを絶対に接続しないでください。インストールが正しく行われません。接続は、CDを取り出したあとに行います。
- ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを接続してしまったときは、「トラブルシューティング」（W-107）を参照してください。

1 パソコンを起動する

- 他のソフトウェアが起動しているときは、すべて終了します。

2 CD（EOS DIGITAL Solution Disk）を入れる

- ➔ インストーラーパネルが表示されます。



3 【インストール】 ボタンを押す

- ➔ 【インストールの準備をしています。】画面が表示され、しばらくすると、【Solution Disk InstallShieldウィザードへようこそ】画面が表示されます。

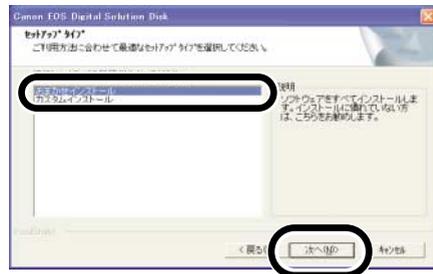


- パソコンを再起動する画面が表示されたときは、表示にしたがって再起動してください。再起動後は、自動的にインストールが続行されます。

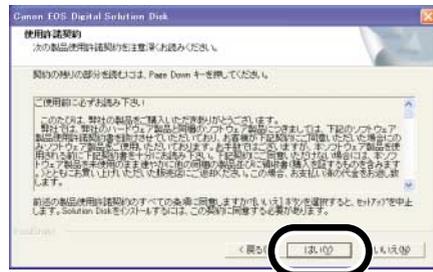
4 【次へ】 ボタンを押す



5 【おまかせインストール】 を選び、【次へ】 ボタンを押す



6 使用許諾契約の内容を確認し、【はい】 ボタンを押す

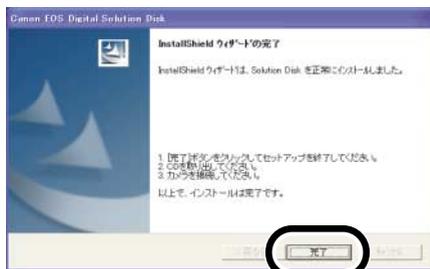


7 インストール先とソフトウェアを確認し、【次へ】 ボタンを押す

→ インストールがはじまり、約2〜3分で終了します。



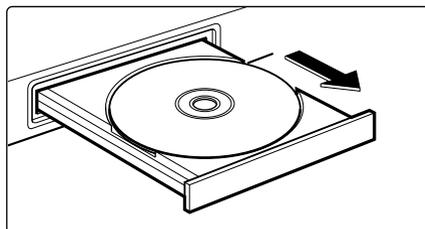
8 【完了】 ボタンを押す



9 【終了】 ボタンを押す



- ## 10 CDを取り出す
- 引き続き2章でカメラとパソコンを接続し、インストールを完了します。



 手順通りにインストールできないときは、「トラブルシューティング」(W-104)を参照してください。

画像を取り込む 準備をする



この章では、カメラやカードリーダー（市販品）とパソコンの接続方法、インストールの完了方法について説明します。

手順通りにインストールが完了できないときは、「トラブルシューティング」(W-105) を参照してください。

カメラとパソコンを接続する	W-8
はじめてカメラとパソコンを接続する	W-8
2回目以降にカメラとパソコンを接続する	W-9
カードリーダーを使う	W-10

カメラとパソコンを接続する

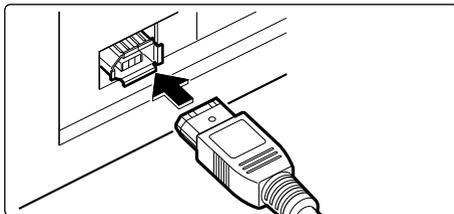
画像の取り込みやカメラを設定するときは、専用のIEEE1394 ケーブルで接続します。接続はパソコンを起動した状態で行うことができます。

はじめてカメラとパソコンを接続する

インストールを完了するために、はじめてカメラとパソコンを接続するときは、「ソフトウェアをインストールする」(W-4) に引き続き、次の操作を行います。

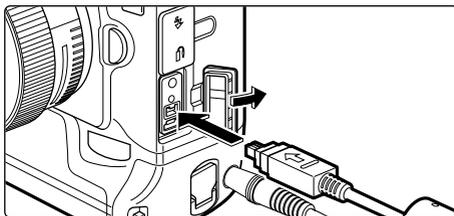
1 専用ケーブルのプラグをパソコンに接続する

- IEEE1394接続部にプラグを接続します。
- 接続部の位置については、パソコンの使用説明書を参照してください。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、どちらのプラグ(6ピンタイプ)を接続してもかまいません。

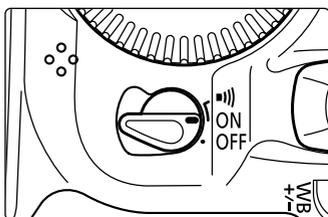


2 専用ケーブルのプラグをカメラに接続する

- カバーを開いて、〈DIGITAL〉端子部にプラグを接続します。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、どちらのプラグ(6ピンタイプ)を接続してもかまいません。



3 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする



- ポップアップメニューが表示され、自動的に消えるとインストールが完了します。
- Windows 2000、Me、98 SEでは、何も表示されずにインストールが完了します。ただし、パソコンの環境により、【新しいハードウェアが見つかりました】、【ドライバ情報データベースの作成】などの画面が表示されたときは、それらの画面が自動的に消えるとインストールが完了します。
- ➔ インストールが完了すると、カメラとパソコンが通信可能な状態になります。引き続き3章へすすんでください。

- ポップアップメニューや、表示された画面が自動的に消えるまで、絶対にカメラの電源スイッチを〈OFF〉にしないでください。
- パソコンを再起動する画面が表示されたときは、必ず再起動してください。
- 手順通りにインストールを完了できないときは、「トラブルシューティング」(W-105)を参照してください。

 手順3で表示されるポップアップメニューや画面は、2回目以降に接続したときには表示されません。

2回目以降にカメラとパソコンを接続する

2回目以降にカメラとパソコンを接続するときも、同様の手順で接続し、電源スイッチを〈ON〉にして、3章へすすんでください。

- カメラとパソコンを接続して、Solution Diskからインストールしたソフトウェアを起動しているときに次の操作を行うと、通信不良を起こすことがありますので、絶対に行わないでください。
 - ・カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
 - ・メモリーまたはCFカードスロットカバーを開ける
 - ・専用ケーブルを取り外す、バッテリーを取り出す、DCカブラーを取り外す
 - ・ACアダプターのプラグや電源コードを抜く
 上記の操作を行うときは、必ず、すべてのソフトウェアを終了してから行ってください。
- カメラの液晶モニターを表示している状態では、カメラとの通信はできません。必ず、液晶モニターの表示を消してから、カメラとパソコンを接続してください。
- カメラとパソコンが通信しているときは、カメラの表示パネル内容が点滅表示になることがあります。
- 専用ケーブル以外は使用しないでください。
- プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。不完全な接続は故障や動作不良の原因となります。
- ハブを介してカメラとパソコンを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 複数のIEEE 1394機器をパソコンに接続していると、カメラが正しく動作しないことがあります。他のIEEE 1394機器をパソコンから外して、カメラのみ接続してください。
- カメラのオートパワーオフ機能が働くと、自動的にカメラの電源が切れ、パソコンとの通信ができなくなります。事前にオートパワーオフ機能を「切」に設定してください。(付属のカメラ使用説明書「メニュー機能の操作と設定」)
- 1台のパソコンにカメラを2台以上接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 専用ケーブルを取り外すときは、必ずプラグの側面を持って引いてください。

- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、使用しているパソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときは、さらに何も操作を行わないとカメラとの通信が切断されます。通信を再開するには、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを〈OFF〉にして、再度〈ON〉にしてください。
 - カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。
万一、パソコンがスタンバイ（スリープ）状態になってしまったときは、専用ケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ（スリープ）状態から回復してください。スタンバイ（スリープ）状態で専用ケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ（スリープ）状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ（スリープ）状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。
-  ● カメラとパソコンを接続するときは、DCカブラーキットの使用をおすすめします。
- 使用するパソコンのIEEE1394接続部が4ピンタイプの場合は、EOS-1D Mark IIでは4ピン-4ピンタイプを、EOS-1Ds、EOS-1Dでは4ピン-6ピンタイプのキャノン製IEEE1394ケーブル（別売）を使用してください。

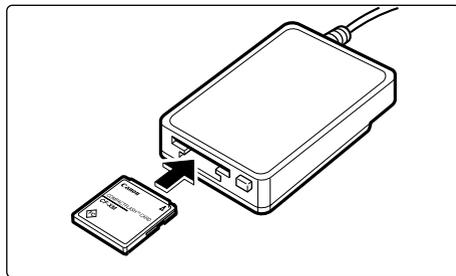
カードリーダーを使う

市販のカードリーダーをお持ちの方は、メモリーカードから直接パソコンへ画像を取り込むことができます。

1 カメラからメモリーカードを取り出す

2 メモリーカードをカードリーダーに差し込む

- 引き続き3章へすすんでください。



-  カードリーダーとパソコンの接続方法については、カードリーダーの使用説明書を参照してください。

EOS Viewer Utilityで 撮影画像を操作する



この章では、EOS Viewer Utilityを使って撮影画像をパソコンへ取り込み、画像編集を行って保存する方法や、取り込んだ画像をレタッチソフトに転送する方法などについて説明します。

EOS Viewer Utilityの制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme：【スタート】ボタン ▶ 【すべてのプログラム】（他のWindowsでは【プログラム】）▶ 【Canon Utilities】▶ 【EOSViewerUtility xx】（xxはバージョン）▶ 【EOSViewerUtility Readme】の順に選んで表示します。

EOS Viewer Utilityを起動する ...	W-12	画像を消去する	W-27
画像を取り込む	W-16	画像情報の確認とコメント入力...	W-27
フォルダ操作	W-18	音声を再生する	W-28
メモリーカードのフォルダ構造と		画像を印刷する	W-28
ファイル名について	W-18	RAW画像を編集する	W-29
よく使うフォルダを登録する...	W-19	RAW画像の現像について	W-29
画像の表示方法を選ぶ	W-20	現像条件を設定する	W-30
メイン画面（サムネイル表示）...	W-20	明るさを調整する	
プレビュー画面表示	W-20	（デジタル露出補正）	W-31
表示サイズを選ぶ	W-22	ホワイトバランスを調整する...	W-32
AFフレームの確認	W-22	ホワイトバランスを保存する...	W-36
画像を選ぶ	W-23	色と明るさを調整する	
メイン画面で画像を選ぶ	W-23	（トーンカーブ調整）	W-37
プレビュー画面で画像を選ぶ...	W-23	コントラストを選ぶ	W-40
画像にチェックマークをつける...	W-24	カラーマトリックスを選ぶ	W-41
画像を条件で選ぶ	W-24	カラー調整	W-43
メイン画面を最前面、最背面に		シャープネスを選ぶ	W-44
移動する	W-25	画像を保存する	W-45
プレビュー画面の表示サイズを		レタッチソフトに画像を送る	W-48
統一する	W-25	環境設定	W-50
画像を編集する	W-26	IPTC情報設定	W-51
画像にプロテクトをかける	W-26	PhotoStitchで画像を合成する ...	W-54
画像を回転する	W-26		

EOS Viewer Utilityを起動する

1 カメラとパソコンを接続する (W-8)

- カメラ名が表示された画面が表示されます。
- EOS XXXには使用しているカメラ名が表示されます。
- Windows Meでは、【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されます。
- 【キャンセル】 ボタンを押して、表示された画面すべてを終了します。



2 【スタート】 ボタン ▶ 【すべてのプログラム】 (他のWindowsでは【プログラム】) ▶ 【Canon Utilities】 ▶ 【EOSViewerUtility xx】 ▶ 【EOSViewerUtility】 を選ぶ

- メイン画面が表示されます。
- デスクトップの【EOSViewerUtility】アイコンをダブルクリックして起動することもできます。
- xxには、EOS Viewer Utilityのバージョンが表示されます。

メイン画面

メイン画面ツールバー

メニューバー

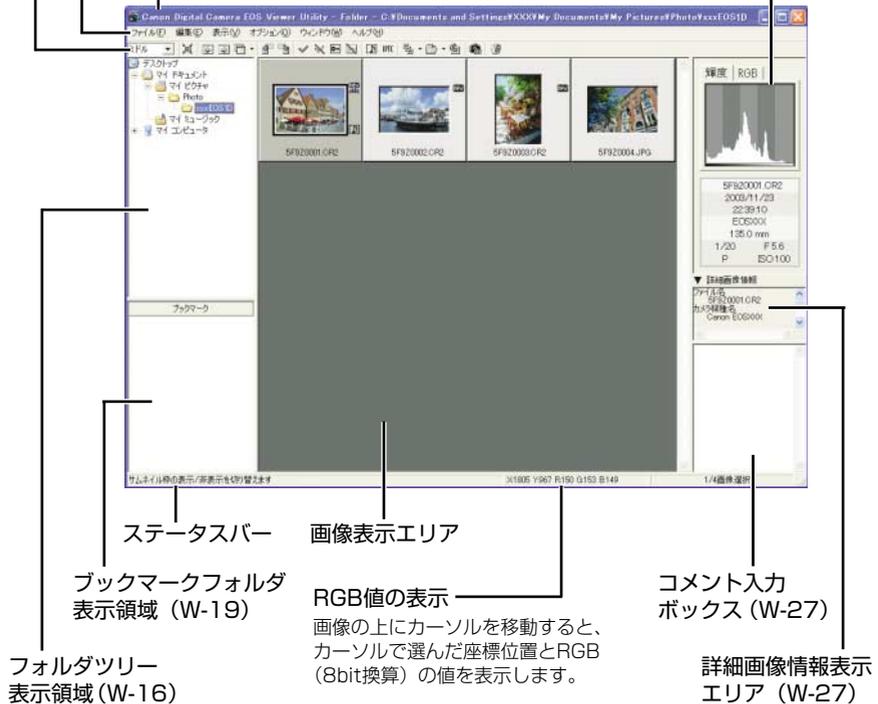
[ファイル]、[編集]、[表示]、[オプション]、[ウィンドウ]、[ヘルプ] メニューを表示します。

パス表示

接続しているカメラ、パソコン上のドライブやフォルダを表示します。

ヒストグラム

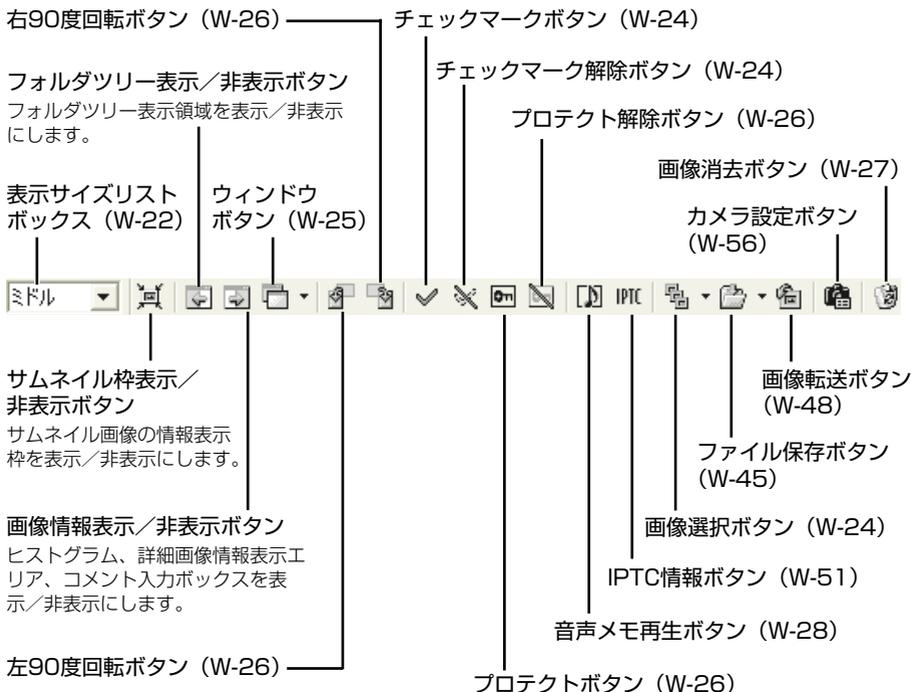
画像の明るさの分布を表示します。タブを選んで、ヒストグラムを輝度表示または、RGB表示に切り換えることができます。



※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

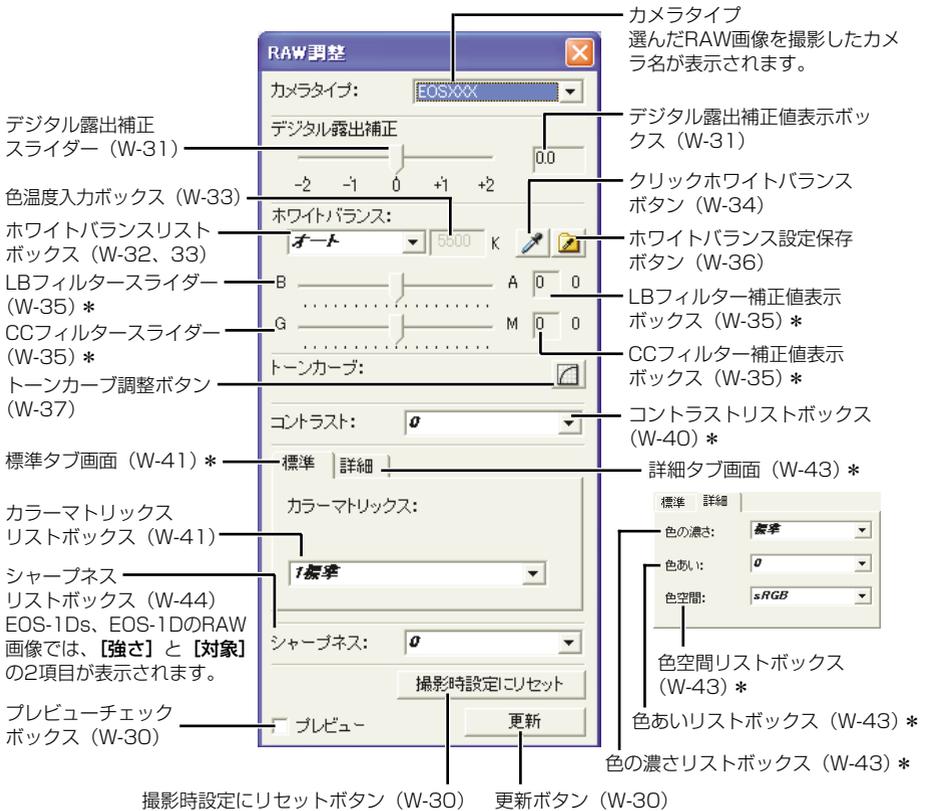
- EOS Viewer Utilityの終了は、[ファイル] メニュー ▶ [終了] を選びます。

メイン画面ツールバー



※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

RAW調整ツールパレット



● RAW画像を選ぶと、撮影したカメラ名と設定できる現象条件が表示されます。

● 【詳細】タブを選ぶと、【詳細】タブ画面が表示されます。

● *の機能は、EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では表示されません。

※ 上記のツールパレットは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- JPEG画像や、EOS Viewer UtilityでRAW画像から変換／保存したTIFF画像、JPEG画像を選んだときは、RAW調整ツールパレットには何も表示されず編集できません。
- カメラ内のメモリーカードに保存されているRAW画像を選んだときは、RAW調整ツールパレットには何も表示されず編集できません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

- 撮影時の設定は、リストボックスに太文字(ボールド)／斜体(イタリック)で表示されます。
- RAW調整ツールパレットを非表示にしているときは、【表示】メニュー ▶ 【ツールパレット】を選んで表示します。

画像を取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込み（コピー）、メイン画面に表示します。画像の取り込みは、フォルダツリー表示領域で行います。

1 画像を取り込むフォルダを作る

- 画像の取込先となるフォルダを右クリックし、表示されるメニューから【新規フォルダ】を選んで、フォルダ名を入力します。（ここでは、【マイ ピクチャ】フォルダに【Photo】フォルダを作成します）



2 コピーしたいフォルダを表示する

- カメラのアイコン ▶ 【1】フォルダ（CFカード）または、【2】フォルダ（SDカード）▶ 【DCIM】フォルダの順にダブルクリックします。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、カメラアイコン ▶ 【1】フォルダ ▶ 【DCIM】フォルダの順にダブルクリックします。
- 【xxxEOS1D】フォルダが表示されます。（xxxには100～999までの数字が表示されます）



3 フォルダをコピーする

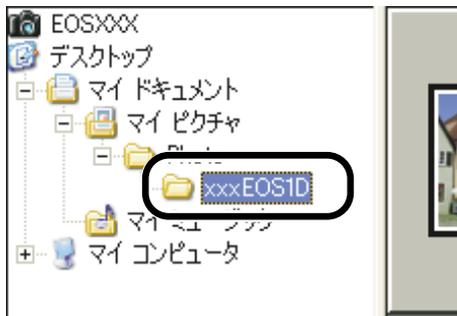
- 【xxxEOS1D】フォルダをドラッグし、コピー先のフォルダ上でドロップします。
- 【xxxEOS1D】フォルダがパソコンに保存されます。



4 コピーしたフォルダをクリックする

→ フォルダ内の撮影画像が表示されます。

- カメラをパソコンから取り外すときは、EOS Viewer Utilityを終了したあと、カメラの電源スイッチを<OFF>にして、専用ケーブルを取り外します。



W

- カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示 (W-20)、RAW画像の編集 (W-29) を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。
- 市販のカードリーダーを使用して撮影画像を表示するときも、同様の手順で目的のフォルダをパソコンに取り込みます。

対応画像形式について

EOS Viewer Utilityで表示できるのは以下の画像です。

- ・ EOS DIGITALカメラ (1D Mark II, 1Ds, 1D, 10D, D60, D30, Kiss Digital) で撮影したRAW画像、JPEG画像
- ・ EOS Viewer Utilityで保存したTIFF画像、JPEG画像 (W-45)
- ・ DCF規格に準拠したJPEG画像

※ 表示できない画像は、【?】が表示されます。

- 撮影したあとにパソコンで加工したり、ファイル名を変更した画像は、正常に表示できないことがあります。
- カメラ内の画像を表示しているときは、カメラは使用できません。

- **【縦横自動回転表示】** 機能があるカメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 選んだフォルダに大量の画像が保存されているときは、表示するまでに時間がかかることがあります。

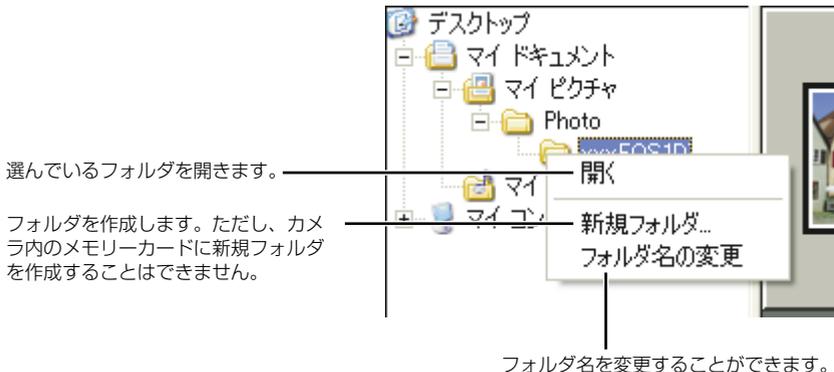
3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

フォルダ操作

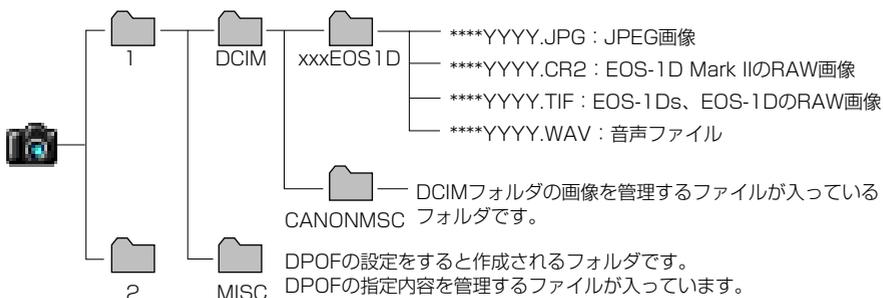
フォルダを右クリックして表示されるメニューで、各種のフォルダ操作を行うことができます。

フォルダを右クリックし、表示されるメニューから操作を選ぶ



フォルダツリー表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで他のフォルダへコピーすることができます。

メモリーカードのフォルダ構造とファイル名について



- EOS-1D Mark IIの【1】と【2】のフォルダ構造は同じです。
- EOS-1Ds, EOS-1Dでは、【1】のフォルダのみ表示されます。
- フォルダ名のxxxには、100～999までの数字が入ります。
- ファイル名の****には、工場出荷時に決められたカメラ固有の文字が入ります。
- ファイル名のYYYYには、0001～9999までの数字が入ります。

EOS-1D Mark IIでAdobe RGBに設定し撮影した画像は、DCF 2.0 (Exif 2.21)の規定により、ファイル名の先頭文字が「_」（アンダーバー）になります。

よく使うフォルダを登録する

よく使うフォルダをブックマークフォルダに登録することができます。

1 登録したいフォルダを表示する (W-16)

2 フォルダを登録する

- 右の図のように、登録するフォルダをドラッグ アンド ドロップします。
- 登録されると、ブックマークフォルダ表示領域にフォルダアイコンが表示されます。
- 登録を解除するときは、解除するフォルダを右クリックして、表示されるメニューから **削除** を選びます。



W

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

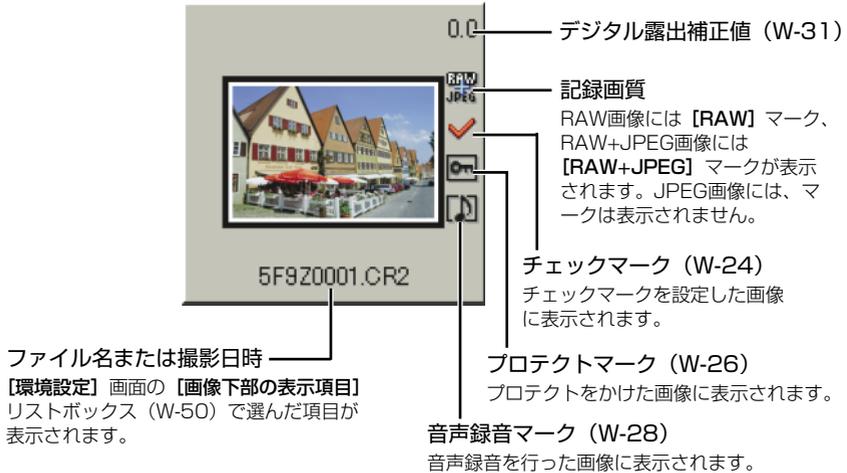
-  ブックマークフォルダ表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで並び順を変更することができます。
- 登録を解除したフォルダは、ブックマークフォルダ表示領域から表示が消えるだけで、フォルダおよびフォルダ内の画像は消去されません。

画像の表示方法を選ぶ

各画面の表示内容や表示サイズを選ぶことができます。

メイン画面（サムネイル表示）

画像には各種の情報が表示されます。



プレビュー画面表示

メイン画面の画像をダブルクリックすると、画像を拡大して表示します。

RAW画像の現像条件を変更するときは、この画面にして行います。

- プレビュー画面に表示できる画像は、最大6枚までです。
- プレビュー画面は、低解像な画像が表示されたあと高解像な表示に切り換わります。

プレビュー画面

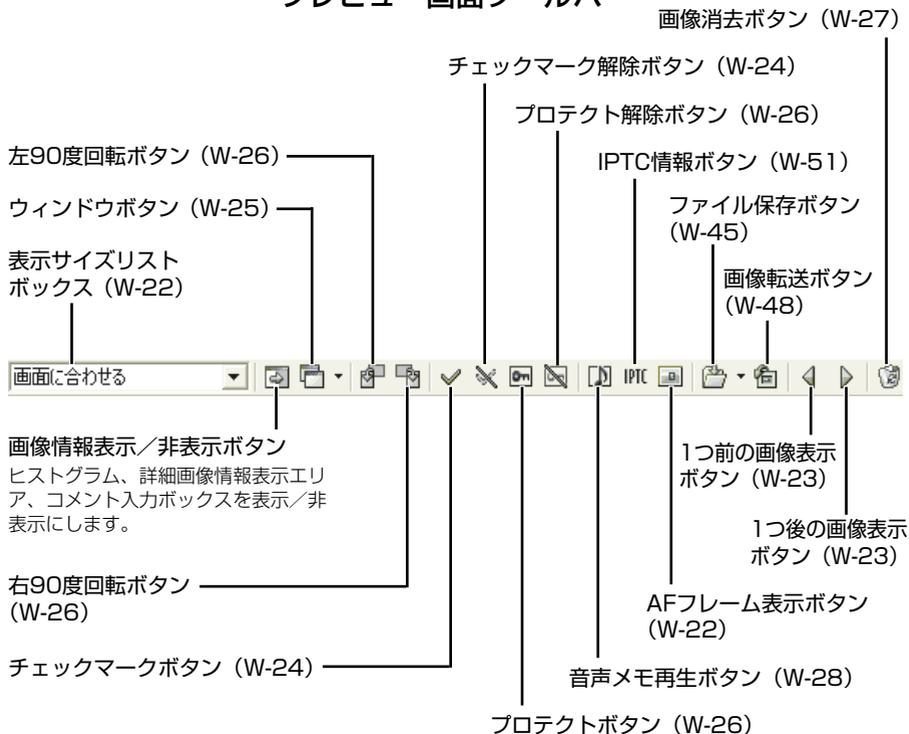
プレビュー画面ツールバー



RAW調整ツールパレット



プレビュー画面ツールバー



※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

📌 カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示、RAW画像の編集 (W-29) を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

📌 プレビュー画面の表示は、画像により、高解像な表示に切り換わるまで時間がかかることがあります。

表示サイズを選ぶ

リストボックスから表示サイズを選ぶ

- メイン画面では、[スモール] (64×42 pixels)、[ミドル] (100×66 pixels)、[ラージ] (160×106 pixels) から選びます。
- プレビュー画面では、[画面に合わせる]、[100%] から選びます。
- [100%] を選んだときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。

メイン画面



プレビュー画面



AFフレームの確認

撮影時に使用したAFフレームを表示することができます。

1 画像をプレビュー画面に表示する (W-20)

2 [AFフレーム] 表示ボタンを押す

- AFフレームが表示されます。
- 再度ボタンを押すと非表示になります。



 AFフレーム自動選択で撮影したときは、ピントの合ったAFフレームが複数表示されることがあります。

画像を選ぶ

メイン画面で画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

→ 選んだ画像の枠に色が付きます。

- 複数の画像を選びたいときは、〈Ctrl〉キーを押したまま画像をクリックします。
- 連続した画像を選びたいときは、最初の画像をクリックしたあと、〈Shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックします。



 キーボードの矢印キー（↑←→↓）を使って画像を選ぶこともできます。

プレビュー画面で画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

→ 選んだ画像が最前面に表示されます。



- プレビュー画面を1枚だけ表示しているときは、[1つ前の画像表示] ボタンまたは、[1つ後の画像表示] ボタンを押して、表示する画像を選ぶこともできます。

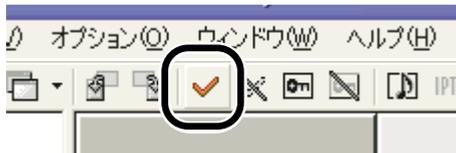


画像にチェックマークをつける

画像を選ぶときに便利な、チェックマークをRAW画像につけることができます。

【チェックマーク】 ボタンを押す

- ▶ チェックマークがつくと、画像の枠に【✓】が表示されます。



- 【チェックマーク解除】 ボタンを押すと、画像の枠から【✓】が消え、チェックマークが解除されます。



RAW画像以外の画像には、チェックマークは設定できません。

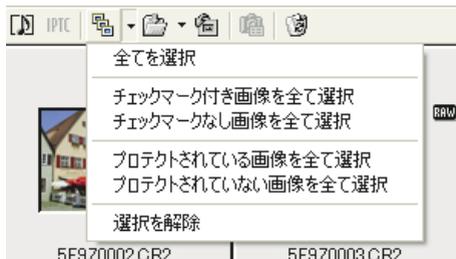
- 複数のRAW画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像にチェックマークが設定されます。
- 右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を条件で選ぶ

画像を条件で一度に選ぶことができます。

【画像選択】 ボタンを押して表示されるメニューから、画像の条件を選ぶ

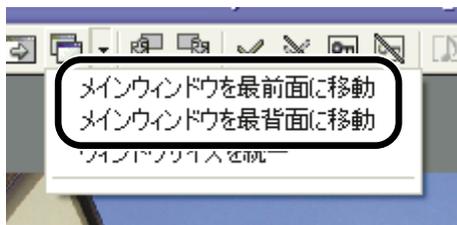
- ▶ 条件にあう画像が選ばれます。



メイン画面を最前面、最背面に移動する

【ウィンドウ】 ボタンを押して表示されるメニューから【メインウィンドウを最前面に移動】または、【メインウィンドウを最背面に移動】を選ぶ

- メイン画面が最前面または、最背面に移動します。



プレビュー画面の表示サイズを統一する

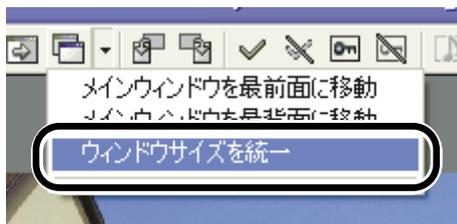
複数表示されているプレビュー画面の表示サイズを統一することができます。

1 サイズ統一の基準とする画像を選ぶ (W-23)



2 【ウィンドウ】 ボタンを押して表示されるメニューから【ウィンドウサイズを統一】を選ぶ

- プレビュー表示されているすべての画像が、同じサイズに統一されます。



画像を編集する

EOS Viewer Utilityで表示できるすべての画像に、各種の編集を行うことができます。



複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。

画像にプロテクトをかける

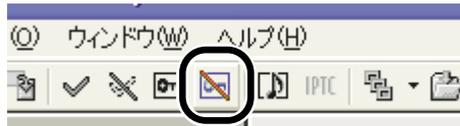
大切な画像を誤って消去しないように、プロテクトをかけることができます。

【プロテクト】 ボタンを押す

→ プロテクトがかかると、画像の枠にが表示されます。



● 【プロテクト解除】 ボタンを押すと、画像の枠からが消え、プロテクトが解除されます。



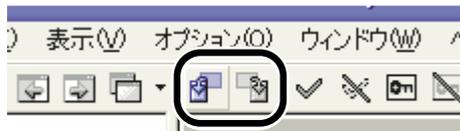
- カメラでプロテクトをかけた画像は、自動的にが表示されます。
- プロテクトは画像の消去のみを防止する機能で、画像に対する各種操作は行うことができます。
- 右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を回転する

選んだ画像を左右90度単位で回転させることができます。

【右90度回転】 ボタンまたは、【左90度回転】 ボタンを押す

→ 画像が選んだ方向に90度回転します。



- 【縦横自動回転表示】 機能があるカメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 回転した画像を他のソフトウェアで表示すると、画像の回転が反映されないことがあります。
- 右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を消去する

不要な画像をパソコンのゴミ箱に移動して消去します。

1 【画像消去】 ボタンを押す

→ 画像がゴミ箱に移動します。



2 デスクトップ上で【ゴミ箱】を右クリックし、表示されるメニューから【ゴミ箱を空にする】を選ぶ

→ 画像が消去されます。

- 手順2で【ゴミ箱を空にする】の操作を行い、消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- 大切な画像は、誤って消去しないようにプロテクト (W-26) をかけてください。

右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像情報の確認とコメント入力

撮影画像に記録されている情報を確認したり、コメントを入力することができます。



詳細画像情報表示エリア

- 各種の撮影情報が表示されます。項目数はカメラの設定により異なります。
- テキストデータとしてコピーし、他のソフトウェアへ貼り付けることができます。
- 【▼】 ボタンを押して、詳細画像情報表示エリアを非表示にすることができます。

コメント入力ボックス

半角英数字で120文字（全角60文字）まで入力することができます。
コメントを入力し、〈Enter〉キーを押します。

コメント入力ボックスでは、改行できません。

複数の画像を選んだときは、最後に選んだ画像の情報が表示されます。

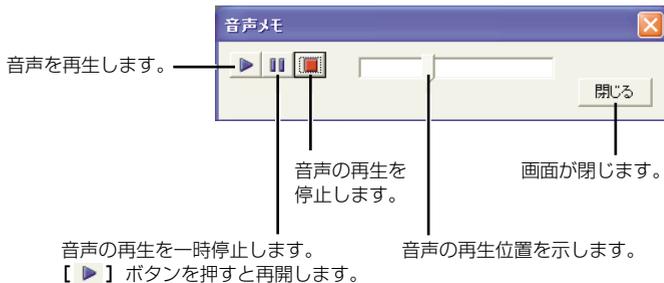
音声を再生する

音声が録音されている画像には、音声録音マークが表示されます。

- 1 【🔊】が表示されている画像を選び、【音声メモ再生】ボタンを押す
→ 【音声メモ】画面が表示されます。



- 2 ボタンやスライダーを操作して音声を再生する



画像を印刷する

撮影した画像をインデックス状に印刷することができます。

- 1 インデックス印刷したい画像を選ぶ (W-23)
- 2 【ファイル】メニュー ▶ 【インデックス印刷】を選ぶ
→ 印刷が開始されます。

🖨️ プリンターの設定を行うときは、【ファイル】メニュー ▶ 【用紙設定】を選んでください。

RAW画像を編集する

使用目的に最適な画像にするため、RAW画像の現像条件を設定することができます。

RAW画像の現像について

RAW画像は、撮影時にカメラで設定した現像条件（現像パラメーターやホワイトバランスなど）に基づいて現像処理が行われ、パソコンに表示されます。

● RAW画像は次の操作を行ったときに現像処理が行われて表示されます。

- ・ メイン画面からプレビュー画面に表示を切り換えたとき
- ・ プレビュー画面および、メイン画面で、現像条件を設定したとき
- ・ TIFF形式または、JPEG形式に変換して保存したとき
- ・ 設定したレタッチソフトに画像を転送したとき

また、現像処理を行ったときは、表示するまでに時間がかかります。

● 現像時間の目安

操作内容	メイン画面からプレビュー画面に表示を切り換えたとき	設定したレタッチソフトに画像を転送したとき
EOS-1D Mark II	約3秒	約35秒
EOS-1Ds	約4秒	約55秒
EOS-1D	約2秒	約30秒

- ・ 現像時間はあくまでも目安です。使用しているパソコン環境や画像により、現像時間は大きく異なります。
- ・ 現像時間は、当社試験基準によります。
(OS : Windows XP / CPU : Pentium 4 2.2GHz / RAM : 256MB使用時)
- ・ レタッチソフトに画像転送したときの現像時間には、レタッチソフト (Adobe Photoshop 7.0使用時) の起動時間を含んでいます。

🔒 カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示 (W-20)、RAW画像の編集を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

現像条件を設定する

現像条件の設定は、RAW調整ツールパレットで行います。

- 現像条件の設定は、RAW画像に手を加えるのではなく、仮想的に現像条件を適用します。そのため、何回でも条件を変更してやりなおしたり、設定した現像条件を撮影時の状態に戻すことができます。
- リニア処理は、画像保存のときやレタッチソフトに画像を転送したときに設定できる現像条件です。(W-46、W-49)

1 RAW画像をプレビュー画面に表示する (W-20)

- RAW調整ツールパレットを非表示にしているときは、**【表示】**メニュー ▶ **【ツールパレット】**を選んで表示します。

2 現像条件を設定する (W-31~W-44)

- **【撮影時設定にリセット】** ボタンを押すと、撮影時の設定状態に戻すことができます。
- **【プレビュー】** チェックボックスをチェックしておく、設定した現像条件がリアルタイムでRAW画像に適用されます。

3 **【更新】** ボタンを押す

- 現像処理が行われ、設定した現像条件がRAW画像に適用されます。
- 設定した現像条件は、自動的に画像に保存されます。



- メイン画面で複数の画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像に、設定した現像条件が適用されます。
- メイン画面で現像条件の設定を行うと、**【プレビュー】** チェックボックスをチェックしていなくても、設定した現像条件がリアルタイムで画像に適用されます。

明るさを調整する（デジタル露出補正）

画像の明るさを0.1段ステップ、±2段相当の範囲で調整することができます。

スライダーを左右にドラッグして調整する

- 調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。



W

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

ホワイトバランスを調整する

画像のホワイトバランスを調整することができます。調整したホワイトバランスは、パソコンに保存（W-36）したり、カメラに登録（W-82）することもできます。

ホワイトバランスを選ぶ

撮影したときの光源にもっとも近いホワイトバランスを選びます。

リストボックスからホワイトバランスを選ぶ



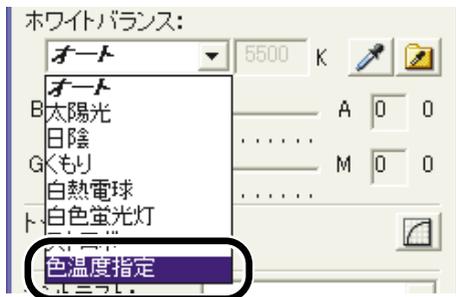
ホワイトバランス	内 容	色温度 K (ケルビン)
オート	自動的にホワイトバランスを調整します。	約3000～7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約5200
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約7000
くもり	曇天や日陰、薄暮、夕焼け空などで撮影したときに選びます。	約6000
白熱電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約3200
白色蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約4000
ストロボ	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約6000
色温度指定	ホワイトバランスの色温度を2800～10000K（100Kステップ）の範囲で直接設定することができます。（W-33）	約2800～10000

→ 選んだホワイトバランスが、RAW調整ツールパレットに設定されます。

色温度を設定する

色温度を設定し、ホワイトバランスを調整することができます。

1 リストボックスから【色温度指定】を選ぶ



2 色温度を入力する

- 【色温度】 入力ボックスに、2800K～10000Kまで（100Kステップ）の色温度を入力します。
- ➔ 入力した色温度が、RAW調整ツールパレットに設定されます。



W

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

クリックホワイトバランス

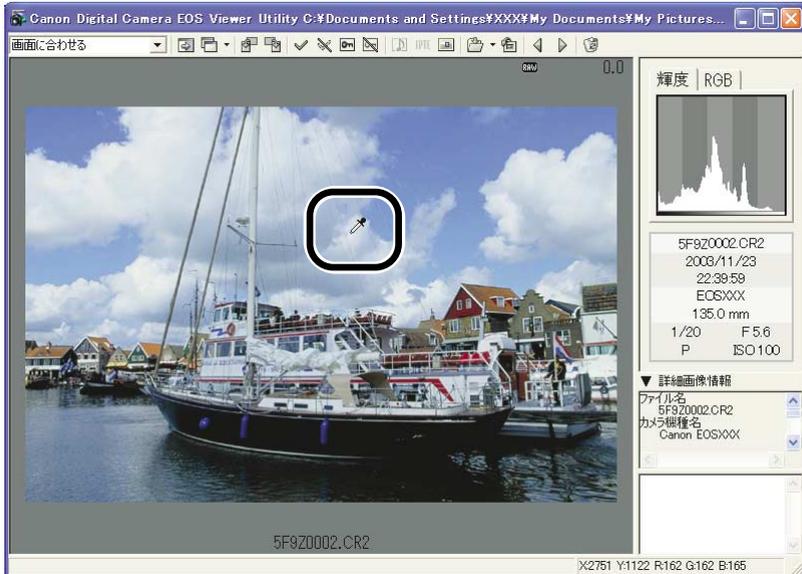
画像の白い部分を1か所選ぶと、自動的にホワイトバランスを調整することができます。

1 【クリックホワイトバランス】 ボタンを押す

- 画像の上にカーソルを移動すると、[左] が [右] に変わります。



2 画像の白い部分をクリックする



- 選んだ部分が白くなるように調整されます。



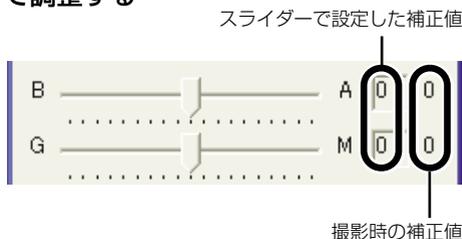
- クリックホワイトバランスは、【プレビュー】チェックボックスをチェックしていなくても、操作内容がリアルタイムで画像に適用されます。
- クリックホワイトバランスを使用すると、【ホワイトバランス】リストボックスには【白点指定】が表示されます。

ホワイトバランスを補正する

ホワイトバランスの標準色温度を補正することができます。この機能を使うと、市販品の色温度変換用フィルターや、色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。補正幅は各色9段です。

- 特に色温度変換フィルターや、色補正用フィルターの役割と効果を理解されている方におすすめます。
- この機能はEOS-1D Mark IIのRAW画像にのみ対応しています。

スライダーを左右にドラッグして調整する



【LBフィルター】スライダー：

色温度変換用のLBフィルターに相当し、B側にスライドするとブルー寄りに、A側にスライドするとアンバー寄りに補正されます。

【CCフィルター】スライダー：

色補正用のCCフィルターに相当し、G側にスライドするとグリーン寄りに、M側にスライドするとマゼンタ寄りに補正されます。

- ➔ 補正した数値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

 ブルー／アンバーの1段は、色温度変換フィルターの5ミレッドに相当します。
(ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表わす単位)

ホワイトバランスを保存する

調整したホワイトバランスをパソコンに保存して、カスタムホワイトバランス設定（W-82）で、カメラに登録することができます。

1 ホワイトバランスを調整する（W-32～W-35）

2 【ホワイトバランス設定保存】 ボタンを押す

→ 【名前を付けて保存】 画面が表示されます。



3 保存先を選び、ファイル名を入力して【保存】 ボタンを押す

→ ホワイトバランスデータが保存されます。

● EOS-1D Mark IIのRAW画像を調整して保存したホワイトバランスデータは、EOS-1Ds、EOS-1Dと互換性がありません。

- EOS-1DsとEOS-1DのRAW画像を調整して保存したホワイトバランスデータは、互換性があります。
- パソコンに保存したホワイトバランスデータは、Windows/Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

色と明るさを調整する（トーンカーブ調整）

トーンカーブを操作して、色彩や明るさを調整することができます。また、調整したトーンカーブは、パソコンに保存（W-39）したり、カメラに登録（W-80）することができます。

1 【トーンカーブ調整】 ボタンを押す

→ 【トーンカーブ】 画面が表示されます。

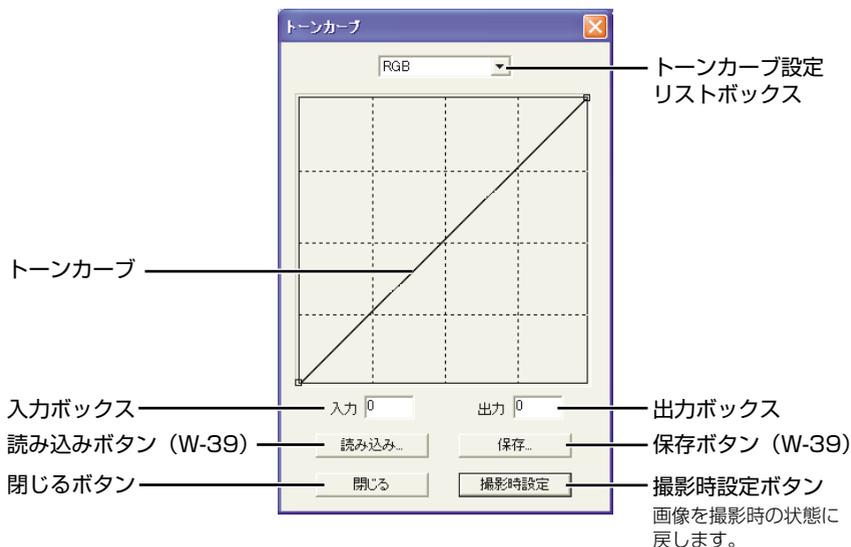
トーンカーブ:



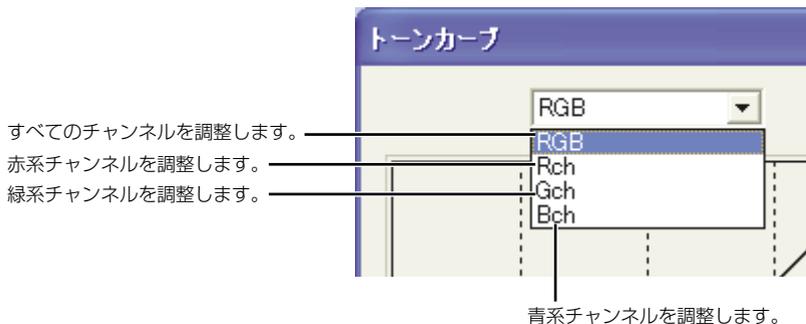
W

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

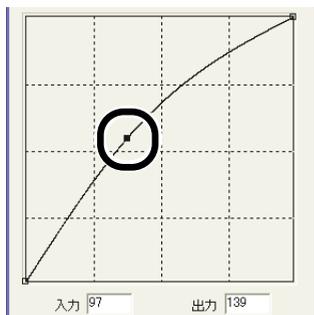


2 リストボックスからチャンネルを選ぶ



3 トーンカーブを調整する

- トーンカーブをクリックして **【■】** を表示し、任意の位置へドラッグします。
横軸：入力レベル
縦軸：出力レベル
- **【■】** を消去するときは、**【■】** を選び、<delete> キーを押します。
- **【■】** は4つまで表示することができます。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは4つのポイントが表示されます。また、ポイントの追加や削除はできません。
- トーンカーブ上の **【■】** を選び、**【入力】** ボックス／**【出力】** ボックスに数値を入力して調整することもできます。



4 RAW調整ツールパレットの【更新】ボタンを押す

- 調整したトーンカーブが画像に適用されます。
- 調整結果を確認し、手順2～4を繰り返して調整します。



5 【閉じる】ボタンを押す

- **【トーンカーブ】** 画面が閉じます。



トーンカーブを保存する

調整したトーンカーブを保存することができます。

1 トーンカーブを調整する (W-37)

2 【保存】 ボタンを押す

→ 【名前を付けて保存】 画面が表示されます。



3 保存先を選び、ファイル名を入力して【保存】 ボタンを押す

→ トーンカーブが保存されます。

EOS-1D Mark IIのRAW画像を調整して保存したトーンカーブデータは、EOS-1Ds、EOS-1Dと互換性がありません。

- EOS-1DsとEOS-1DのRAW画像を調整して保存したトーンカーブデータは、互換性があります。
- パソコンに保存したトーンカーブデータは、Windows/Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

トーンカーブを読み込む

保存したトーンカーブを、画像に適用することができます。

1 【読み込み】 ボタンを押す

→ 【ファイルを開く】 画面が表示されます。



2 トーンカーブの保存先を開き、ファイルを選んで【開く】ボタンを押す

→ トーンカーブが読み込まれます。

3 RAW調整ツールパレットの【更新】ボタンを押す

→ トーンカーブが画像に適用されます。

トーンカーブについて

トーンカーブは、調整前の画像（入力）と、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さをグラフ化したものです。撮影時に、カメラが自動的に調整した画像の明るさや色の濃さを調整することができます。

トーンカーブには、画像全体の入力と出力を一括して調整する「RGBトーンカーブ」と、R（赤）・G（緑）・B（青）の3原色の入力と出力を個別に調整するトーンカーブがあり、【トーンカーブ設定】リストボックスでチャンネルを切り換えて調整することができます。

横軸は、調整前の画像（入力）の明るさと色の濃さを表し、左側がシャドウ（画像の暗い部分）、右側がハイライト（画像の明るい部分）を示しています。

縦軸は、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さを表し、下側がシャドウ、上側がハイライトを示しています。

コントラストを選ぶ

画像の明暗差を強調するコントラストを調整することができます。

● この機能はEOS-1D Mark IIのRAW画像にのみ対応しています。

リストボックスから調整値を選ぶ

→ 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

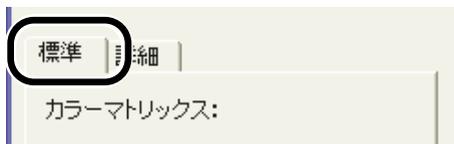


カラーマトリックスを選ぶ

フィルムに相当する色相・彩度や、色域特性（再現できる色の範囲）を選びます。

1 【標準】タブを選ぶ

- 【標準】タブ画面が表示されます。
- EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では【標準】タブは表示されません。手順2へ進んでください。



2 リストボックスからカラーマトリックスを選ぶ

- EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では【6CMセット1】【7CMセット2】は表示されません。



カラーマトリックス	設定内容
1 標準	自然な色の濃さと色あいで現像されます。 被写体の持つ自然な色を出したいときに効果的です。
2 ポートレート	ポートレート向きの色あいで現像されます。 肌色をきれいにしたいときに効果的です。
3 高彩度	高彩度なリバーサルフィルムに近い色の濃さで現像されます。 くっきりした色を出したいときに効果的です。
4 Adobe RGB	Adobe RGBに対応した色空間となるように現像されます。 主に商用印刷などの業務用途で使用します。 画像処理とAdobe RGB DCF 2.0 (Exif 2.21) についての知識がない方にはおすすめできません。sRGBのパソコン環境や、DCF 2.0 (Exif 2.21) に対応していないプリンターでは、とても控えめな感じに仕上がるため、撮影後、画像処理を行う必要があります。
5 低彩度	色の濃さが薄めになるように現像されます。 ひかえめな色で表現したいときに効果的です。

→ 選んだカラーマトリックスが、RAW調整ツールパレットに設定されます。

カラーマトリックスの設定内容について

カラーマトリックス	色空間	色の濃さ	色あい
1 標準	sRGB	標準	0
2 ポートレート	sRGB	標準	-2
3 高彩度	sRGB	濃い	0
4 Adobe RGB	Adobe RGB	標準	0
5 低彩度	sRGB	薄い	0



ICCプロファイルを付加することができます。(W-45)

カラー調整

色の濃さ、色あいを調整したり、色空間を設定することができます。

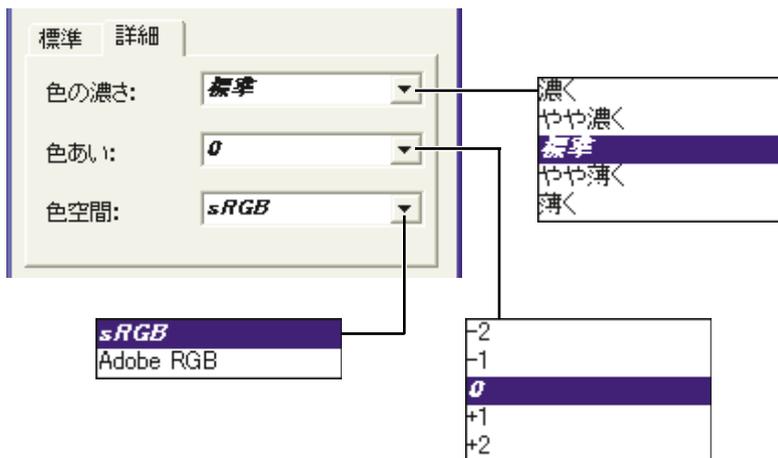
● この機能はEOS-1D Mark IIのRAW画像にのみ対応しています。

1 【詳細】 タブを選ぶ

→ 【詳細】 タブ画面が表示されます。



2 各リストボックスから設定を選ぶ



[-2] は強く、[-1] は弱く、肌色が赤めに調整されます。

[0] は、標準的な色みで調整されます。

[+2] は強く、[+1] は弱く、肌色が黄色めに調整されます。

→ 選んだ設定が、RAW調整ツールパレットに設定されます。

【色あい】 は、マイナス側に設定すると赤色寄り、プラス側に設定すると黄色寄りの色になります。

W

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

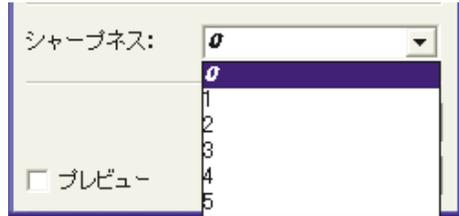
シャープネスを選ぶ

画像の輪郭を強調するシャープネスを調整することができます。

- EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では、【強さ】と【対象】が表示され調整することができます。

リストボックスから調整値を選ぶ

- EOS-1D Mark IIのRAW画像では【シャープネス】が調整できません。数値が大きくなるほど強く調整されます。



- EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では、【強さ】と【対象】が調整できます。



数値が大きくなるほど強く調整されます。

- 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。



選んだ被写体のパターンにシャープネスが適用されます。

画像を保存する

RAW画像をTIFF画像やJPEG画像に変換して保存したり、JPEG画像を別名で保存することができます。また、RAW画像をTIFF画像に変換して保存したときは、設定した色空間情報 (W-41～W-43) が、自動的にICCプロファイルとして画像に付加されます。

ICC (アイシーシー) とは、International Color Consortium (国際照明委員会) の略です。

1 保存したい画像を選ぶ (W-23)

2 【ファイル保存】 ボタンを押して表示されるメニューから【ファイル変換・保存】を選ぶ

- 【ファイル保存】 画面が表示されます。



3 各項目を設定して【OK】 ボタンを押す

- 選んだフォルダに画像が保存されます。



設定内容を適用して画像を保存します。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し、【ファイル保存】画面を閉じます。

 RAW画像を変換して保存したTIFF画像には、自動的にICCプロファイルが付加されます。ICCプロファイルを付加した画像をレタッチソフトで表示するときは、より正確な色を表示できるICCプロファイル対応のソフトウェアをおすすめします。

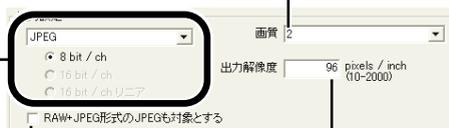
選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。

画像の保存先となるフォルダを指定することができます。



【以下の指定フォルダに保存】 ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。
【参照】 ボタンの横には、保存先のフォルダ名が表示されます。

リストボックスで、**【JPEG】** を選んだときの **【画質】** (圧縮率) を **【4 (最高画質)】** ~ **【1 (やや高圧縮率)】** から選びます。数値が大きくなるほど高画質なJPEG画像になります。



チェックするとRAW+JPEG形式で撮影したJPEG画像も、保存の対象になります。

保存するときの出力解像度を10~2000 pixels/inchの範囲で設定します。

保存する画像にRAW画像が含まれているときの、画像の変換形式を **【変換しない】**、**【JPEG】**、**【TIFF】** から選びます。**【TIFF】** を選んだときは、保存するときのbit数を **【8bit/ch】**、**【16bit/ch】**、**【16bit/ch リニア】** をから選ぶことができます。また、**【JPEG】** を選んだときは、**【8bit/ch】** で保存されます。保存後の拡張子は、次のようになります。

変換形式		拡張子
変換しない	EOS-1D Mark II	.CR2
	EOS-1Ds、EOS-1D	.TIF
JPEG形式 (8bit/ch)		.JPG
TIFF形式 (8bit/ch)		.TIF
TIFF形式 (16bit/ch、16bit/chリニア)		.TIF

チェックすると画像の名称を変更しないで保存します。



ファイルに付ける番号の桁数と開始番号を入力します。桁数は最大9桁まで設定できます。

ファイル番号の前に付けるファイル名です。使用できる文字数は、半角12文字（全角6文字）です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある【例】の部分に例が表示されます。

保存する画像に音声ファイルが含まれているときは、いっしょに保存することができます。

RAW画像をJPEG画像、またはTIFF画像に変換して保存するときにチェックすると、ファイル名の最後に以下の文字が付きま

変換形式	ファイル名
JPEG	RJ
TIFF (8bit/ch)	RT8
TIFF (16bit/ch、16bit/chリニア)	RT16、RT16L



右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

レタッチソフトに画像を送る

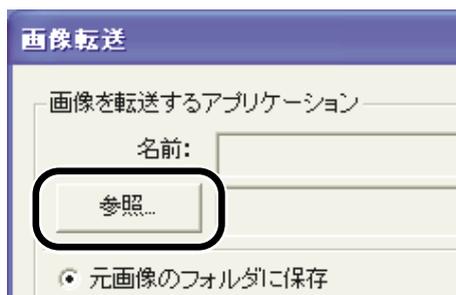
EOS Viewer Utilityに表示されている画像をレタッチソフトへ転送することができます。
ここでは、Adobe Photoshop 7.0を例にしています。

- 画像転送を行うには、Adobe Photoshopなど市販のレタッチソフトが必要です。
- 画像の転送をする前に必ず画像転送の設定を行ってください。

- 1** **【画像転送】 ボタンを押す**
→ **【画像転送】** 画面が表示されます。

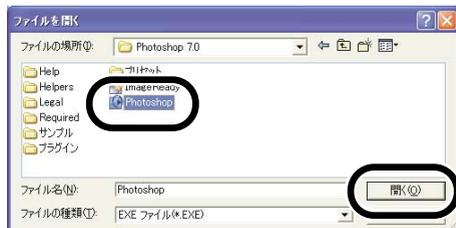


- 2** **【参照】 ボタンを押す**
→ **【ファイルを開く】** 画面が表示されます。



- 3** **画像を転送するレタッチソフト (Photoshop 7.0) を選ぶ**

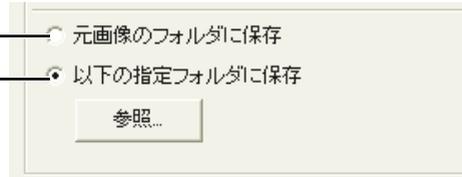
- [C:] ドライブ ▶ [Program Files] ▶ [Adobe] ▶ [Photoshop 7.0] ▶ [Photoshop] の順に選び、**【開く】** ボタンを押します。
- Photoshopが設定され、画面を閉じます。



4 ラジオボタンを選び、転送する画像を保存するフォルダを設定する

転送する画像を同じフォルダに、
新たな画像として保存します。

【参照】ボタンを押して、転送する
画像を保存するフォルダを指定し
ます。



5 【出力設定】項目、【ファイル名】項目を設定し、【OK】ボタンを押す



- 【出力設定】、【ファイル名】の設定方法については、「画像を保存する」(W-45)を参照してください。
- ➔ Photoshopが起動し、転送した画像が表示されます。
- ➔ 転送した画像は、手順4で設定したフォルダに保存されます。



- 画像転送機能に設定するレタッチソフト（市販品）は、16bit画像に対応したレタッチソフトの使用をおすすめします。
- RAW画像をTIFF画像に変換して転送したときは、設定した色空間情報（W-41～W-43）が、自動的にICCプロファイルとして画像に付加されます。
- 右クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

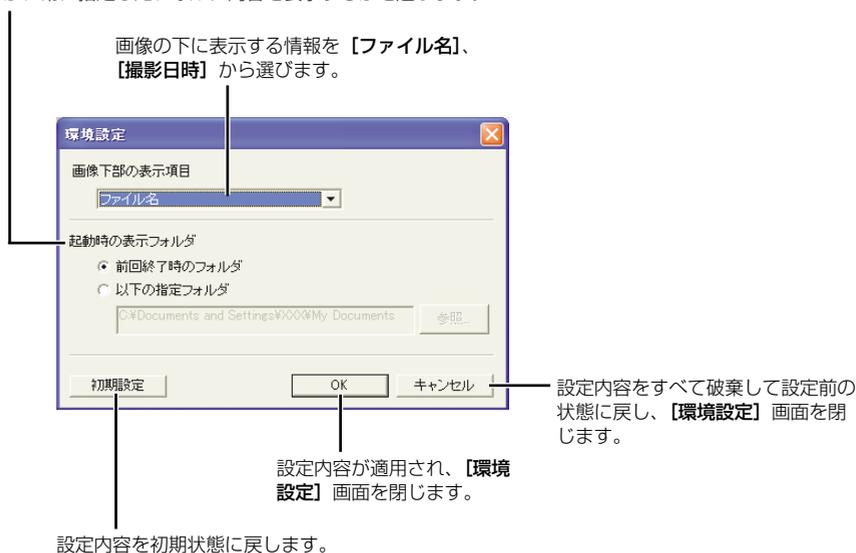
環境設定

EOS Viewer Utilityの各種設定を行うことができます。

1 【ファイル】メニュー ▶ 【環境設定】を選ぶ
→ 【環境設定】画面が表示されます。

2 各項目を設定して【OK】ボタンを押す
→ 設定内容が適用され、【環境設定】画面が閉じます。

EOS Viewer Utility起動時に、前回開いていたフォルダ内容を表示するか、常に指定したフォルダ内容を表示するかを選びます。



IPTC情報設定

IPTC (アイピーティーシー) とは、International Press Telecommunications Council (国際新聞電気通信評議会) の略で、新聞／通信社が、画像の転送を円滑に行うために定めた、画像に付加する報道用情報交換タグの規格です。

このIPTC情報をJPEG画像や、EOS Viewer UtilityでRAW画像から変換／保存したTIFF画像、JPEG画像に付加することができます。また、入力したIPTC情報をパソコンに保存し、他の画像に読み込んで適用することができます。

1 JPEG画像または、TIFF画像を選ぶ (W-23)

2 【IPTC情報】 ボタンを押す

→ 【IPTC情報】 画面が表示されます。



3 情報を入力する (W-52、W-53)

- 【IPTC-1】 ～ 【IPTC-3】 タブを選んでタブ画面を表示し、情報を入力します。
- 【名前を付けて保存】 ボタンを押して表示される画面で、入力したIPTC情報を保存することができます。
- 【読み込み】 ボタンを押して表示される画面で、保存したIPTC情報を読み込むことができます。

4 【保存】 ボタンを押す

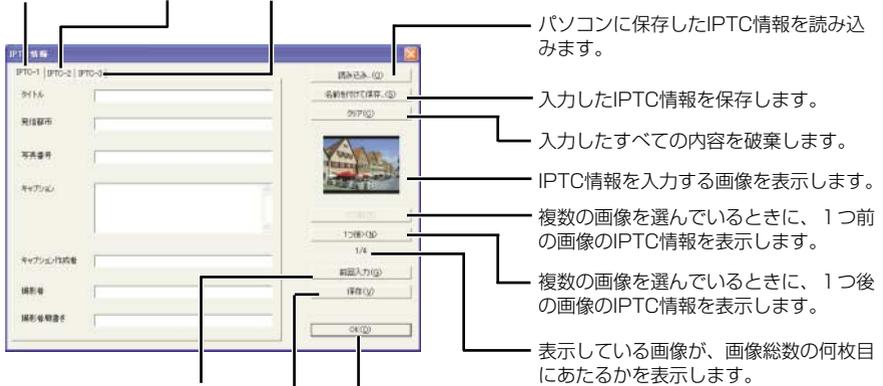
→ 設定したIPTC情報が画像に適用されます。

5 【OK】 ボタンを押す

→ 【IPTC情報】 画面が閉じます。

 パソコンに保存したIPTC情報設定データは、Windows／Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

IPTC-1タブ IPTC-2タブ IPTC-3タブ



【1つ前】ボタンまたは、【1つ後】ボタンを押す前に入力したIPTC情報を表示します。

【IPTC情報】画面を閉じます。

入力したIPTC情報を画像に適用します。

【IPTC-1】タブ画面設定項目

半角英数字で64文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で2000文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。



半角英数字で32文字まで入力できます。

【IPTC-2】 タブ画面設定項目

半角英数字で10文字まで入力できます。

リストボックスから、【最優先 (=1)】 / 【普通 (=5)】 / 【不急 (=8)】 のいずれかを選びます。

半角英数字で256文字まで入力できます。

半角英数字で8文字まで入力できます。

半角英数字で11文字まで入力できます。



半角英数字で32文字まで入力できます。

【IPTC-3】 タブ画面設定項目

半角英数字で3文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で256文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。



半角英数字で32文字まで入力できます。

PhotoStitchで画像を合成する

複数のJPEG画像を合成して、パノラマ写真を簡単に作成することができます。

- 1 **【スタート】 ボタン ▶ 【すべてのプログラム】 (他のWindowsでは【プログラム]) ▶ 【Canon Utilities】 ▶ 【PhotoStitch】 ▶ 【PhotoStitch】 を選ぶ**

→ 【PhotoStitch Launcher】 が表示されます。

- 2 **【画像を合成します】 ボタンを押す**



→ PhotoStitchが起動します。

- ガイダンスの説明にしたがって、画像を合成します。
- PhotoStitchの操作の詳細については、PhotoStitchのヘルプを参照してください。



- PhotoStitchでRAW画像は合成できません。
- PhotoStitchで合成できる画像は、最大4枚です。
- PhotoStitchで合成した画像をQuickTime VR形式で保存するには、QuickTime 3.0以上が必要です。使用しているパソコンにQuickTime 3.0以上がインストールされていないときは、別途ご用意ください。

EOS Viewer Utilityで カメラを設定する

4

W

この章では、所有者名や日付／時刻、パーソナル機能、現像パラメーター、カスタムホワイトバランスなどをカメラに設定する方法について説明します。

カメラ設定.....	W-56
基本設定.....	W-57
パーソナル機能設定.....	W-58
パーソナル機能で設定できる内容.....	W-62
設定内容の確認と保存／読み込み.....	W-75
撮影設定.....	W-77
現像パラメーター設定.....	W-78
トーンカーブ設定.....	W-80
カスタムホワイトバランス設定.....	W-82
カラーマトリックス設定.....	W-84
JPEG記録画質設定.....	W-86

4

カメラ設定

カメラ設定では、所有者名や日付／時刻、パーソナル機能、現像パラメーター、カスタムホワイトバランスなどをカメラに設定することができます。

1 カメラとパソコンを接続する (W-8)

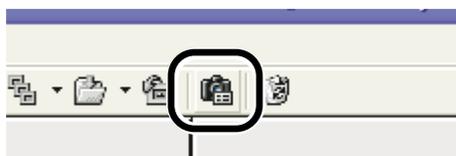
- ➔ カメラ名が表示された画面が表示されます。
- EOS XXXには使用しているカメラ名が表示されます。
- ➔ Windows Meでは、【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されます。
- 【キャンセル】 ボタンを押して、表示された画面すべてを終了します。



2 EOS Viewer Utilityを起動する (W-12)

3 【カメラ設定】 ボタンを押す

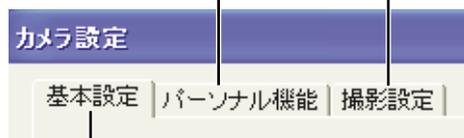
- ➔ 【カメラ設定】 画面が表示されます。



4 タブを選んでカメラを設定する

パーソナル機能を設定し、カメラに適用することができます。(W-58)

現像パラメーター (W-78)、トーンカーブ (W-80)、カスタムホワイトバランス (W-82)、カラーマトリックス (W-84)、JPEG記録画質 (W-86) をカメラに設定することができます。



所有者名と日付／時刻をカメラに設定したり、カメラのプロパティ情報やバッテリー、メモリーカードの状態を確認することができます。(W-57)

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは【基本設定】、【詳細設定】が表示されます。また、【詳細設定】では、パーソナル機能 (W-58)、現像パラメーター (W-78)、カスタムホワイトバランス (W-82) を設定しカメラに適用することができます。

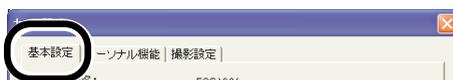
基本設定

所有者名や日付／時刻をカメラに設定したり、カメラ内のメモリーカードの状態を確認することができます。

1 【カメラ設定】 画面を表示する (W-56)

2 【基本設定】 タブを選ぶ

→ 【基本設定】 タブ画面が表示されます。



3 基本設定をする

所有者の名前を入力します。半角英数字で31文字まで入力できます。

数値を入力するか、【▲】／【▼】ボタンを押して設定します。

カメラのバッテリー残量を【】または、【】で表示します。DCカプラーキットを使用したときは【】が表示されます。

【基本設定】タブ画面で設定した内容がカメラに適用されます。

カメラ機種名、ボディ番号（シリアル番号）、ファームウェアのバージョンを表示します。

パソコンの日付／時刻データを取り込むことができます。

メモリーカードがカメラに装着されているか未装着かの確認や、空き容量、全容量を表示します。EOS-1Ds、EOS-1DではCFカードの情報が表示され、【フォーマット】ボタンを押せばCFカードの初期化を行うことができます。フォーマットは全ての記録内容が消去されますので注意してください。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し【カメラ設定】画面を閉じます。

すべてのタブ画面で設定した内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

4 【OK】 ボタンを押す

→ 設定内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

パーソナル機能設定

パーソナル機能を撮影目的に合わせて設定し、カメラに適用することができます。また、設定したパーソナル機能をパソコンへ保存したり、読み込むことができます。

1 【カメラ設定】 画面を表示する (W-56)

2 【パーソナル機能】 タブを選ぶ

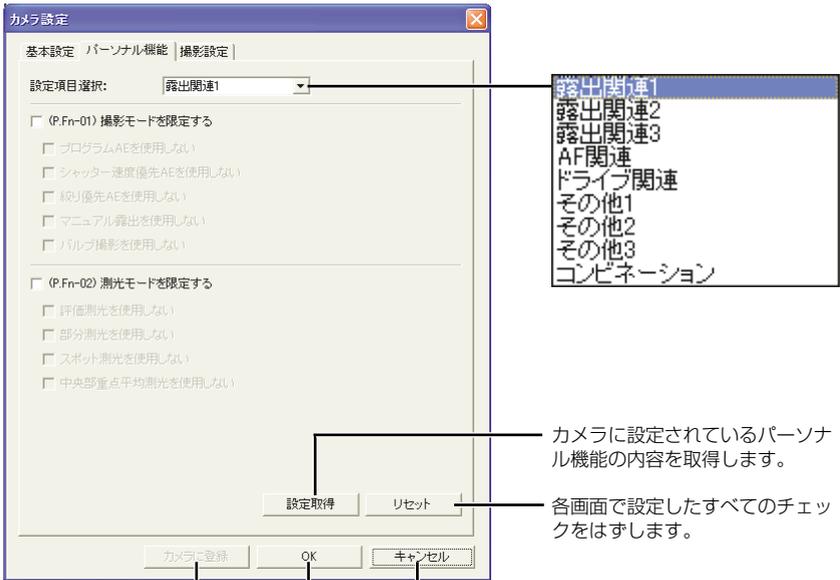
→ 【パーソナル機能】 タブ画面が表示されます。



- EOS-1Ds、EOS-1Dでは【詳細設定】タブを選び【パーソナル機能】ボタンを押します。

3 リストボックスから設定する画面を選ぶ

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、設定するタブを選びます。



カメラに設定されているパーソナル機能の内容を取得します。

各画面で設定したすべてのチェックをはずします。

【パーソナル機能】タブ画面で設定した内容がカメラに適用されます。

すべてのタブ画面で設定した内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し【カメラ設定】画面を閉じます。

→ 選んだ設定画面が表示されます。

- 【コンビネーション】画面では、設定したパーソナル機能の内容や、カメラへの適用状態を確認したり、パーソナル機能の保存／読み込みを行うことができます。(W-75)

各画面では次のパーソナル機能を設定することができます。

[露出関連1]

P.Fn-01 撮影モードを限定する (W-62)

P.Fn-02 測光モードを限定する (W-62)

[露出関連2]

P.Fn-03 マニュアル露出撮影時の測光モードを指定する (W-63)

P.Fn-04 シャッター速度の上限、下限値を設定する (W-63)

P.Fn-05 絞り数値の上限、下限値を設定する (W-64)

[露出関連3]

P.Fn-06 撮影モードと測光モードの登録・切り換え (W-64)

P.Fn-07 連続撮影時、ブラケティング撮影を繰り返し行う (W-66)

P.Fn-08 ブラケティング撮影時の撮影枚数 (W-66)

P.Fn-09 C.Fn-09-2、3のブラケティング撮影順をプラス補正→標準→マイナス補正の順に行う (W-66)

P.Fn-10 プログラムシフトのシフト量を保持する (W-67)

[AF関連]

P.Fn-13 AI サーボ AF連続撮影を撮影速度優先で行う (W-68) *1、2

P.Fn-14 レンズ駆動によるピント検出(サーチ駆動)を行わない (W-68)

P.Fn-15 AF補助光の投光を禁止する (W-68)

P.Fn-16 ピント固定・シャッターボタン全押し状態で合焦したら自動撮影する (W-69)

P.Fn-17 AFフレーム自動選択を選べないようにする (W-69)

P.Fn-18 C.Fn-11-2設定時にAFフレーム自動選択を可能にする (W-70)

[ドライブ関連]

P.Fn-19 連続撮影の速度を設定する (W-70)

P.Fn-20 連続撮影時の撮影枚数を制限する (W-70)

P.Fn-21 撮影後、シャッターボタンOFFで静粛動作する (W-71)

*1 EOS-1D Mark IIIは対応していません。

*2 EOS-1Dsは対応していません。

【その他1】

P.Fn-23 各種タイマー保持時間（〈6秒〉〈16秒〉など）を変更する（W-71）

P.Fn-24 バルブ撮影中、表示パネルの照明を消さない（W-72）

【その他2】

P.Fn-25 クリアボタン（QUALITY+WB）ON時の初期状態を変更する（W-72）

【その他3】

P.Fn-26 レリーズタイムラグを最速化する（W-72）*2、3

P.Fn-27 電子ダイヤルの設定方向（回転）を反転する（W-73）

P.Fn-28 サブ電子ダイヤルによる露出補正を禁止する（W-73）

P.Fn-30 サブ電子ダイヤルスイッチをメイン電子ダイヤルにも有効にする（W-74）*2、3

P.Fn-30 拡大表示モード（W-74）*1、3

P.Fn-31 オリジナル画像判定用データを付加（W-74）*3

*1 EOS-1D Mark IIIは対応していません。

*2 EOS-1Dsは対応していません。

*3 EOS-1Dは対応していません。

【コンビネーション】

設定内容を確認する（W-75） 設定内容を保存する（W-76）

保存されている設定内容を読み込む（W-76）

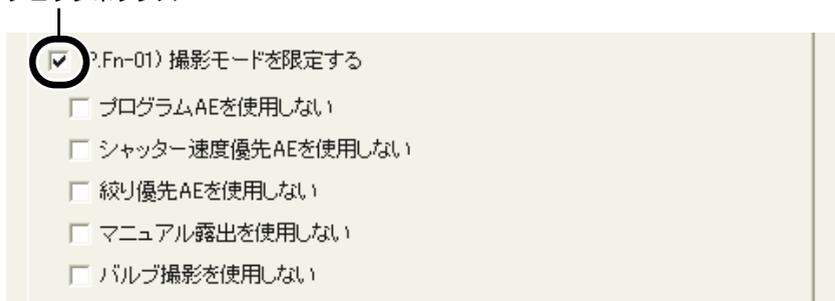
* P.Fn-11、12、22、29の欠番について

パーソナル機能の番号とその内容をEOS-1Vと合わせるために欠番を設けています。

4 パーソナル機能を設定する (W-62~W-74)

- チェックボックスをチェックすると、設定をすることができます。

チェックボックス

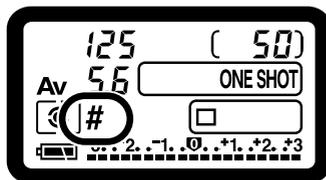


- 数値入力のかきは、設定範囲外の数値入力は無効となります。
- **【設定取得】** ボタンを押すと、カメラに設定されているパーソナル機能の内容を取得します。
- **【リセット】** ボタンを押すと、各画面で設定したすべてのチェックをはずします。
- パーソナル設定をパソコンに保存しているときは、保存内容を読み込むことができます。(W-76)

5 設定内容を確認し、必要に応じてパソコンに保存する (W-75、W-76)

6 **【OK】** ボタンを押す

- 設定内容がカメラに適用され、**【カメラ設定】** 画面を閉じます。
- パーソナル機能がカメラに適用されると表示パネルに **<#>** が表示されます。



パーソナル機能で設定できる内容

- 本文中の **C.Fn** には、それぞれの機能に関するカスタム機能の簡単なガイドが書かれています。詳細については、付属のカメラ使用説明書「カスタム機能で変更できる内容」を参照してください。

P.Fn-01 撮影モードを限定する

- (P.Fn-01) 撮影モードを限定する
 - プログラムAEを使用しない
 - シャッター速度優先AEを使用しない
 - 絞り優先AEを使用しない
 - マニュアル露出を使用しない
 - バルブ撮影を使用しない

- 使用しない撮影モードをチェックします。
- 撮影モードを選ぶときに、使用しない撮影モードをスキップさせることができます。
- 撮影モードを選ぶときの機動性が向上します。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、**【深度優先AEを使用しない】**の項目も表示されます。



全項目のチェックはできません。

P.Fn-02 測光モードを限定する

- (P.Fn-02) 測光モードを限定する
 - 評価測光を使用しない
 - 部分測光を使用しない
 - スポット測光を使用しない
 - 中央部重点平均測光を使用しない

- 使用しない測光モードをチェックします。
- 測光モードを選ぶときに、使用しない測光モードをスキップさせることができます。
- 測光モードを選ぶときの機動性が向上します。



全項目のチェックはできません。

P.Fn-03 マニュアル露出撮影時の測光モードを指定する

(P.Fn-03) マニュアル露出撮影時の測光モードを指定する

- 評価測光
- 部分測光
- スポット測光
- 中央部重点平均測光

- 設定する測光モードを選びます。
- マニュアル露出撮影時の測光モードを選ぶことができます。
- マニュアル露出モードを選ぶと、自動的に選んだ測光モードに切り換わります。AE撮影とマニュアル露出撮影で測光モードを使い分けるときに有効です。

P.Fn-04 シャッター速度の上限、下限値を設定する

(P.Fn-04) シャッター速度の上限、下限値を設定する

上限: ▼
 下限: ▼

- リストボックスから上限・下限値を選びます。
 - 上限値：1/2000、下限値：1/60を選ぶと、1/2000～1/60秒が制御・設定可能範囲となります。
 - シャッター速度を選ぶときの機動性を向上させたいときや、ストロボ使用時の絞り優先AEでスローシンクロにしたいときに有効です。
-  上限、下限値に1/750秒など、1段ステップ以外の数値を選ぶと、制御・設定可能範囲が、設定値よりもわずかにずれることがあります。また、カスタム機能C.Fn-6-1、2併用時に1/3200秒など、1段ステップ以外の数値を選んだときにも制御・設定可能範囲が設定値よりもわずかにずれることがあります。
-  ● プログラムAE撮影時のストロボ同調シャッター速度を確保するため、EOS-1D Mark II、EOS-1Dsは1/200～1/80秒、EOS-1Dは1/400～1/80秒の範囲を選ぶことはできません。
- セイフティシフト (C.Fn-16) 設定時は、セイフティシフトを優先します。

P.Fn-05 絞り数値の上限、下限値を設定する

(P.Fn-05) 絞り数値の上限、下限値を設定する

上限:

下限:

- リストボックスから上限・下限値を選びます。
- 下限値：1.4、上限値：8.0を選ぶと、F1.4～8.0が制御・設定可能範囲となります。
- 選べる絞り数値範囲を限定して、絞り数値を選ぶときの機動性を向上させることができます。

- 下限値は、上限値よりも小さい値にしてください。下限値に上限値よりも大きい数値を選んだときは、警告メッセージが表示され、元の数値に戻ります。
- 上限、下限値にF4.5など、1段ステップ以外の数値を選ぶと、制御・設定可能範囲が、設定値よりもわずかにずれることがあります。また、カスタム機能C.Fn-6-1、2併用時にF6.3など、1段ステップ以外の数値を選んだときにも制御・設定可能範囲が設定値よりもわずかにずれることがあります。

- 下限値より暗いレンズを使用したときは、使用レンズの開放絞り数値が下限値となります。また、上限値より暗いレンズを使用したときは、使用レンズの開放F値で絞り数値が固定されます。
- セイフティシフト (C.Fn-16) 設定時は、セイフティシフトを優先します。

P.Fn-06 撮影モードと測光モードの登録・切り換え

(P.Fn-06) 撮影モードと測光モードの登録・切り換え

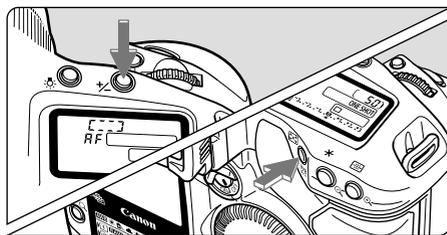
-  ボタンを押している間だけ、登録した撮影モードと設定値（絞り優先AEであれば絞り数値）、測光モード、露出補正量に切り換えることができます。
- 設定値は、各撮影モードに対応した数値を選びます。
- 登録操作は、カメラ側で行います。
カメラの操作は「カメラ側での登録操作」(W-65)を参照してください。
- 順・逆光などに応じて、所定の撮影条件へ瞬時に切り換えたいときに有効です。

カメラ側での登録操作 (P.Fn-06)

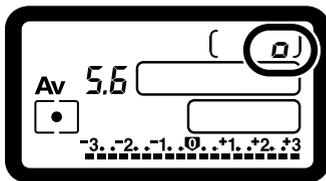
1 撮影モードと設定値 (絞り優先AEであれば絞り数値)、測光モード、露出補正量を設定する

2 設定した内容を登録する

- 先に $\langle + \rangle$ ボタンを押して、次に $\langle \text{Fn} \rangle$ ボタンを押します。



- ➔ 上面表示パネルに $\langle \text{Fn} \rangle$ が表示され、登録が完了します。
- 設定の変更は、何度でも可能です。



- ❗ 登録操作は、先に $\langle + \rangle$ ボタンを押してから $\langle \text{Fn} \rangle$ ボタンを押してください。
 $\langle \text{Fn} \rangle$ ボタンを先に押すと、登録済みの設定に切り換わります。

- 📷 ● バルブ撮影は登録できません。
- 連続撮影中の切り換えはできません。
- P.Fn-03「マニュアル露出時の測光モードを指定する」併用時に、このP.Fn-06でマニュアル露出を選んで、P.Fn-03と異なる測光モードを登録したときは、 $\langle \text{Fn} \rangle$ ボタン押しでP.Fn-03で選んだ測光モードに切り換わります。
- P.Fn-04、05併用時は、その設定可能範囲内でシャッター速度や絞り数値を選んでください。
- 設定したい撮影モードと測光モードがP.Fn-01、02で除外されているときは、一度、そのパーソナル機能を解除します。パーソナル機能の解除と再設定については、付属のカメラ使用説明書「パーソナル機能の解除と再設定」を参照してください。
- P.Fn-06で設定した撮影モードと測光モードが、P.Fn-01、02で除外されていても、P.Fn-06では有効となります。

- C.Fn** ● C.Fn-4-1、3設定時は、 $\langle \text{Fn} \rangle$ ボタンONで切り換えと同時にAF/AEも作動します。
- C.Fn-18設定時には、P.Fn-06は機能しません。

P.Fn-07 連続撮影時、ブラケットング撮影を繰り返す行う

(P.Fn-07) 連続撮影時、ブラケットング撮影を繰り返す行う

- シャッターボタンを押しつづけている間、設定したドライブモードでブラケットング連続撮影を繰り返す行います。
- 連続ブラケットング撮影を行いたいときに有効です。

P.Fn-08 ブラケットング撮影時の撮影枚数

(P.Fn-08) ブラケットング撮影時の撮影枚数

撮影枚数:

- リストボックスで撮影枚数を選びます。
- 通常3枚のブラケットング撮影が、2、3、5、7枚のブラケットング撮影となります。
- ブラケットング撮影では、ステップ量を1段に設定して、5枚を選ばると、-2、-1、標準、+1、+2段で撮影します。
- ブラケットングの幅を調整したいときに有効です。



- ブラケットングレベルの表示範囲を超える設定をしても、露出補正は設定どおりに行われます。
- C.Fn-09-2、3や、P.Fn-09との併用もできます。

P.Fn-09 C.Fn-09-2、3のブラケットング撮影順をプラス補正→標準→マイナス補正の順に行う

(P.Fn-09) C.Fn-09-2、3のブラケットング撮影順をプラス補正→標準→マイナス補正の順に行う

- C.Fn-09-2、3設定時のマイナス補正→標準→プラス補正のブラケットング撮影順が、プラス補正→標準→マイナス補正の順番になります。
- プラス補正からのブラケットング撮影スタートを希望するときに有効です。



P.Fn-08との併用もできます。

P.Fn-10 プログラムシフトのシフト量を保持する

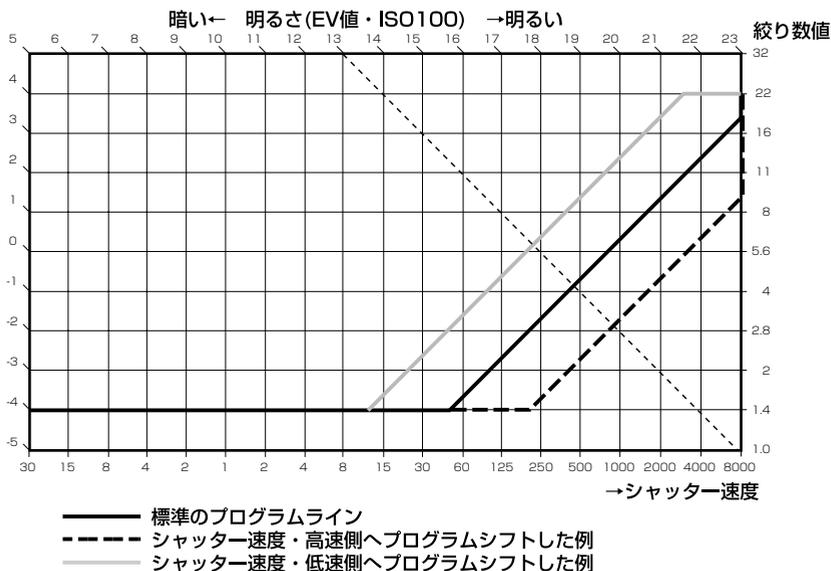
(P.Fn-10) プログラムシフトのシフト量を保持する

- 通常、撮影後に解除されるプログラムシフトのシフト量を保持させることができます。
- 標準プログラムラインをシフトさせて、シャッター速度優先寄りや、絞り優先寄りに変えたいときに有効です。

W

プログラムシフトを行うと、露出を変えずにシャッター速度と絞り数値の組み合わせを変更することができます。同じ明るさであっても、プログラムラインを右にシフトさせると、シャッター速度・高速、絞り数値・開放寄りに変更することができます。逆にプログラムラインを左にシフトさせるとシャッター速度・低速、絞り数値・絞り込み寄りに変更することができます。

P.Fn-10では、このプログラムシフトした量を保持します。シャッター速度と絞り数値の優先度に応じて、シフト量を選んでください。



EF50mmF1.4USM使用時

- 手でプログラムシフト量を戻すか、バッテリー交換または、クリアボタン(QUALITY+WB)を押すまで保持します。
- レンズ交換を行ってもシフト量は保持されます。

4

EOS Viewer Utilityのカメラを設定する

P.Fn-13 AIサーボ AF連続撮影を撮影速度優先で行う

(P.Fn-13) AIサーボ AF連続撮影を撮影速度優先で行う

- ピントが合っていないくても、撮影速度を優先して撮影を行います。
- 多少のピンボケよりも「写っていることの方が重要」というときに有効です。
- この機能はEOS-1Dのみ対応しています。

P.Fn-14 レンズ駆動によるピント検出（サーチ駆動）を行わない

(P.Fn-14) レンズ駆動によるピント検出（サーチ駆動）を行わない

- シャッターボタン半押しでピント検出できないとき、通常はレンズ駆動を行ってピント検出しますが、これを禁止します。
- 合焦後の再測距でピント検出できなかったときに大ボケ状態になることを防止できます。特に大ボケ状態になりやすい、超望遠レンズ使用時に有効です。
- 極端なピンボケ状態からAFを行うと、レンズが動かないときがあります。被写体の輪郭がつかめる程度まで手動でピント合わせをしてからAFを行ってください。

P.Fn-15 AF補助光の投光を禁止する

(P.Fn-15) AF補助光の投光を禁止する

- ストロボに内蔵されたAF補助光の投光を禁止します。
- 撮影会などでAF補助光パターンが他のカメラに写り込むことを防止できます。

P.Fn-16 ピント固定・シャッターボタン全押し状態で合焦したら自動撮影する

(P.Fn-16) ピント固定・シャッターボタン全押し状態で合焦したら自動撮影する

- ピントを固定した距離で合焦すると、自動的に撮影します。合焦検出は、選んだAFフレームで行います。
- レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉に設定し、手動ピント合わせで撮影距離を設定します。
- シャッターボタンは、全押し状態にしておきます。
- リモートスイッチRS-80N3などのリリースボタン・ロック機能を使用すると、無人の自動待ち受け撮影が可能となります。

- シャッターボタン全押し状態で待機するため、バッテリーの消費が早くなります。長時間の撮影では、DCカプラーキットを使用してください。
- ストロボ併用時はフル充電状態で待機するため、ストロボの電池消費が早くなります（ストロボのSE機能は動きません）。
- ストロボ併用時は、ドライブモードを1枚撮影にしてください。連続撮影では、充電が間に合わないと未充電状態で撮影を続けます。
- ドライブモードで連続撮影を選んでいるときは、P.Fn-20で撮影枚数を設定してください。設定していないと、1回の合焦でメモリーカードの容量が無くなるまで連続撮影します。
- マニュアルフォーカス専用レンズ、および開放絞り数値が暗いためにAF作動ができないレンズでは、自動撮影できません。
- C.Fn-4-1、3を設定すると、ピントに関係なく撮影しますので、併用しないでください。

 シャッターボタン全押し状態を維持できる、リモートスイッチRS-80N3などの併用をおすすめします。

P.Fn-17 AFフレーム自動選択を選べないようにする

(P.Fn-17) AFフレーム自動選択を選べないようにする

- 任意選択AFフレームが外周まで移動すると、突き当たりで止まるため、外周AFフレームを選ぶときの操作性が向上します。

-  C.Fn-11-2設定時、AF作動中に  ボタンを押すと、AFフレーム自動選択へ切り換えが可能になります。（付属のカメラ使用説明書「AFフレームの選択」）
- 「AFフレームの登録」で自動選択を登録しているときは、登録内容が有効となります。（付属のカメラ使用説明書「AFフレームの登録と切り換え」）

P.Fn-18 C.Fn-11-2設定時にAFフレーム自動選択を可能にする

(P.Fn-18) C.Fn-11-2設定時にAFフレーム自動選択を可能にする

- C.Fn-11-2設定時にAFフレーム自動選択を含んだ、標準状態の横方向選択ができるようになります。
- C.Fn-11-2設定時にもAFフレーム自動選択を行いたいときに有効です。



P.Fn-17「AFフレーム自動選択を選べないようにする」を同時に設定したときは、P.Fn-17が優先され、自動選択はできなくなります。

P.Fn-19 連続撮影の速度を設定する

(P.Fn-19) 連続撮影の速度を設定する

高速連続撮影:

低速連続撮影:

- リストボックスで連続撮影時の連続撮影速度を選びます。
- 低速にしてAIサーボAF連続撮影をさらに安定化させたいときなどに有効です。
- EOS-1Dsでは【連続撮影】の項目のみ表示されます。



AIサーボAFでは、選んだ連続撮影速度に満たないときがあります。

P.Fn-20 連続撮影時の撮影枚数を制限する

(P.Fn-20) 連続撮影時の撮影枚数を制限する

連続撮影枚数:

- 連続撮影時に、シャッターボタン全押し状態で最高何枚まで連続撮影するか入力します。
- 余分なシーンまで連続撮影したくないときに有効です。

P.Fn-21 撮影後、シャッターボタンOFFで静粛動作する

(P.Fn-21) 撮影後、シャッターボタンOFFで静粛動作する

- ドライブモード1枚撮影時にシャッターボタン全押しから半押し状態に戻すと静粛動作を行います。
- 撮影後の動作音が周囲の雰囲気上、好ましくないときに有効です。

 連続撮影時には、通常の動作となります。

C.Fn C.Fn-12のミラーアップ撮影を併用すると、露光する際の作動音をさらに小さくすることができます。

P.Fn-23 各種タイマー保持時間〈6秒〉〈16秒〉などを変更する

(P.Fn-23) 各種タイマー保持時間〈6秒〉〈16秒〉などを変更する

6秒タイマー保持時間:

16秒タイマー保持時間:

リリース後タイマー:

- ボタンから指を離してもその機能を何秒間か保持する機能がありますが、その保持時間を自分が必要な時間だけ設定することができます。
- 設定できる時間は、各タイマーとも0～3600秒（1時間）です。
- 標準のタイマー保持時間は長すぎる、または短すぎるというときに有効です。

6秒タイマー保持時間	● シャッターボタン半押しと〈*〉ボタンを押したときの測光値・保持時間。
16秒タイマー保持時間	● 〈FEL〉ボタンを押したときの測光値・保持時間。
2秒タイマー保持時間 (リリース後タイマー)	● 撮影後の露出値保持時間。時間を長くすると、同じ露出値でのAEロック撮影を行いやすくなります。 ● 撮影後の表示パネル照明時間。

 タイマー保持時間を長くするとバッテリーの消耗が早くなり、撮影可能枚数が減少します。

 タイマー保持を中断したいときは、〈MODE〉 / 〈AF〉 / 〈  〉ボタンのいずれかを押ししてください。

P.Fn-24 バルブ撮影中、表示パネルの照明を消さない

(P.Fn-24) バルブ撮影中、表示パネルの照明を消さない

- バルブ撮影開始後に表示パネル照明ボタンを押すと、露光完了まで照明を続けます。
- 露光経過時間を確認しながらバルブ撮影したいときに有効です。

 長時間バルブ撮影を行うとバッテリーの消耗が早くなり、撮影可能枚数が減少します。

P.Fn-25 クリアボタン (QUALITY+WB) ON時の初期状態を変更する

(P.Fn-25) クリアボタン(QUALITY+WB)ON時の初期状態を変更する

撮影モード:	プログラムAE
測光モード:	評価測光
ドライブモード:	1枚撮影
AFモード:	ワンショットAF
AFフレームの選択:	自動選択
記録画質:	L(ラージ)
ホワイトバランス:	オート
現像パラメーター:	標準
カラーマトリックス:	1標準

- クリアボタン (QUALITY+WB) を押したときの初期状態を選ぶことができます。
- 使用頻度の高い撮影状態へ瞬時に切り換えたいときに有効です。

P.Fn-26 レリーズタイムラグを最速化する

(P.Fn-26) レリーズタイムラグを最速化する

- 通常は、レリーズタイムラグを安定化する制御を行っていますが、この制御を行わないようにします。これにより、絞り数値が、開放から3段未満の撮影において、レリーズタイムラグが通常のときに比べて最高で約20%速くなります。
- レリーズタイムラグの安定化よりも、短縮化を優先したいときに有効です。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

 10ミリ秒単位の差なので、設定しても体感できない可能性があります。

P.Fn-27 電子ダイヤルの設定方向（回転）を反転する

- (P.Fn-27) 電子ダイヤルの設定方向(回転)を反転する
- メイン電子ダイヤルのみ
 - サブ電子ダイヤルのみ
 - 両方

- 電子ダイヤル操作の設定方向が反転します。AFフレームの選択方向、シャッター速度、絞り数値も設定方向が反転します。
- 電子ダイヤル回転方向に対する入力結果の変化方向が感覚的に一致しないときに有効です。



メイン電子ダイヤルの設定方向を反転させても、AFフレーム選択の横方向選択だけは逆転しません。

P.Fn-28 サブ電子ダイヤルによる露出補正を禁止する

- (P.Fn-28) サブ電子ダイヤルによる露出補正を禁止する

- サブ電子ダイヤル操作による露出補正を禁止します。
- AFフレームを選ぶときに誤って露出補正してしまうことを防止できます。

P.Fn-30 サブ電子ダイヤルスイッチをメイン電子ダイヤルにも有効にする

(P.Fn-30) サブ電子ダイヤルスイッチをメイン電子ダイヤルにも有効にする

- サブ電子ダイヤルスイッチを「OFF」にすると、メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルの両方が機能しなくなります。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

P.Fn-30 拡大表示モード

(P.Fn-30) 拡大表示モード

- 画面中央から表示
- 前回の拡大場所から表示

- どの場所から拡大表示するかを選びます。
- カメラでこの機能を [ON] にして撮影すると、画像を拡大して見ることができます。
- カメラの詳しい操作方法については、EOS-1Ds使用説明書「P.Fn-30撮影画像を拡大して見る」を参照してください。
- この機能はEOS-1Dsのみ対応しています。

- 拡大表示するには、撮影時、再生時ともP.Fn-30を [ON] にしてください。特に、撮影時にP.Fn-30が [ON] になっていない画像は、拡大表示できません。
- EOS-1Ds以外で撮影した画像は拡大表示できません。

P.Fn-31 オリジナル画像判定用データを付加

(P.Fn-31) オリジナル画像判定用データを付加

- 撮影画像に、その画像がオリジナルであるか否かを判定するためのデータを付加します。オリジナル画像判定用データが付加された画像には、カメラの画像表示形式を「撮影情報表示 (INFO.)」にしたときに、オリジナル画像判定用データが付加されたことを示すマークが表示されます。
詳しくは、カメラ使用説明書の「撮影情報表示について」のページを参照してください。
- オリジナル画像の判定には、専用アクセサリ（別売）が必要です。
- この機能はEOS-1D Mark II、EOS-1Dsのみ対応しています。

- RAWデータから変換したJPEG、TIFF画像には、オリジナル画像判定用データが付加されません。

設定内容の確認と保存／読み込み

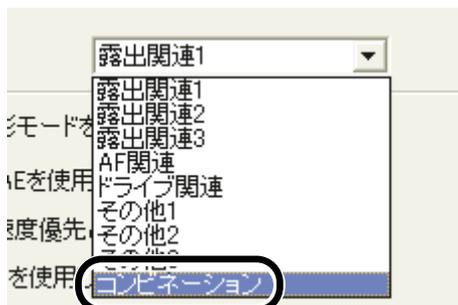
設定したパーソナル機能の内容や、カメラへの適用状態を確認することができます。また、設定内容をパソコンに保存したり、パソコンに保存したデータを読み込んでカメラに適用することもできます。

1 パーソナル機能を設定する (W-62~W-74)

2 リストボックスから【コンビネーション】を選ぶ

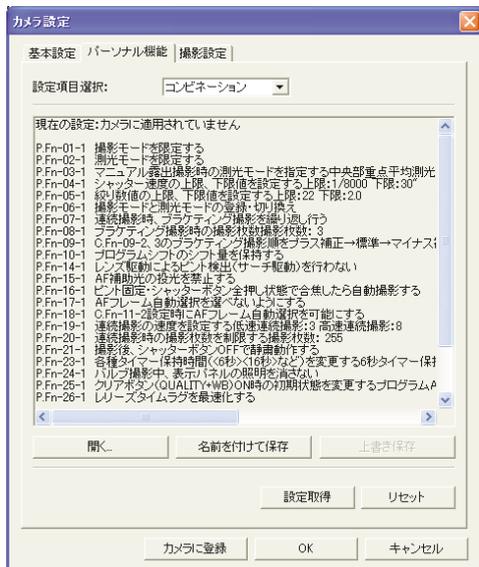
→ 【コンビネーション】画面が表示されます。

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、【コンビネーション】タブを選びます。



3 設定内容を確認し、保存／読み込みを行う (W-76)

- パーソナル機能の設定内容と、カメラへの適用を確認することができます。

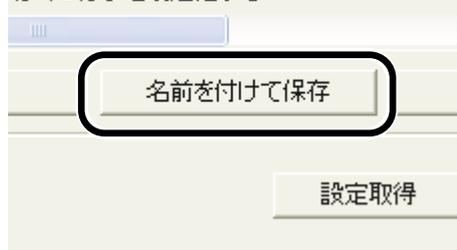


設定内容を保存する

1 【名前を付けて保存】 ボタンを押す

- 【名前を付けて保存】 画面が表示されます。

ボタン(QUALITY+WB)ON時の初期状態を変更してタイムラグを最速化する



2 保存先を選び、ファイル名を入力して【保存】 ボタンを押す

- 設定したパーソナル機能の内容が保存されます。

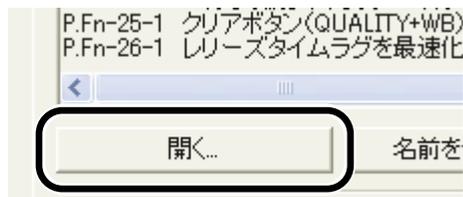
🔒 パーソナル機能設定データは、設定したカメラ以外と互換性がありません。

- 保存済みファイルを更新するときは、【上書き保存】 ボタンを押します。
- パソコンに保存したパーソナル機能設定データは、Windows/Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

設定内容を読み込む

1 【開く】 ボタンを押す

- 【ファイルを開く】 画面が表示されます。



2 設定内容の保存先を開き、ファイルを選んで【開く】 ボタンを押す

- 保存されている設定内容が読み込まれます。

撮影設定

各種の撮影設定（現像パラメーター、トーンカーブ、カスタムホワイトバランス、カラーマトリックス、JPEG記録画質）を行いカメラに適用することができます。

1 【カメラ設定】画面を表示する (W-56)

2 【撮影設定】タブを選ぶ

→ 【撮影設定】タブ画面が表示されます。

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、【詳細設定】タブを選びます。



3 設定ボタンを押して各画面を表示する

トーンカーブを選んだり、シャープネス、コントラストを設定して、カメラに登録することができます。(W-78)

保存されているトーンカーブの読み込みや、カラーチャンネルを選んで、カメラに登録することができます。(W-80)

カスタムホワイトバランスを読み込んで、カメラに登録することができます。(W-82)

カラーマトリックスを選んで、カメラに登録することができます。(W-84)

JPEG画質（L、M1、M2、S）を設定して、カメラに登録することができます。(W-86)

【撮影設定】タブ画面で設定した内容がカメラに適用されます。

※ EOS-1Ds、EOS-1Dでは、【適用】ボタンが表示されます。



すべてのタブ画面で設定した内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し【カメラ設定】画面を閉じます。

→ EOS-1Ds、EOS-1Dでは、【トーンカーブ】、【カラーマトリックス】、【JPEG記録画質】ボタンは表示されません。

4 【OK】ボタンを押す

→ 設定内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

現像パラメーター設定

トーンカーブを選んだり、シャープネス、コントラストを設定し、現像パラメーターとして3セットまでカメラに登録することができます。

- 現像パラメーターのカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「現像パラメーターを設定する」を参照してください。

1 【現像パラメーター】 ボタンを押す (W-77)

- 【現像パラメーター設定】 画面が表示されます。



現像パラメーター

2 【セット1】 タブ～【セット3】 タブを選ぶ

現像パラメーター設定

セット1 | セット2 | セット3

3 トーンカーブ、シャープネス、コントラストを設定する

- EOS-1D Mark IIでは、以下の画面が表示されます。



標準

TCD1
TCD2
TCD3

【標準】：
標準的なトーンカーブが設定されます。

【TCD1】～【TCD3】：
「トーンカーブ設定」(W-80) で設定したトーンカーブが設定されます。

スライダーを左右にドラッグして設定します。
数値が大きくなるほど明暗差が強調されます。

スライダーを左右にドラッグして設定します。
数値が大きくなるほど輪郭が強調されます。

➔ EOS-1Ds、EOS-1Dでは、以下の画面が表示されます。

EOS-1Ds

- 標準
- TCD1
- TCD2
- TCD3

EOS-1D

- 標準
- ユーザー定義

【標準】：
標準的なトーンカーブが設定されます。

【TCD1】～【TCD3】、【ユーザー定義】：
「トーンカーブ設定」(W-80)で設定したトーンカーブが設定されます。

0
1
2
3
4
5

数値が大きくなるほど、シャープネスが強くなります。

細かい
やや細かい
標準
やや粗い
粗い

6
7
8
9
10

1
2
3
4
5

数値が大きくなるほど、低圧縮で高画質になります。

新しいセットを追加します。
※EOS-1D接続時に表示

【TCD1】～【TCD3】または、【ユーザー定義】に登録するトーンカーブを設定します。(W-80)

選んでいるセットを削除します。
※EOS-1D接続時に表示

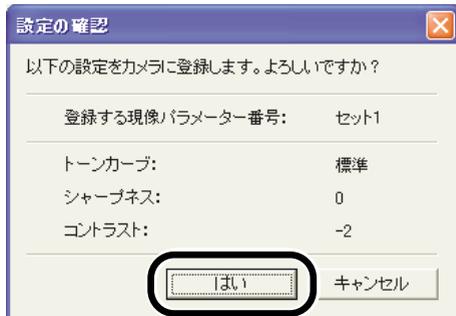
W

4

EOS Viewer Utilityでカメラを設定する

4 【カメラに登録】または【カメラに設定】ボタンを押す
➔ 【設定の確認】画面が表示されます。

5 設定内容を確認し、【はい】または【カメラに設定】ボタンを押す
➔ 現像パラメーターがカメラに登録されます。



6 【閉じる】ボタンを押す
➔ 【現像パラメーター設定】画面が閉じます。

トーンカーブ設定

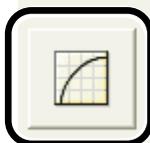
パソコンに保存したトーンカーブ（W-39）を読み込んで、トーンカーブデータとして3セットまでカメラに登録することができます。また、【TCD1】タブ～【TCD3】タブに読み込んだトーンカーブデータを「現像パラメーター設定」（W-78）のリストボックスで選ぶこともできます。

- トーンカーブデータ（【TCD1】～【TCD3】）のカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「現像パラメーターを設定する」を参照してください。
- EOS-1Dに登録できるトーンカーブデータは1つです。

1 【トーンカーブ】 ボタンを押す（W-77）

→ 【トーンカーブ設定】画面が表示されます。

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、【現像パラメーター】ボタンを押して表示される【現像パラメーター設定】画面の【ユーザートーンカーブ設定】ボタンを押します。



トーンカーブ

2 【TCD1】タブ～【TCD3】タブを選ぶ

- EOS-1Dでは、手順3に進んでください。



3 【開く】 ボタンを押す

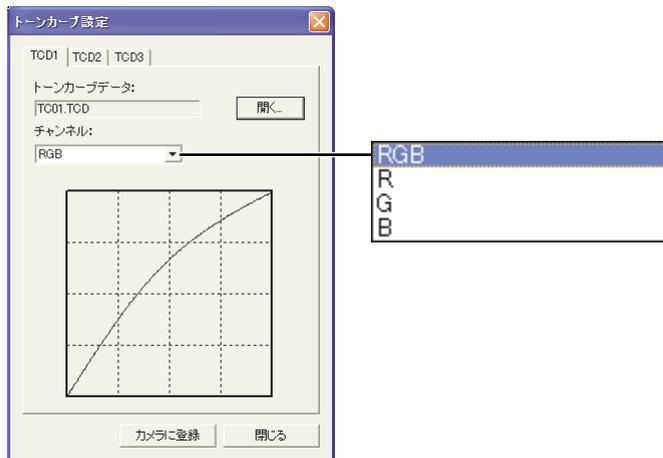
→ 【ファイルを開く】画面が表示されます。



4 トーンカーブの保存先を開き、ファイルを選んで【開く】ボタンを押す

→ トーンカーブが読み込まれます。

5 リストボックスからチャンネルを選び、確認する



6 【カメラに登録】または【カメラに設定】ボタンを押す

→ トーンカーブがカメラに登録されます。

7 【閉じる】ボタンを押す

→ 【トーンカーブ設定】画面が閉じます。

カスタムホワイトバランス設定

パソコンに保存したホワイトバランス（W-36）を読み込んで、カスタムホワイトバランスとして3セットまでカメラに登録することができます。

- カスタムホワイトバランスをカメラに適用すると、カメラの背面パネルに〈PC-1～PC-3〉が表示されます。
- カスタムホワイトバランスのカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「ホワイトバランスの選択」を参照してください。

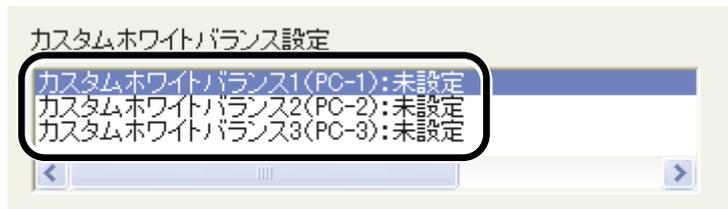
1 【カスタムホワイトバランス】 ボタンを押す (W-77)

- 【カスタムホワイトバランス設定】
画面が表示されます。



カスタムホワイトバランス

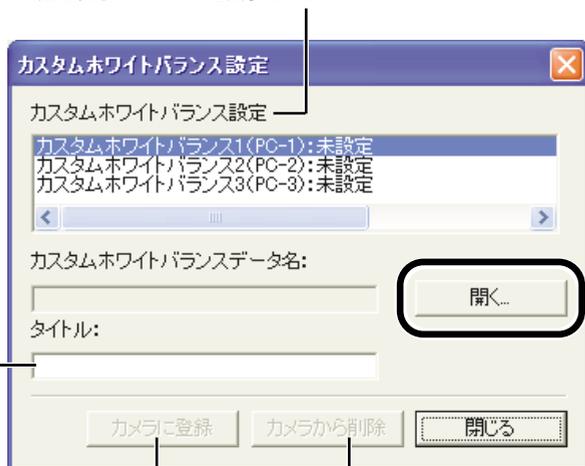
2 リストから、登録するPC（カスタムホワイトバランス）を選ぶ



3 【開く】 または 【参照】 ボタンを押す

→ 【ファイルを開く】 画面が表示されます。

カメラに設定されている各PC（カスタムホワイトバランス）と設定状態、タイトルを表示します。



選んでいるPC（カスタムホワイトバランス）の設定内容をカメラに登録します。

選んでいるPC（カスタムホワイトバランス）をカメラから削除します。

登録するカスタムホワイトバランスにタイトルを付けるときに入力します。

4 ホワイトバランスの保存先を開き、ファイルを選んで【開く】ボタンを押す

→ ホワイトバランスが読み込まれます。

5 【タイトル】 または 【キャプション】 入力ボックスにタイトルを入力する



6 【カメラに登録】 または 【カメラに設定】 ボタンを押す

→ ホワイトバランスがカメラに登録されます。

- 引き続き登録するときは、手順2～6の操作をくり返してください。PC1、PC2、PC3の3セットまで登録できます。
- 削除するときは、リストからPC（カスタムホワイトバランス）を選んで【カメラから削除】 ボタンを押します。

7 【閉じる】 ボタンを押す

→ 【カスタムホワイトバランス設定】 画面が閉じます。

カラーマトリックス設定

色空間、色の濃さ、色あいを任意に設定して、2セットまでカメラに登録することができます。また、リストボックスから規定のカラーマトリックスを選んで、設定の参考にすることができます。

- カラーマトリックスのカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「カラーマトリックスを選択する」を参照してください。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

1 【カラーマトリックス】 ボタンを押す (W-77)

→ 【カラーマトリックス設定】 画面が表示されます。



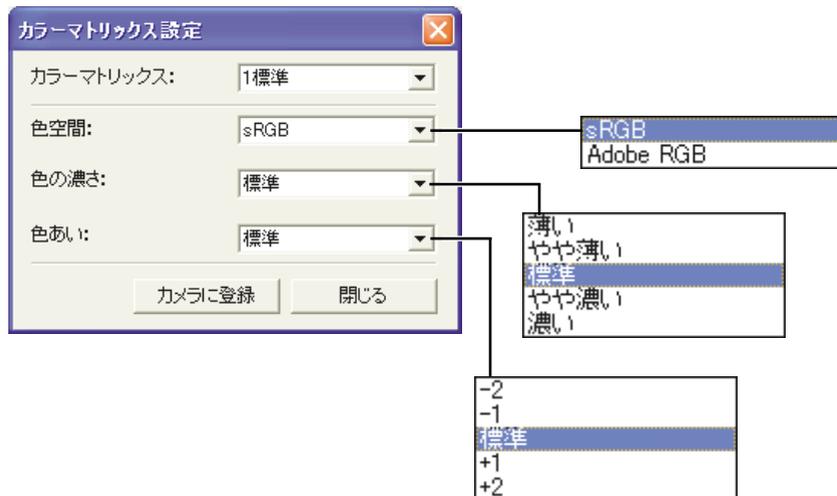
2 リストボックスから 【CMセット1】 または、【CMセット2】 を選ぶ

→ 【色空間】、【色の濃さ】、【色あい】 リストボックスが設定できるようになります。

- 他のカラーマトリックスを選んだときは、カメラへの登録はできません。



3 各リストボックスから設定を選ぶ



4 【カメラに登録】 ボタンを押す
→ カラーマトリックスがカメラに登録されます。

5 【閉じる】 ボタンを押す
→ 【カラーマトリックス設定】 画面が閉じます。

JPEG記録画質設定

JPEG画像の記録画質をL（ラージ）、M1（ミドル1）、M2（ミドル2）、S（スモール）サイズ別に設定し、カメラに登録することができます。

- JPEG記録画質のカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「記録画質を設定する」を参照してください。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

1 【JPEG記録画質】 ボタンを押す (W-77)

- 【JPEG記録画質設定】画面が表示されます。



JPEG記録画質

2 スライダーを左右にドラッグして設定する

- 各サイズとも、数値が大きくなるほど圧縮率が低く、高画質になります。



3 【カメラに登録】 ボタンを押す

- JPEG記録画質がカメラに登録されます。

4 【閉じる】 ボタンを押す

- 【JPEG記録画質設定】画面が閉じます。

EOS Viewer Utilityで リモート撮影する

5

この章では、EOS Viewer Utilityのリモート撮影機能を使い、パソコンからカメラを制御してのリモート撮影やカメラの設定方法について説明します。

リモート撮影の制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme : [スタート] ボタン ▶ [すべてのプログラム] (他のWindowsでは [プログラム]) ▶ [Canon Utilities] ▶ [EOS Viewer Utility xx] (xxはバージョン) ▶ [EOSCapture Readme] の順に選んで表示します。

リモート撮影機能を起動する	W-88
リモート撮影	W-90
1枚撮影	W-90
タイマー撮影	W-91
インターバルタイマー撮影	W-92
カメラを設定する	W-93
保存先設定	W-93
カメラ設定	W-94
ホワイトバランス補正	W-96

リモート撮影機能を起動する

1 カメラとパソコンを接続する (W-8)

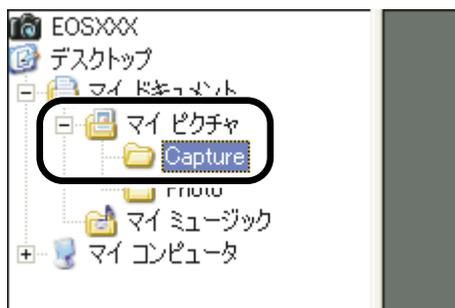
- ➔ カメラ名が表示された画面が表示されます。
- EOS XXXには使用しているカメラ名が表示されます。
- ➔ Windows Meでは、【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されます。
- 【キャンセル】 ボタンを押して、表示された画面すべてを終了します。



2 EOS Viewer Utilityを起動する (W-12)

3 画像を保存するフォルダを選ぶ

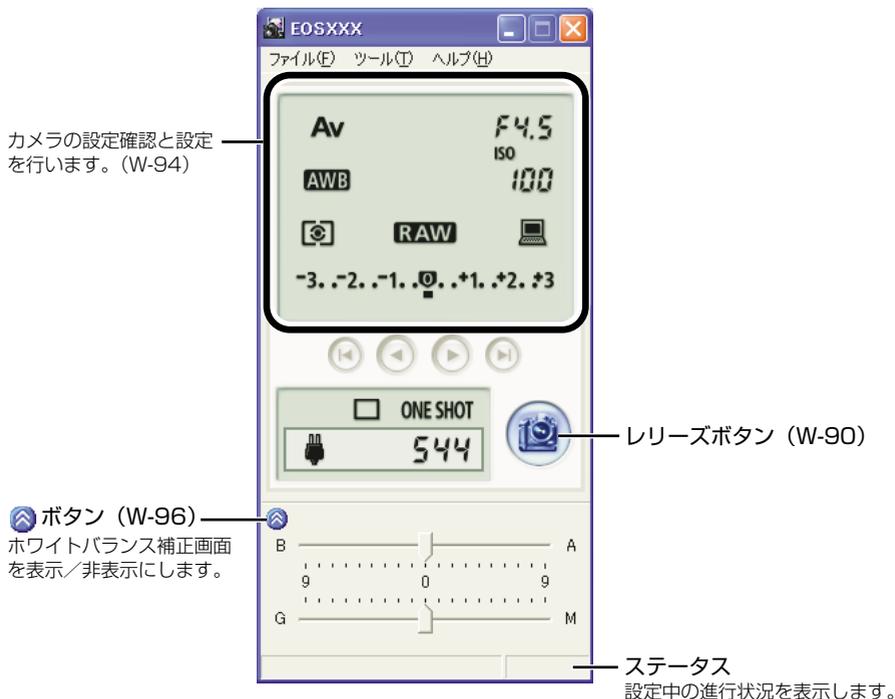
- フォルダツリー表示領域で、既存のフォルダを選ぶか、新しいフォルダを作成します。(W-16) (ここでは、【マイ ピクチャ】フォルダに【Capture】フォルダを作成しています)



4 【オプション】メニュー ▶ 【EOS Capture】を選ぶ

→ EOS Captureメイン画面が表示されます。

EOS Captureメイン画面



- リモート撮影を終了するには、【ファイル】メニュー ▶ 【終了】を選びます。

 EOS Captureは、EOS Viewer Utilityの機能の一部です。そのため、EOS Viewer Utilityを終了すると、EOS Captureも同時に終了します。

5 【リリース】ボタンを押して撮影する (W-90)

リモート撮影

パソコンからカメラをコントロールして、1枚撮影やタイマー撮影、インターバルタイマー撮影を行うことができます。撮影された画像は、自動的にパソコンへ保存されます。

! リモート操作は、必ずカメラが撮影可能な状態で行ってください。撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、手順通りの操作ができません。

1枚撮影

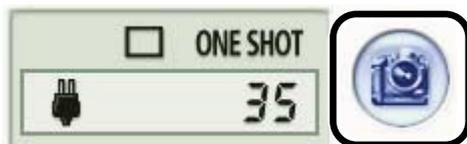
1 カメラを撮影できる状態にする

2 各種の設定を行う

- カメラの設定については、「カメラ設定」(W-94)、「ホワイトバランス補正」(W-96)を参照してください。
- 撮影画像の保存については、「保存先設定」(W-93)を参照してください。

3 **【レリーズ】ボタンを押す**

→ 撮影された画像がEOS Viewer Utilityに表示され、自動的にパソコンへ保存されます。



! 〈スペース〉キーを押して撮影することもできます。

RAW画像撮影時の転送時間の目安

EOS-1D Mark II	約8秒
EOS-1Ds	約15秒
EOS-1D	約10秒

- 転送時間はあくまでも目安です。使用しているパソコン環境や画像により、転送時間は大きく異なります。
- JPEG画像で撮影したときは、上記の時間より短くなります。
- 転送時間は、当社試験基準によります。

(OS : Windows XP / CPU : Pentium4 2.2GHz / RAM : 256MB使用時、【カメラ内のメモリーカードにも保存する】チェックボックスのチェックを外して、EOS Captureメイン画面の【リリース】ボタンを押したときに、EOS Viewer Utilityメイン画面へ画像が表示されるまでの時間)



- オートフォーカスではピントが合わないとき撮影できません。オートフォーカスで撮影できないときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてから撮影してください。
- WIA Driverのエクスプローラーで、カメラ内の画像を表示しているときにリモート撮影すると、正しく動作しないことがあります。



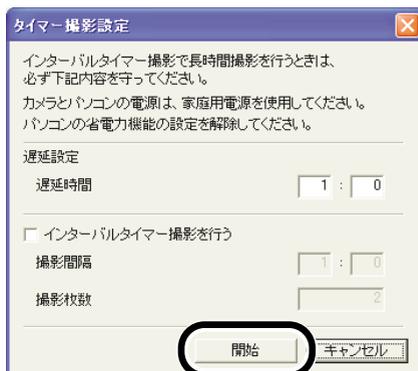
パソコンのハードディスク空き容量により、撮影できる枚数が変わります。撮影可能枚数は、【撮影可能枚数】(W-94)で確認することができます。

タイマー撮影

- 1 【ツール】メニュー ▶ 【タイマー撮影】を選ぶ
→ 【タイマー撮影設定】画面が表示されます。

- 2 遅延時間を入力して【開始】ボタンを押す

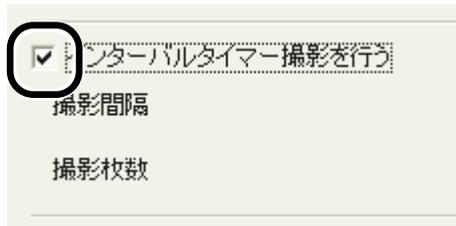
- 1秒単位、0分0秒～99分59秒までの範囲で設定します。
- タイマー撮影が行われます。



インターバルタイマー撮影

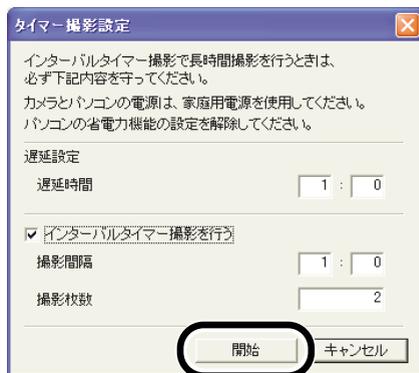
- 1 **【ツール】メニュー ▶ 【タイマー撮影】を選ぶ**
 → **【タイマー撮影設定】**画面が表示されます。

- 2 **【インターバルタイマー撮影を行う】** チェックボックスをチェックする



- 3 **撮影間隔と撮影枚数を入力して【開始】ボタンを押す**

- 撮影間隔は1秒単位、5秒～99分59秒までの範囲で設定します。
 - 撮影枚数は、最大1999枚まで設定できます。
- 入力した撮影間隔で、入力した枚数のインターバルタイマー撮影が行われます。



- ⚠ 使用しているパソコンによっては撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

カメラ設定

カメラの設定内容を確認したり、設定することができます。

● EOS-1Dは設定内容の確認のみで、設定はできません。

1 カメラの設定内容を確認する

色温度
色温度を2800K～10000Kの範囲で設定します。

撮影モード
撮影モードを表示／設定します。

ホワイトバランス
ホワイトバランスを表示／設定します。

測光モード
測光モードの設定内容を表示／設定します。

シャッター速度
Tv (シャッター速度) を表示／設定します。
(撮影モードが絞り優先AE、プログラムAEに設定されているときは表示されません)

絞り数値
Av (絞り数値) を表示／設定します。
(撮影モードがシャッター優先AE、プログラムAEに設定されているときは表示されません)

ISO感度
ISO感度を表示／設定します。

記録画質
記録画質を表示／設定します。

保存先表示
撮影画像の保存先を表示します。
(【カメラ内のメモリーカードにも保存する】チェックボックスをチェックすると、カメラとPCアイコンが表示され、チェックを外すとPCアイコンのみが表示されます)

露出補正
露出補正值を表示／設定します。

ドライブモード
ドライブモードの設定内容を表示します。

AFモード
AFモードの設定内容を表示します。

撮影可能枚数
撮影可能な画像の枚数を表示します。

警告表示
設定が不適切なため、リモート撮影が行えないときに表示されます。

ブラケット撮影*
ブラケット撮影の設定状態を表示します。
(WB/B/AEB/ISO/B/FEBのいずれかが設定されているときに表示されます)

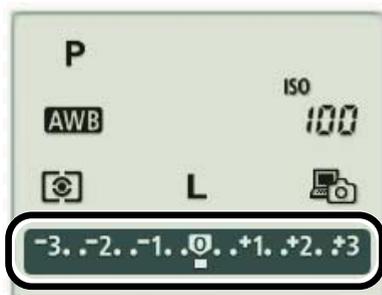
電源状態
カメラのバッテリー残量を【】または、【】で表示します。DCカプラーキットを使用したときは【】が表示されます。

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

● *はEOS-1Ds、EOS-1Dでは表示されません。

2 アイコンをクリックする

- ここでは、露出補正を例にしています。



3 ボタンを操作して設定値を変更する



➔ 設定が変更され、カメラに適用されます。

ホワイトバランス補正

ホワイトバランスを補正することができます。

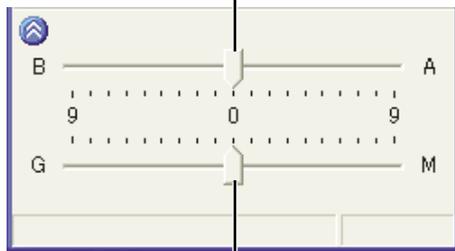
- 画面が表示されていないときは、[] ボタンを押して表示します。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

設定内容を変更する

- スライダーを操作して設定します。

LBフィルタースライダー

ブルー／アンバー寄りのデジタルカラーフィルターでホワイトバランスを補正します。



CCフィルタースライダー

グリーン／マゼンタ寄りのデジタルカラーフィルターでホワイトバランスを補正します。

- ➔ 設定が変更され、カメラに適用されます。

ドライバでJPEG画像を取り込む

6

この章では、Windows XP、Windows Me用のWIA Driverや、Windows 2000、Windows 98 SE用のTWAIN Driverで、JPEG画像を取り込む手順について説明します。

WIA Driverには、いくつかの制限事項があります。WIA Driverを使用する前に、必ず「WIA Driver Readme」を参照してください。

Readme : [スタート] ボタン ▶ [すべてのプログラム] (Windows Meでは [プログラム]) ▶ [Canon Utilities] ▶ [EOS XXX WIA Driver] ▶ [WIA Driver Readme] の順に選んで表示します。

TWAIN Driverの制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

Readme : [スタート] ボタン ▶ [プログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [EOS XXX TWAIN Driver] ▶ [TWAIN Driver Readme] の順に選んで表示します。

ヘルプ : TWAIN Driverメイン画面の [ヘルプ] ボタンから表示します。

EOS XXXには使用しているカメラ名が表示されます。

WIA Driverで画像を取り込む.....	W-98
スキャナとカメラ ウィザードを使う	W-98
エクスプローラーを使う	W-100
WIA TWAINを使う.....	W-101
TWAIN Driverで画像を取り込む.....	W-102

WIA Driverで画像を取り込む

スキャナとカメラ ウィザードやエクスプローラー、WIA TWAINを使ってJPEG画像を取り込むことができます。

RAW画像の取り込みは、3章を参照してください。

操作画面に表示されるカメラ名はEOS XXXXとしています。

スキャナとカメラ ウィザードを使う

画面にしたがって操作すると、JPEG画像をパソコンに取り込むことができます。

1 カメラとパソコンを接続する (W-B)

- ➔ カメラ名が表示された画面が表示されます。
- ➔ Windows Meでは、[スキャナとカメラ ウィザード] が表示されます。手順3へすすみます。

2 [Microsoft スキャナとカメラのウィザード] を選び、[OK] ボタンを押す

- ➔ [スキャナとカメラ ウィザード] が表示されます。



3 [次へ] ボタンを押す

- ➔ [コピーする画像の選択] 画面が表示されます。
- ➔ Windows Meでは、[画像の選択] 画面が表示されます。



4 取り込みたい画像を選び、【次へ】ボタンを押す

- 複数の画像を選ぶときは、〈Ctrl〉キーまたは、〈Shift〉キーを押しながら画像をクリックします。すべての画像を選ぶときは、【すべて選択】ボタンを押します。
- 【画像の名前とコピー先】画面が表示されます。
- Windows Meでは、【画像の保存先】画面が表示されます。



5 保存先を選び、ファイル名を入力して【次へ】ボタンを押す

- 画像が取り込まれ、【そのほかのオプション】画面が表示されます。
- 保存先を指定しないときは、【マイピクチャ】にフォルダが作成されて保存されます。
- Windows Meでは、保存先を選び、ファイル名を入力して、【完了】ボタンを押します。画像が保存され、スキャナとカメラ ウィザードが終了します。

6 【作業を終了する】ラジオボタンを選び、【次へ】ボタンを押す

- 【完了】画面が表示されます。

7 【完了】ボタンを押す

- 画像が保存され、スキャナとカメラ ウィザードが終了します。



エクスプローラーを使う

ドラッグ アンド ドロップで、JPEG画像をパソコンに取り込むことができます。

1 カメラとパソコンを接続する (W-8)

- ➔ カメラ名が表示された画面や、【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されます。
- 【キャンセル】 ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 エクスプローラーを起動してフォルダを選ぶ

- エクスプローラーの起動は、【スタート】 ボタンを右クリックして、表示されるメニューから【エクスプローラ】を選びます。
- エクスプローラービューで接続したカメラのアイコン ▶
【CF_SLOT】 フォルダをダブルクリックして表示される
【xxxEOS1D】 フォルダをクリック (Windows Meでは、ダブルクリック) します。(xxxには100~999までの数字が表示されます)
- EOS-1Ds、EOS-1Dではカメラアイコンをクリックします。
- ➔ カメラ内の画像がサムネイル表示されます。



3 画像を保存する

- エクスプローラービューのフォルダに画像をドラッグ アンド ドロップします。
- ➔ 画像が保存されます。



⚠ エクスプローラーでカメラ内の画像を表示しているときにリモート撮影すると、正しく動作しないことがあります。

WIA TWAINを使う

TWAIN機能対応のレタッチソフトを使用して、JPEG画像をレタッチソフトに取り込むことができます。ここでは、Adobe Photoshop 7.0を例にしています。

1 カメラとパソコンを接続する (W-8)

- カメラ名が表示された画面や、【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されます。
- 【キャンセル】 ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 Photoshopを起動する

- 【スタート】 ボタン ▶ 【すべてのプログラム】 (Windows Meでは【プログラム】) ▶ 【Adobe Photoshop 7.0】 を選びます。
- Photoshopが起動します。

3 【ファイル】 メニュー ▶ 【読み込み】 ▶ 【WIA-EOSXXX】 を選ぶ

- 【EOSXXXから画像を取得】 画面が表示されます。

4 取り込みたい画像を選び、【画像の取得】 ボタンを押す

- 選んだ画像がPhotoshopに取り込まれます。



 レタッチソフトにより、起動方法や画面内容は異なります。詳しくは、使用しているレタッチソフトに付属されている使用説明書を参照してください。

TWAIN Driverで画像を取り込む

TWAIN機能対応のレタッチソフトを使用して、JPEG画像をレタッチソフトに取り込むことができます。ここでは、Adobe Photoshop 7.0を例にしています。

RAW画像の取り込みは、3章を参照してください。

操作画面に表示されるカメラ名はEOS XXXとしています。

- EOS-1DのTWAIN Driverについては、カメラに付属のソフトウェア使用説明書を参照してください。

1 カメラとパソコンを接続する (W-8)

→ カメラ名が表示された画面が表示されます。

- [キャンセル] ボタンを押して、表示された画面をすべて終了します。

2 Photoshopを起動する

- [スタート] ボタン ▶ [プログラム] ▶ [Adobe Photoshop 7.0] を選びます。
→ Photoshopが起動します。

3 【ファイル】メニュー ▶ 【読み込み】 ▶ 【Canon EOSXXX】を選ぶ

- TWAIN Driverが起動し、カメラ内のJPEG画像が表示されます。
- TWAIN Driverの終了は、【ファイル】メニュー ▶ 【終了】を選びます。



4 転送する画像を選び、【ファイル】メニュー ▶ 【画像転送】を選ぶ

→ Photoshopに転送した画像が表示されます。

● EOS-1D Mark IIでは、SDカードに保存されている画像の表示や取り込みはできません。

- サムネイル画像をダブルクリックしても、画像を転送することができます。
- レタッチソフトにより、起動方法や画面内容は異なります。詳しくは、レタッチソフトの使用説明書を参照してください。

トラブルシューティングと ソフトウェアの削除

7

この章では、トラブルシューティングや、ソフトウェアの削除について説明します。

トラブルシューティング.....	W-104
ソフトウェアを削除する（アンインストール）.....	W-108
ソフトウェアを削除する.....	W-108
ドライバを削除する.....	W-109
索引.....	W-117

トラブルシューティング

「手順通りにインストールできない」、「カメラとパソコンが通信できない」というときは、以下の項目を確認してください。

- 操作画面に表示されるカメラ名は、EOS XXXとしています。

手順通りにインストールできない

- Windows XP Professional、Windows 2000で、ユーザー設定を【コンピューターの管理者】、【Administrator】以外に設定してパソコンを使用していませんか？
 - ユーザー設定を【コンピューターの管理者】、【Administrator】以外に設定していると、ソフトウェアをインストールすることができません。ユーザー設定をWindows XP Professionalでは【コンピューターの管理者】、Windows 2000では【Administrator】に設定してください。詳しい設定方法は、使用しているパソコンの使用説明書などを参照してください。
- プラグはしっかりと差し込まれていますか？
 - インストールを完了させるために、カメラとパソコンを接続するときは、専用ケーブルのプラグをカメラとパソコンにしっかりと差し込んでください。(W-8)
- カメラとパソコンが通信できる状態になっていますか？
 - カメラの電源スイッチが〈ON〉になっているか確認してください。
 - カメラの電源スイッチが〈ON〉になっていても、オートパワーオフが働くと、自動的に電源が切れます。オートパワーオフを「切」にしてください。(付属のカメラ使用説明書「メニュー機能の操作と設定」)
- インストール中に【新しいハードウェアの追加ウィザード】(Windows 2000では【新しいハードウェアの検出ウィザード】)画面が表示されていませんか？
 - 【キャンセル】ボタンを押して専用ケーブルを取り外し、インストールをやりなおしてください。
- インストーラーパネルが表示されない？
 - 次の手順でインストーラーパネルを表示してください。
【スタート】ボタン ▶ 【マイ コンピュータ】をクリック (他のWindowsでは、デスクトップの【マイ コンピュータ】をダブルクリック)
▶ CDを入れたCD-ROMドライブを右クリック ▶ 表示されるメニューから【開く】を選ぶ ▶ 右のアイコンをダブルクリックする



SETUP

ソフトウェアをインストールしたのに、カメラとパソコンが通信できない

● ドライバはインストールされていますか？

→ カメラとパソコンの通信にはドライバが必要です。カメラとパソコンの通信を行うときは、使用しているWindowsにより以下のドライバを必ずインストールしてください。

- ・ Windows XP／Windows Me : WIA Driver
- ・ Windows 2000／Windows 98 SE : TWAIN Driver

● WIA Driverまたは、TWAIN Driverのインストールを完了していますか？

→ WIA Driverまたは、TWAIN Driverがインストールされていても、カメラとパソコンを接続しないとインストールは完了しません。Solution Disk をCD-ROMドライブに入れて、WIA Driverまたは、TWAIN Driverをインストールしたあと、カメラとパソコンを接続してください。

● 使用しているパソコンは、以下に該当していますか？

→ IEEE1394接続部を装備したWindows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98 SEの日本語版プリインストール機。(W-2)

※上記以外のパソコンで接続を行ったときの動作保証はしていません。

● カメラとパソコンが正しく接続されていますか？

→ 専用ケーブルで、カメラとパソコンを正しく接続してください。(W-8)

● カメラのバッテリー残量は十分ですか？

→ パソコンからカメラへの電源供給は行われません。カメラにDCカプラーキットを接続するか、充電済みのバッテリーを入れて、カメラとパソコンを接続してください。

● 2台以上のカメラをパソコンに接続していませんか？

1台のパソコンに2台以上のカメラを接続すると、ドライバおよびカメラが正しく動作しないことがあります。

→ ソフトウェアを終了してすべての専用ケーブルをパソコンから取り外します。そのあと、1台のカメラだけをパソコンに再度接続してください。

● ドライバは正常に動作していますか？

カメラとパソコンを専用ケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉(W-8)にして、【デバイス マネージャ】を表示 (W-107) します。【イメージング デバイス】の左にある【+】を押し、接続しているカメラが表示されているか確認します。



→ 接続しているカメラが表示されていないときは、ドライバが正しく動作していません。専用ケーブルをいったん取り外して、しっかりと差し込んでください。それでも接続しているカメラが表示されないときは、次の手順でドライバをインストールしなおしてください。

- 1 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する (W-109)
- 2 ドライバをインストールする (W-4)

→ 接続しているカメラの横に【X】【!】【?】マークが付いているときは、ドライバの一部が削除されているか壊れています。次の手順でドライバをインストールしなおしてください。

- 1 【イメージング デバイス】に表示されているカメラを削除する
- 2 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する (W-109)
- 3 ドライバをインストールする (W-4)

● ドライバは正しくインストールされていますか？

カメラとパソコンを専用ケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉(W-8)にして、【デバイス マネージャ】を表示 (W-107) します。【その他のデバイス】か【不明なデバイス】の左にある【+】を押し、接続しているカメラ、または【Canon Digital Camera】が表示されているか確認します。



- **【その他のデバイス】** か **【不明なデバイス】** に接続しているカメラ、または **【Canon Digital Camera】** が表示されているときは、ドライバが正しくインストールされていません。次の手順でドライバをインストールしなおしてください。
- 1 **【その他のデバイス】** か **【不明なデバイス】** に表示されているカメラ、または **【Canon Digital Camera】** を削除する
 - 2 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する (W-109)
 - 3 ドライバをインストールする (W-4)

W

ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを接続してしまった

- カメラの電源スイッチを〈ON〉にしましたか？
 - 〈ON〉にしていないときは、次の操作を行ってください。
 - 1 専用ケーブルをカメラとパソコンから取り外す
 - 2 手順通りパソコンにSolution Diskのソフトウェアをインストール (W-4) し、カメラとパソコンを接続して、インストールを完了する (W-8)
 - 〈ON〉にしてしまったときは、次の操作を行ってください。
 - 1 **【新しいハードウェアの検出ウィザード】** などが表示されたときは、**【キャンセル】** ボタンを押して表示された画面をすべてキャンセルする
 - 2 カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
 - 3 専用ケーブルをカメラとパソコンから取り外す
 - 4 手順通りパソコンにSolution Diskのソフトウェアをインストール (W-4) し、カメラとパソコンを接続して、インストールを完了する (W-8)

デバイス マネージャを表示するには

- Windows XP
 - **【スタート】** ボタン ▶ **【コントロール パネル】** を選び、**【パフォーマンスとメンテナンス】** ▶ **【システム】** の順にクリックし、**【ハードウェア】** タブを選んで、**【デバイス マネージャ】** ボタンを押します。
- Windows 2000
 - **【スタート】** ボタン ▶ **【設定】** ▶ **【コントロール パネル】** を選び、**【システム】** アイコンをダブルクリックして開き、**【ハードウェア】** タブを選んで、**【デバイス マネージャ】** ボタンを押します。
- Windows Me、Windows 98 SE
 - **【スタート】** ボタン ▶ **【設定】** ▶ **【コントロール パネル】** を選び、**【システム】** アイコンをダブルクリックして開き、**【デバイス マネージャ】** タブを選びます。

7

トラブルシューティングとソフトウェアの削除

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用ケーブルをパソコンから取り外してください。

ソフトウェアを削除する

ここでは、EOS Viewer Utilityを例にしていますが、他のソフトウェアを削除するときも同様の手順で行います。

- WIA Driver/TWAIN Driverの削除については、「ドライバを削除する」(W-109)を参照してください。
- Windows XP Professional、Windows 2000を使用しているときは、コンピューターの管理者/Administrator権限でログオンしてください。
- ソフトウェアを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。パソコンが正しく動作しないことがあります。再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

1 **【スタート】 ボタン ▶ 【すべてのプログラム】（他のWindowsでは【プログラム】） ▶ 【Canon Utilities】 ▶ 【EOSViewerUtility xx】 ▶ 【EOSViewerUtility アンインストール】 を選ぶ**

- xx には、EOS Viewer Utilityのバージョンが表示されます。

2 **表示される画面内容にしたがって、削除をすすめる**
→ ソフトウェアが削除されます。

ドライバを削除する

ドライバの削除は、WIA Driver、またはTWAIN Driverを削除したあと、【スキャナとカメラのプロパティ】、または【スキャナとカメラ】でカメラデータの削除と、ドライバの設定ファイルの削除をする必要があります。

- Windows XP Professional、Windows 2000を使用しているときは、コンピューターの管理者/Administrator権限でログオンしてください。
- ドライバを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。パソコンが正しく動作しないことがあります。再起動をしないで再インストールすると誤動作の原因になります。
- 操作画面に表示されるカメラ名は、EOS XXXとしています。

1 【EOS XXX WIA Driver】、または【EOS XXX TWAIN Driver】を削除する

- EOS XXXには、使用しているカメラ名が表示されます。
- Windows XP、Windows Meを使用しているときは、【スタート】ボタン ▶ 【すべてのプログラム】 (Windows Meでは【プログラム】) ▶ 【Canon Utilities】 ▶ 【EOS XXX WIA Driver】 ▶ 【WIA Driverアンインストール】を選びます。
- Windows 2000、Windows 98 SEを使用しているときは、【スタート】ボタン ▶ 【プログラム】 ▶ 【Canon Utilities】 ▶ 【EOS XXX TWAIN Driver】 ▶ 【TWAIN Driver アンインストール】を選びます。

2 表示される画面内容にしたがって、削除をすすめる

→ ドライバが削除されます。

3 カメラとパソコンを接続する

- カメラ名が表示された画面や【スキャナとカメラ ウィザード】が表示されたときは、【キャンセル】ボタンを押して表示された画面をすべて終了します。

4 【スタート】ボタン ▶ 【コントロール パネル】 ▶ 【プリンタとその他のハードウェア】 ▶ 【スキャナとカメラ】の順にクリックする

- 他のWindowsでは、【スタート】ボタン ▶ 【設定】 ▶ 【コントロールパネル】を選び、【スキャナとカメラ】アイコンをダブルクリックします。
- Windows XP、Windows Meでは、【スキャナとカメラ】画面が表示されます。
- Windows 2000、Windows 98 SEでは、【スキャナとカメラのプロパティ】画面が表示されます。

5 【スキャナとカメラ】のカメラデータを削除する

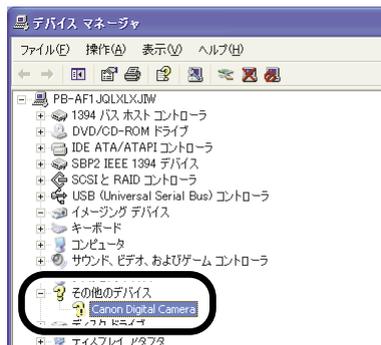
- Windows XP、Windows Meを使用しているときは、使用しているカメラのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから【削除】を選び、確認画面で【はい】ボタンを押します。
- Windows 2000、Windows 98 SEを使用しているときは、使用しているカメラを選んで【削除】ボタンを押します。
- 【スキャナとカメラ】、または【スキャナとカメラのプロパティ】に、使用しているカメラが表示されていないときは、画面を閉じて次の手順にすすみます。



❗ スキャナーなどのドライバがすでにインストールされているときは、それらの装置名も表示されます。誤って削除しないよう十分注意してください。

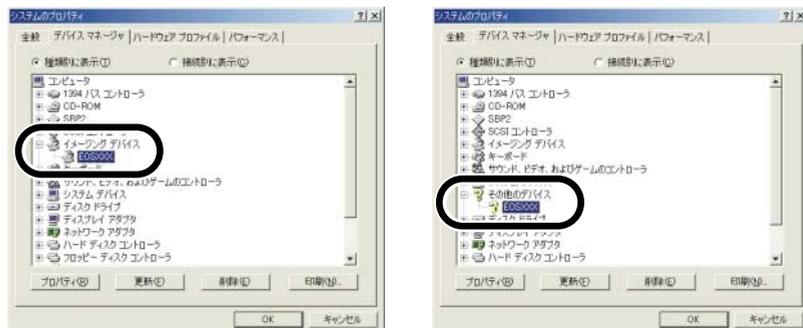
6 【デバイス マネージャ】を表示する (W-107)

7 【デバイス マネージャ】のカメラデータを削除する Windows XP、Windows 2000を使用しているとき



- [イメージング デバイス] または [その他のデバイス] の左にある [+] を押して使用しているカメラが表示されているときは、右クリックして表示されるメニューから [削除] を選び、確認画面で [OK] ボタンを押します。
- 使用しているカメラが [イメージングデバイス] と [その他のデバイス] の両方、あるいは [その他のデバイス] に複数あるときは、同様の手順ですべて削除します。
- 使用しているカメラが表示されていないときや削除が終了したあとは、[OK] ボタンを押して次の手順にすすみます。

Windows Me、Windows 98 SEを使用しているとき



- [イメージング デバイス] または [その他のデバイス] の左にある [+] を押して使用しているカメラが表示されているときは、使用しているカメラを選んで [削除] ボタンを押し、確認画面で [OK] ボタンを押します。
- 使用しているカメラが [イメージングデバイス] と [その他のデバイス] の両方、あるいは [その他のデバイス] に複数あるときは、同様の手順ですべて削除します。
- 使用しているカメラが表示されていないときや削除が終了したあとは、[OK] ボタンを押して次の手順にすすみます。

8 ドライバの設定ファイルを削除する

- 使用しているWindowsにより設定ファイルの削除方法は異なります。下記のページを参照し、設定ファイルを削除してください。
 - ・ Windows XP (W-112)
 - ・ Windows 2000 (W-113)
 - ・ Windows Me、Windows 98 SE (W-115)

ドライバの設定ファイルを削除する

❶ 誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。十分にファイル名を確認してから削除してください。

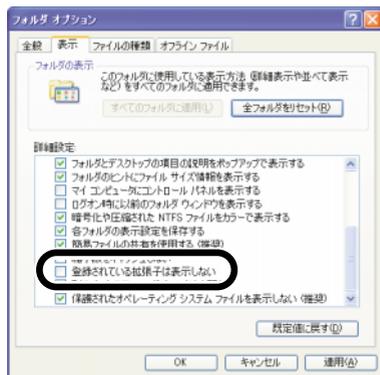
Windows XPを使用しているとき

1 **【スタート】 ボタン ▶ 【コントロール パネル】 を選び、【デスクトップの表示とテーマ】 ▶ 【フォルダ オプション】 の順にクリックする**
→ **【フォルダ オプション】 が表示されます。**

2 **【表示】 タブを選ぶ**
→ **【表示】 タブ画面が表示されます。**

3 **【すべてのファイルとフォルダを表示する】 ラジオボタンを選び、【登録されている拡張子は表示しない】 チェックボックスのチェックを外す**

● このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。



4 **【OK】 ボタンを押して【フォルダ オプション】 を閉じる**
→ **見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。**

5 **【スタート】 ボタン ▶ 【マイ コンピュータ】 の順にクリックする**

6 **【C:】 ドライブ ▶ 【WINDOWS】 フォルダ ▶ 【Inf】 フォルダの順にダブルクリックして開く**

7 [Oem*.inf]、[Oem*.pnf] という名前のファイルを探す

- *には1や2などの数字が入ります。また [Oem*] ファイルは、[Oem*.inf] と [Oem*.pnf] で一組になっていて、*にはそれぞれに同じ数字が入ります。
(例：Oem2.infとOem2.pnf)
- [Inf] フォルダ内には複数組の [Oem*] ファイルが存在することがあります。

8 [Oem*.inf] ファイルの内容を確認する

- [Oem*.inf] ファイルをダブルクリックしてファイルの内容を表示し、1行目に [;**** Canon Camera Driver Setup File ****] と表示されていることを確認してください。
- [Oem*.inf] ファイルが複数あるときは、この操作をくり返し行ってください。
- 目的のファイルが確認できたらファイル名を控えてください。

9 確認した [Oem*.inf]、[Oem*.pnf] ファイルを削除する

- [Inf] フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。十分にファイル名を確認してから削除してください。

Windows 2000を使用しているとき

1 [スタート] ボタン ▶ [設定] ▶ [コントロール パネル] を選ぶ

2 [フォルダ オプション] アイコンをダブルクリックする

- [フォルダ オプション] が表示されます。

3 [表示] タブを選ぶ

- [表示] タブ画面が表示されます。

4 【すべてのファイルとフォルダを表示する】ラジオボタンを選び、【登録されている拡張子は表示しない】チェックボックスのチェックを外す

- このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。



5 【OK】 ボタンを押して【フォルダ オプション】 を閉じる

- 見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。

6 デスクトップの【マイ コンピュータ】 ▶ 【C:】 ▶ 【Winnt】 フォルダ ▶ 【Inf】 フォルダを開く

7 【Oem*.inf】、【Oem*.pnf】 という名前のファイルを探す

- *には1や2などの数字が入ります。また【Oem*】ファイルは、【Oem*.inf】と【Oem*.pnf】で一組になっていて、*にはそれぞれに同じ数字が入ります。
(例：Oem2.infとOem2.pnf)
- 【Inf】フォルダ内には複数組の【Oem*】ファイルが存在することがあります。

8 【Oem*.inf】 ファイルの内容を確認する

- 【Oem*.inf】 ファイルをダブルクリックしてファイルの内容を表示し、1行目に【; **** Canon Camera Driver Setup File ****】と表示されていることを確認してください。
- 【Oem*.inf】 ファイルが複数あるときは、この操作をくり返し行ってください。
- 目的のファイルが確認できたらファイル名を控えてください。

9 確認した【Oem*.inf】、【Oem*.pnf】 ファイルを削除する

- 【Inf】フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。十分にファイル名を確認してから削除してください。

Windows Me、Windows 98 SEを使用しているとき

- 1 **【スタート】 ボタン ▶ 【設定】 ▶ 【コントロールパネル】 を選び、【フォルダ オプション】 アイコンをダブルクリックする**
 - Windows 98 SEを使用しているときは、【スタート】 ボタン ▶ 【設定】 ▶ 【フォルダ オプション】 を選びます。
 - ➔ 【フォルダ オプション】 が表示されます。
- 2 **【表示】 タブを選ぶ**
 - ➔ 【表示】 タブ画面が表示されます。
- 3 **【すべてのファイルとフォルダを表示する】（Windows 98 SEでは【すべてのファイルを表示する】）ラジオボタンを選び、【登録されている拡張子は表示しない】 チェックボックスのチェックを外す**
 - このように設定されているときは、そのまま次の手順にすすんでください。

Windows Me



Windows 98 SE



- 4 **【OK】 ボタンを押して【フォルダ オプション】 を閉じる**
 - ➔ 見えない設定になっていたフォルダやファイルが見えるようになります。
- 5 **デスクトップの【マイ コンピュータ】 ▶ 【C:】 ▶ 【Windows】 フォルダ ▶ 【Inf】 フォルダの順にダブルクリックして開く**

6 【Drvdata.bin】、【Drvidx.bin】 ファイルを削除する



7 [Inf] フォルダ内の [Other] フォルダをダブルクリックして開く

8 [Canon.IncCAP_XXXX.inf] ファイルがあるときは削除する



- EOS-1D Mark IIでは、ファイル名のXXXXに【1DM2】が表示されます。
- EOS-1Dsでは、ファイル名のXXXXに【1Ds】が表示されます。
- EOS-1Dでは、ファイル名のXXXXに【1D】が表示されます。
- 使用しているパソコン環境により、【Canon.IncCAP_XXXX.inf】ファイルがないこともあります。

! [Inf] フォルダ内にはたくさんのファイルがあります。誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなることがあります。十分にファイル名を確認してから削除してください。

索引

英数字

AFフレームの確認	W-22
EOS Captureメイン画面	W-89
EOS Viewer Utilityメイン画面	W-13
EOS Viewer Utilityを起動する	W-12
ICC	W-45
IPTC情報設定	W-51
JPEG記録画質設定	W-86
PhotoStitchで画像を合成する	W-54
RAW画像の現像について	W-29
RAW画像を編集する	W-29
RAW調整ツールパレット	W-15
TWAIN Driverで画像を取り込む	W-102
WIA Driverで画像を取り込む	W-98

あ

インストール	W-4
インストールを完了する	W-8
音声を再生する	W-28

か

カスタムホワイトバランス設定	W-82
画像情報の確認とコメント入力	W-27
画像にチェックマークをつける	W-24
画像にプロテクトをかける	W-26
画像の表示サイズを選ぶ	W-22
画像を印刷する	W-28
画像を選ぶ	
プレビュー画面で画像を選ぶ	W-23
メイン画面で画像を選ぶ	W-23
画像を回転する	W-26
画像を消去する	W-27
画像を条件で選ぶ	W-24
画像を取り込む	W-16
画像を編集する	W-26
画像を保存する	W-45
カメラ設定	W-56
カメラ設定 (EOS Capture)	W-94
カメラとパソコンを接続する	
2回目以降にカメラとパソコンを	
接続する	W-9

はじめてカメラとパソコンを	
接続する	W-8
カラー調整	W-43
カラーマトリックス設定	W-84
カラーマトリックスの設定内容に	
ついて	W-42
カラーマトリックスを選ぶ	W-41
環境設定	W-50
基本設定	W-57
現像条件を設定する	W-30
現像パラメーター設定	W-78
コントラストを選ぶ	W-40

さ

削除

ドライバ	W-109
ソフトウェア	W-108
撮影設定	W-77
サムネイル表示	W-20
シャープネスを選ぶ	W-44
所有者名を設定する	W-57
操作の流れ	5
ソフトウェア動作環境	W-2
ソフトウェアの主な機能	
EOS Viewer Utility / EOS Capture ..	4
PhotoStitch	4
TWAIN Driver	4
WIA Driver	4

た

対応画像形式について	W-17
デジタル露出補正	W-31
トラブルシューティング	W-104
トーンカーブ設定	W-80
トーンカーブ調整	W-37
トーンカーブについて	W-40
トーンカーブを保存する	W-39
トーンカーブを読み込む	W-39

は

パーソナル機能設定.....W-58
パーソナル機能設定を保存するW-76
パーソナル機能設定を読み込むW-76
パーソナル機能で設定できる内容.....W-62
日付／時刻を設定する.....W-57
プレビュー画面W-20
保存先設定 (EOS Capture).....W-93
ホワイトバランス補正
(EOS Capture)W-96
ホワイトバランスを調整する
色温度を設定する.....W-33
クリックホワイトバランスW-34
ホワイトバランスを選ぶ.....W-32
ホワイトバランスを補正するW-35
ホワイトバランスを保存するW-36

ら

リモート撮影
1枚撮影.....W-90
インターバルタイマー撮影.....W-92
タイマー撮影W-91
リモート撮影機能を起動するW-88
レタッチソフトに画像を送るW-48

Macintosh

各OSの操作方法が共通のときは、Mac OS X (10.2) を使用したときの画面を例に説明しています。また、本章では、Mac OS XをOS X、Mac OS 9.2をOS 9と表記しています。

1 インストール.....M-3

付属のソフトウェアをインストールする手順について説明します。

2 画像を取り込む準備をするM-7

カメラやカードリーダー（市販品）とパソコンの接続方法について説明します。

3 EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する.....M-11

EOS Viewer Utilityを使って撮影画像をパソコンへ取り込み、画像編集を行って保存する方法や、取り込んだ画像をレタッチソフトに転送する方法などについて説明します。

4 EOS Viewer Utilityでカメラを設定するM-55

所有者名や日付／時刻、パーソナル機能、現像パラメーター、カスタムホワイトバランスなどをカメラに設定する方法について説明します。

5 EOS Viewer Utilityでリモート撮影するM-87

EOS Viewer Utilityのリモート撮影機能を使い、パソコンからカメラを制御してのリモート撮影やカメラの設定方法について説明します。

6 トラブルシューティングとソフトウェアの削除M-97

トラブルシューティングや、ソフトウェアの削除について説明します。

索引.....M-101

ソフトウェア動作環境

付属のソフトウェアは、次の動作環境に対応しています。

OS (オーエス)	Mac OS X 10.1~10.3、 Mac OS 9.0~9.2 (Mac OS 9.2推奨)
機種	上記の日本語版OSがインストールされていて、 FireWire (IEEE 1394) 接続部を標準装備したMacintosh
CPU (シーピーユー)	Power PC
RAM (ラム)	Mac OS X : 256MB以上 Mac OS 9.0~9.2 : 128MB以上
インターフェース	FireWire (IEEE 1394)
ハードディスク空き容量	EOS Viewer Utility / EOS Capture : 300MB以上 PhotoStitch : 30MB以上
ディスプレイ	解像度 : 1024×768以上 カラー : 約32,000カラー以上

- Mac OS XでUFS (Unix File System) フォーマットされたディスクには対応していません。
- インストールには、CD-ROMドライブが必要です。

インストール



この章では、付属のソフトウェアをインストールする手順について説明します。

ソフトウェアをインストールする.....M-4

ソフトウェアをインストールする

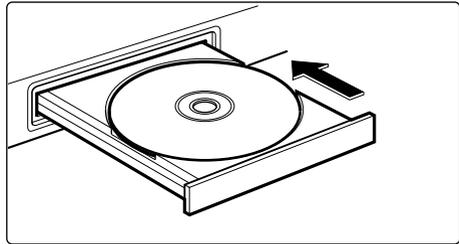
- 使用しているMacintoshが、ソフトウェア動作環境（M-2）に対応していることを確認してから、手順通りにインストールしてください。

1 Macintoshを起動する

- 他のソフトウェアが起動しているときは、すべて終了します。

2 CD（EOS DIGITAL Solution Disk）を入れる

- ➔ CDのアイコンがデスクトップ上に表示されます。



3 インストールを開始する

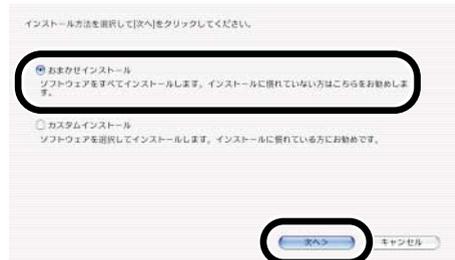
- CDのアイコン ▶ **【Mac OS X】** フォルダを開いて右のアイコンをダブルクリックします。
- OS 9では、表示されたCD内の **【Mac OS 9】** フォルダを開いて右のアイコンをダブルクリックします。
- ➔ インストーラーパネルが表示されます。



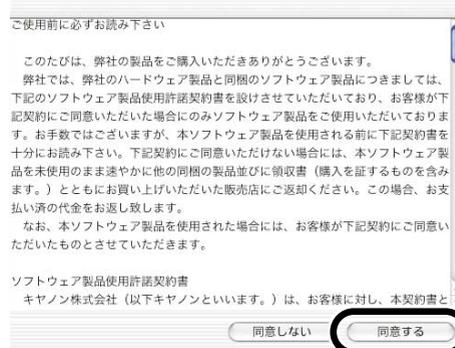
4 【インストール】 ボタンを押す



5 【おまかせインストール】を選び、【次へ】ボタンを押す



6 使用許諾契約の内容を確認し、【同意する】ボタンを押す



7 インストール先を確認し、【次へ】ボタンを押す

→ インストールがはじまり、約2～3分で終了します。



8 インストールを終了する

● [OK] ボタンを押します。

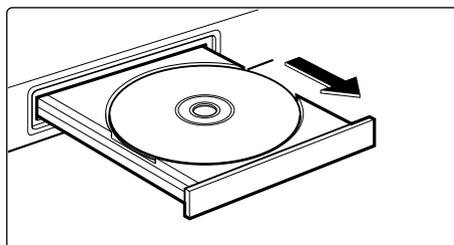


9 【終了】 ボタンを押す



10 インストールが終了したらCDを取り出す

● 引き続き2章でカメラとパソコンを接続します。



画像を取り込む 準備をする



この章では、カメラやカードリーダー（市販品）とパソコンの接続方法について説明します。

カメラとパソコンを接続する	M-8
カードリーダーを使う	M-10

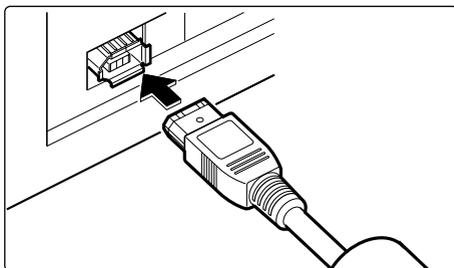
カメラとパソコンを接続する

画像の取り込みやカメラを設定するときは、専用のFireWire (IEEE1394) ケーブルで接続します。

接続はパソコンを起動した状態で行うことができます。

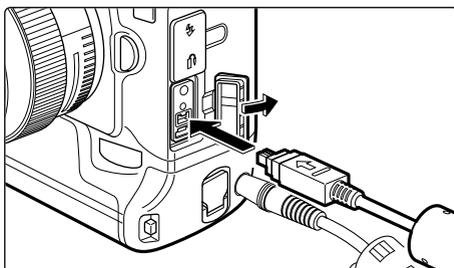
1 専用ケーブルのプラグをパソコンに接続する

- FireWire (IEEE1394) 接続部にプラグを接続します。
- 接続部の位置については、パソコンの使用説明書を参照してください。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、どちらのプラグ (6ピンタイプ) を接続してもかまいません。



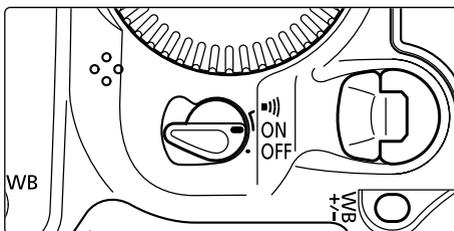
2 専用ケーブルのプラグをカメラに接続する

- カバーを開いて、〈DIGITAL〉端子部にプラグを接続します。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、どちらのプラグ (6ピンタイプ) を接続してもかまいません。



3 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

- ➔ カメラとパソコンが通信可能な状態になります。
- 引き続き3章へすすんでください。



- カメラとパソコンを接続して、Solution Diskからインストールしたソフトウェアを起動しているときに次の操作を行うと、通信不良を起こすことがありますので、絶対に行わないでください。
 - ・カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
 - ・メモリーまたはCFカードスロットカバーを開ける
 - ・専用ケーブルを取り外す、バッテリーを取り出す、DCカプラーを取り外す
 - ・ACアダプターのプラグや電源コードを抜く
 上記の操作を行うときは、必ず、すべてのソフトウェアを終了してから行ってください。
- カメラの液晶モニターを表示している状態では、カメラとの通信はできません。必ず、液晶モニターの表示を消してから、カメラとパソコンを接続してください。
- カメラとパソコンが通信しているときは、カメラの表示パネル内容が点滅表示になることがあります。
- 専用ケーブル以外は使用しないでください。
- プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。不完全な接続は故障や動作不良の原因となります。
- ハブを介してカメラとパソコンを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 複数のIEEE1394機器をパソコンに接続していると、カメラが正しく動作しないことがあります。他のIEEE1394機器をパソコンから外して、カメラのみ接続してください。
- カメラのオートパワーオフ機能が働くと、自動的にカメラの電源が切れ、パソコンとの通信ができなくなります。事前にオートパワーオフ機能を「切」に設定してください。（付属のカメラ使用説明書「メニュー機能の操作と設定」）
- 1台のパソコンにカメラを2台以上接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 専用ケーブルを取り外すときは、必ずプラグの側面を持って引いてください。
- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、使用しているパソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときは、さらに何も操作を行わないとカメラとの通信が切断されます。通信を再開するには、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを〈OFF〉にして、再度〈ON〉にしてください。
- カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。

万一、パソコンがスタンバイ（スリープ）状態になってしまったときは、専用ケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ（スリープ）状態から回復してください。スタンバイ（スリープ）状態で専用ケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ（スリープ）状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ（スリープ）状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。



カメラとパソコンを接続するときは、DCカプラーキットの使用をおすすめします。

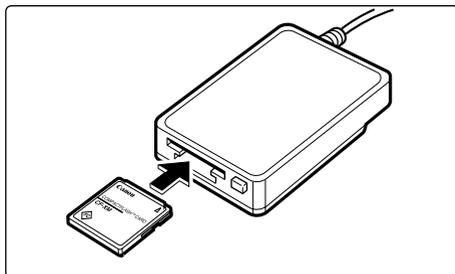
カードリーダーを使う

市販のカードリーダーをお持ちの方は、メモリーカードから直接パソコンへ画像を取り込むことができます。

1 カメラからメモリーカードを取り出す

2 メモリーカードをカードリーダーに差し込む

→ 引き続き3章へすすんでください。



 カードリーダーとパソコンの接続方法については、カードリーダーの使用説明書を参照してください。

EOS Viewer Utilityで 撮影画像を操作する



この章では、EOS Viewer Utilityを使って撮影画像をパソコンへ取り込み、画像編集を行って保存する方法や、取り込んだ画像をレタッチソフトに転送する方法などについて説明します。

EOS Viewer Utilityの制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

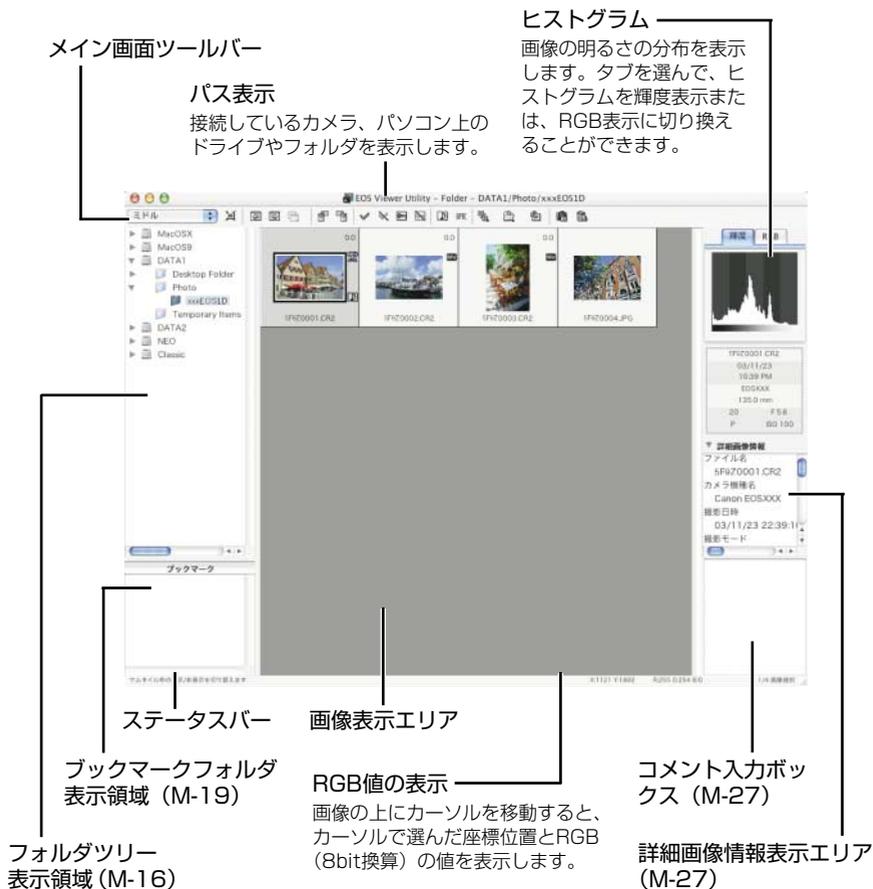
はじめにお読みください：[Canon Utilities] フォルダ ▶ [EOS Viewer Utility] フォルダ ▶ [はじめにお読みください] の順にダブルクリックして表示します。

EOS Viewer Utilityを起動する ...M-12	画像を消去するM-27
画像を取り込むM-16	画像情報の確認とコメント入力...M-27
フォルダ操作M-18	音声を再生するM-28
メモリーカードのフォルダ構造と	画像を印刷するM-28
ファイル名についてM-18	RAW画像を編集するM-29
よく使うフォルダを登録する...M-19	RAW画像の現像についてM-29
画像の表示方法を選ぶ.....M-20	現像条件を設定するM-30
メイン画面（サムネイル表示）...M-20	明るさを調整する
プレビュー画面表示M-20	（デジタル露出補正）M-31
表示サイズを選ぶM-22	ホワイトバランスを調整する...M-32
AFフレームの確認.....M-22	ホワイトバランスを保存する...M-36
画像を選ぶ.....M-23	色と明るさを調整する
メイン画面で画像を選ぶ.....M-23	（トーンカーブ調整）M-37
プレビュー画面で画像を選ぶ...M-23	コントラストを選ぶM-40
画像にチェックマークをつける...M-24	カラーマトリックスを選ぶ.....M-41
画像を条件で選ぶM-24	カラー調整M-43
メイン画面を最前面、最背面に	シャープネスを選ぶM-44
移動するM-25	画像を保存するM-45
プレビュー画面の表示サイズを	レタッチソフトに画像を送るM-48
統一するM-25	環境設定M-50
画像を編集するM-26	IPTC情報設定M-51
画像にプロテクトをかける.....M-26	PhotoStitchで画像を合成する...M-54
画像を回転するM-26	

EOS Viewer Utilityを起動する

- 1 カメラとパソコンを接続する (M-8)
- 2 デスクトップの【Canon EOS Viewer Utility】アイコンをダブルクリックする
 - メイン画面が表示されます。
 - 【Canon Utilities】フォルダ ▶ 【EOS Viewer Utility】フォルダ ▶ 【EOS Viewer Utility】アイコンの順にダブルクリックして起動することもできます。

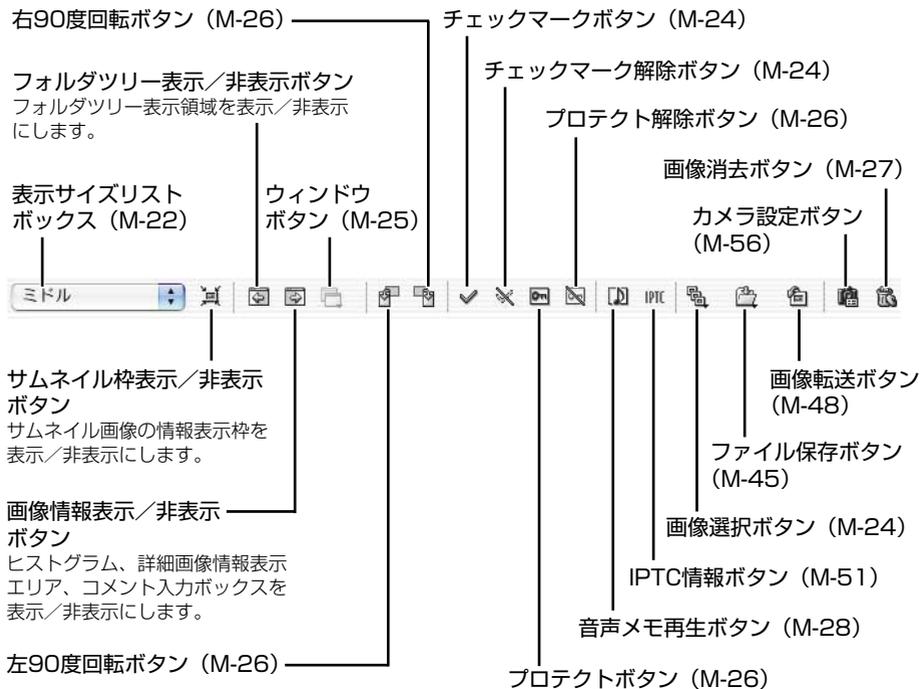
メイン画面



※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- OS XでのEOS Viewer Utilityの終了は、**【EOS Viewer Utility】**メニュー ▶ **【EOS Viewer Utilityを終了】** を選びます。
- OS 9でのEOS Viewer Utilityの終了は、**【ファイル】**メニュー ▶ **【終了】** を選びます。

メイン画面ツールバー



※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

RAW調整ツールパレット

カメラタイプ
選んだRAW画像を撮影したカメラ名が表示されます。

デジタル露出補正
スライダー (M-31)

色温度入力ボックス (M-33)

ホワイトバランスリストボックス (M-32, 33)

LBフィルタースライダー (M-35) *

CCフィルタースライダー (M-35) *

トーンカーブ調整ボタン (M-37)

標準タブ画面 (M-41) *

カラーマトリックス
リストボックス (M-41)

シャープネス
リストボックス (M-44)
EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では、**【強さ】**と**【対象】**の2項目が表示されます。

プレビューチェック
ボックス (M-30)

撮影時設定にリセットボタン (M-30)

更新ボタン (M-30)

カメラタイプ
EOSXXX

デジタル露出補正
0.0

ホワイトバランス
オート K

色温度
0.0

LBフィルター
0.0

CCフィルター
0.0

トーンカーブ
0

標準 詳細

標準

カラーマトリックス
標準

シャープネス
0

撮影時設定にリセット

更新

標準 詳細

色の濃さ
標準

色あい
0

色空間
sRGB

色空間リストボックス (M-43) *

色あいリストボックス (M-43) *

色の濃さリストボックス (M-43) *

クリックホワイトバランス
ボタン (M-34)

ホワイトバランス設定
ボタン (M-36)

LBフィルター補正值表示
ボックス (M-35) *

CCフィルター補正值表示
ボックス (M-35) *

コントラストリストボックス
(M-40) *

詳細タブ画面 (M-43) *

M

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

- RAW画像を選ぶと、撮影したカメラ名と設定できる現象条件が表示されます。
- **【詳細】** タブを選ぶと、**【詳細】** タブ画面が表示されます。
- *の機能は、EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では表示されません。

※ 上記のツールパレットは、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

- JPEG画像や、EOS Viewer UtilityでRAW画像から変換／保存したTIFF画像、JPEG画像を選んだときは、RAW調整ツールパレットには何も表示されず編集できません。
- カメラ内のメモリーカードに保存されているRAW画像を選んだときは、RAW調整ツールパレットには何も表示されず編集できません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

- 撮影時の設定は、リストボックスに太文字(ボールド)／斜体(イタリック)で表示されます。
- RAW調整ツールパレットを非表示にしているときは、**【表示】** メニュー ▶ **【ツールパレット】** を選んで表示します。

画像を取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込み（コピー）、メイン画面に表示します。画像の取り込みは、フォルダツリー表示領域で行います。

1 画像を取り込むフォルダを作る

- 画像の取込先となるフォルダを〈control〉+クリックし、表示されるメニューから【新規フォルダ】を選んで、フォルダ名を入力します。（ここでは、フォルダ名に【Photo】と入力します）



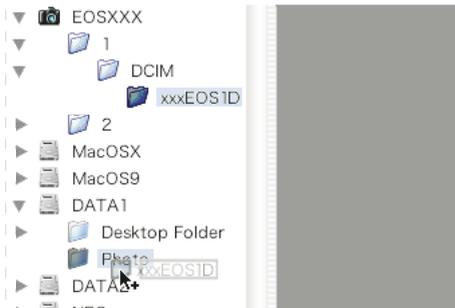
2 コピーしたいフォルダを表示する

- カメラのアイコン ▶ 【1】フォルダ（CFカード）または、【2】フォルダ（SDカード） ▶ 【DCIM】フォルダの順にダブルクリックします。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、カメラアイコン ▶ 【1】フォルダ ▶ 【DCIM】フォルダの順にダブルクリックします。
- ➔ 【xxxEOS1D】フォルダが表示されます。（xxxには100～999までの数字が表示されます）



3 フォルダをコピーする

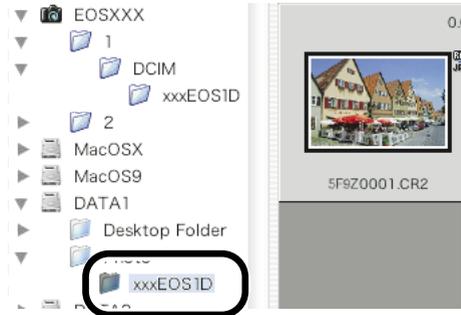
- 【xxxEOS1D】フォルダをドラッグし、コピー先のフォルダ上でドロップします。
- ➔ 【xxxEOS1D】フォルダがパソコンに保存されます。



4 コピーしたフォルダをクリックする

→ フォルダ内の撮影画像が表示されます。

- カメラをパソコンから取り外すときは、EOS Viewer Utilityを終了したあと、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にして、専用ケーブルを取り外します。



- カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示 (M-20)、RAW画像の編集 (M-29) を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。
- 市販のカードリーダーを使用して撮影画像を表示するときも、同様の手順で目的のフォルダをパソコンに取り込みます。

対応画像形式について

EOS Viewer Utilityで表示できるのは以下の画像です。

- ・ EOS DIGITALカメラ (1D Mark II, 1Ds, 1D, 10D, D60, D30, Kiss Digital) で撮影したRAW画像、JPEG画像
- ・ EOS Viewer Utilityで保存したTIFF画像、JPEG画像 (M-45)
- ・ DCF規格に準拠したJPEG画像

※ 表示できない画像は、【?】が表示されます。

- 撮影したあとにパソコンで加工したり、ファイル名を変更した画像は、正常に表示できないことがあります。
- カメラ内の画像を表示しているときは、カメラは使用できません。

- **縦横自動回転表示** 機能があるカメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 選んだフォルダに大量の画像が保存されているときは、表示するまでに時間がかかることがあります。

フォルダ操作

フォルダを〈control〉+クリックして表示されるメニューで、各種のフォルダ操作を行うことができます。

フォルダを〈control〉+クリックし、表示されるメニューから操作を選ぶ

選んでいるフォルダを開きます。

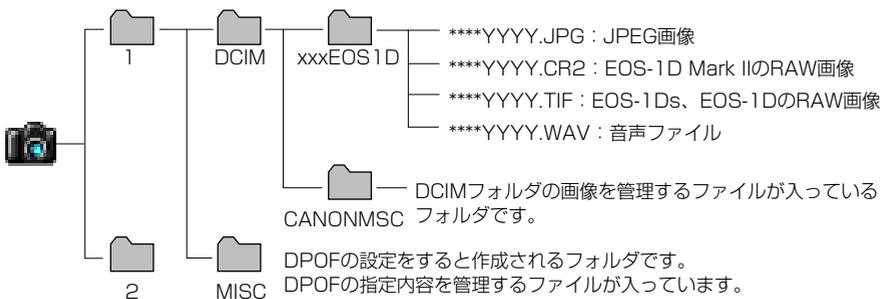
フォルダを作成します。ただし、カメラ内のメモリーカードに新規フォルダを作成することはできません。



フォルダ名を変更することができます。

フォルダツリー表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで他のフォルダへコピーすることができます。

メモリーカードのフォルダ構造とファイル名について



- EOS-1D Mark IIの【1】と【2】のフォルダ構造は同じです。
- EOS-1Ds, EOS-1Dでは、【1】のフォルダのみ表示されます。
- フォルダ名のxxxには、100～999までの数字が入ります。
- ファイル名の****には、工場出荷時に決められたカメラ固有の文字が入ります。
- ファイル名のYYYYには、0001～9999までの数字が入ります。

EOS-1D Mark IIでAdobe RGBに設定し撮影した画像は、DCF 2.0 (Exif 2.21)の規定により、ファイル名の先頭文字が「_」(アンダーバー)になります。

よく使うフォルダを登録する

よく使うフォルダをブックマークフォルダに登録することができます。

1 登録したいフォルダを表示する (M-16)

2 フォルダを登録する

- 右の図のように、登録するフォルダをドラッグ アンド ドロップします。
- 登録されると、ブックマークフォルダ表示領域にフォルダアイコンが表示されます。
- 登録を解除するときは、解除するフォルダを <control> + クリックして、表示されるメニューから **[削除]** を選びます。



M

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する



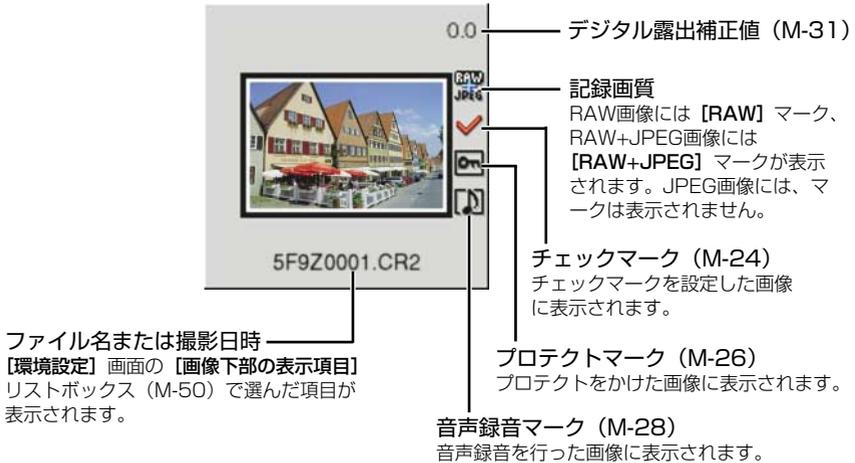
- ブックマークフォルダ表示領域のフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで並び順を変更することができます。
- 登録を解除したフォルダは、ブックマークフォルダ表示領域から表示が消えるだけで、フォルダおよびフォルダ内の画像は消去されません。

画像の表示方法を選ぶ

各画面の表示内容や表示サイズを選ぶことができます。

メイン画面（サムネイル表示）

画像には各種の情報が表示されます。



プレビュー画面表示

メイン画面の画像をダブルクリックすると、画像を拡大して表示します。

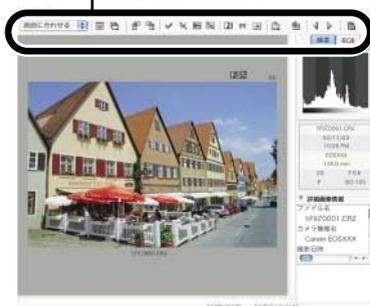
RAW画像の現像条件を変更するときは、この画面にして行います。

- プレビュー画面に表示できる画像は、最大6枚までです。
- プレビュー画面は、低解像な画像が表示されたあと高解像な表示に切り換わります。

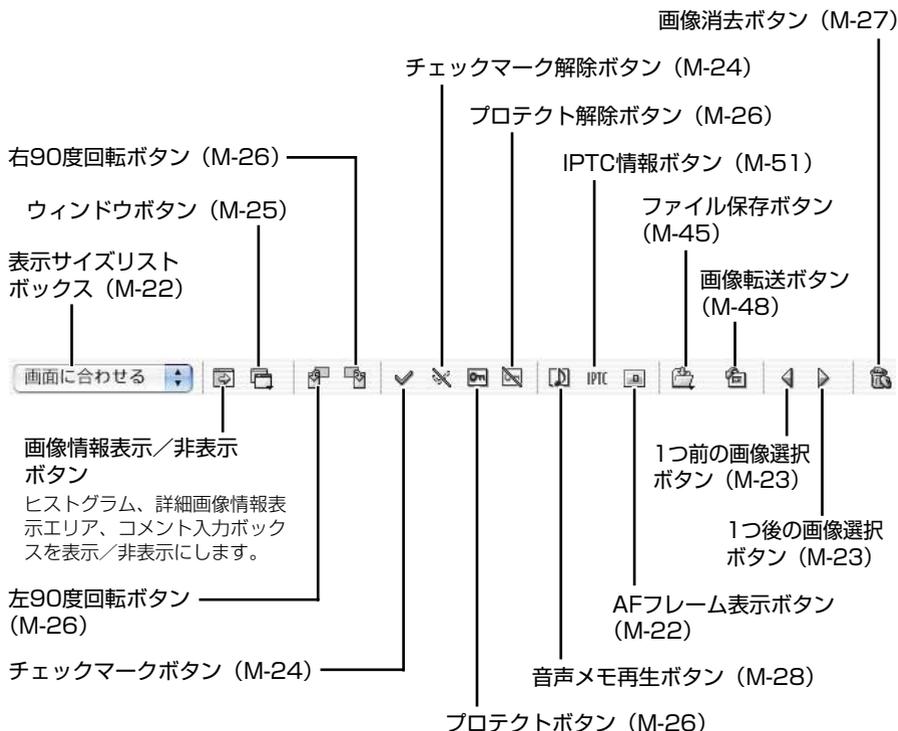
プレビュー画面

プレビュー画面ツールバー

RAW調整ツールパレット



プレビュー画面ツールバー



M

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

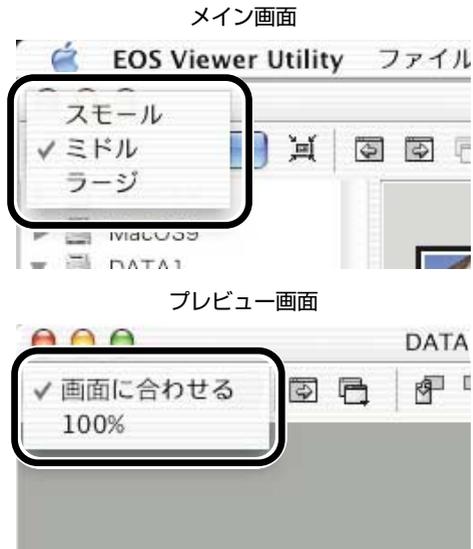
🔒 カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示、RAW画像の編集 (M-29) を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

🖼️ プレビュー画面の表示は、画像により、高解像な表示に切り換わるまで時間がかかることがあります。

表示サイズを選ぶ

リストボックスから表示サイズを選ぶ

- メイン画面では、[スモール] (64×42 pixels)、[ミドル] (100×66 pixels)、[ラージ] (160×106 pixels) から選びます。
- プレビュー画面では、[画面に合わせる]、[100%] から選びます。
- [100%] を選んだときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。



AFフレームの確認

撮影時に使用したAFフレームを表示することができます。

1 画像をプレビュー画面に表示する (M-20)

2 [AFフレーム] 表示ボタンを押す

- ➔ AFフレームが表示されます。
- 再度ボタンを押すと非表示になります。



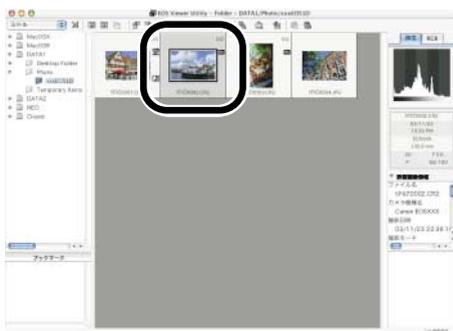
 AFフレーム自動選択で撮影したときは、ピントの合ったAFフレームが複数表示されることがあります。

画像を選ぶ

メイン画面で画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

- 選んだ画像の枠に色が付きます。
- 複数の画像を選びたいときは、**<shift>** キーを押したまま画像をクリックします。
- 連続した画像を選びたいときは、最初の画像をクリックしたあと、**<option>** + **<shift>** キーを押したまま最後の画像をクリックします。



M



キーボードの矢印キー（↑↔↓）を使って画像を選ぶこともできます。

プレビュー画面で画像を選ぶ

目的の画像をクリックする

- 選んだ画像が最前面に表示されます。



- プレビュー画面を1枚だけ表示しているときは、**【1つ前の画像選択】** ボタンまたは、**【1つ後の画像選択】** ボタンを押して、表示する画像を選ぶこともできます。



3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

画像にチェックマークをつける

画像を選ぶときに便利な、チェックマークをRAW画像につけることができます。

【チェックマーク】 ボタンを押す

→ チェックマークがつくと、画像の枠に【✓】が表示されます。



- 【チェックマーク解除】 ボタンを押すと、画像の枠から【✓】が消え、チェックマークが解除されます。



RAW画像以外の画像には、チェックマークは設定できません。



- 複数のRAW画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像にチェックマークが設定されます。
- <control> + クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を条件で選ぶ

画像を条件で一度に選ぶことができます。

【画像選択】 ボタンを押して表示されるメニューから、画像の条件を選ぶ

→ 条件にあう画像が選ばれます。



メイン画面を最前面、最背面に移動する

【ウィンドウ】 ボタンを押して表示されるメニューから【メインウインドウを最前面に移動】または、【メインウインドウを最背面に移動】を選ぶ

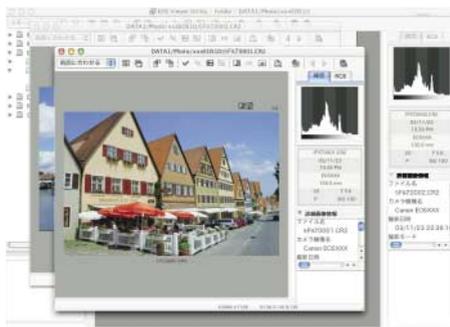
- メイン画面が最前面または、最背面に移動します。



プレビュー画面の表示サイズを統一する

複数表示されているプレビュー画面の表示サイズを統一することができます。

1 サイズ統一の基準とする画像を選ぶ (M-23)



2 【ウィンドウ】 ボタンを押して表示されるメニューから【ウィンドウサイズを統一】を選ぶ

- プレビュー表示されているすべての画像が、同じサイズに統一されます。



画像を編集する

EOS Viewer Utilityで表示できるすべての画像に、各種の編集を行うことができます。



複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。

画像にプロテクトをかける

大切な画像を誤って消去しないように、プロテクトをかけることができます。

【プロテクト】 ボタンを押す

→ プロテクトがかかると、画像の枠に  が表示されます。



● 【プロテクト解除】 ボタンを押すと、画像の枠から  が消え、プロテクトが解除されます。



- カメラでプロテクトをかけた画像は、自動的に  が表示されます。
- プロテクトは画像の消去のみを防止する機能で、画像に対する各種操作は行うことができます。
- <control> + クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を回転する

選んだ画像を左右90度単位で回転させることができます。

【右90度回転】 ボタンまたは、【左90度回転】 ボタンを押す

→ 画像が選んだ方向に90度回転します。



- 【縦横自動回転表示】 機能があるカメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 回転した画像を他のソフトウェアで表示すると、画像の回転が反映されないことがあります。
- <control> + クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像を消去する

不要な画像をパソコンのゴミ箱に移動して消去します。

1 【画像消去】 ボタンを押す

→ 画像がゴミ箱に移動します。



2 デスクトップ上で【Finder】メニュー ▶ 【ゴミ箱を空にする】を選ぶ

● OS 9では、【特別】メニュー ▶ 【ゴミ箱を空に】を選びます。

→ 画像が消去されます。

- 手順2で【ゴミ箱を空にする】(OS 9では【ゴミ箱を空に】)の操作を行い、消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- 大切な画像は、誤って消去しないようにプロテクト (M-26) をかけてください。

☞ <control> + クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

画像情報の確認とコメント入力

撮影画像に記録されている情報を確認したり、コメントを入力することができます。



詳細画像情報表示エリア

- 各種の撮影情報が表示されます。項目数はカメラの設定により異なります。
- テキストデータとしてコピーし、他のソフトウェアへペーストすることができます。
- 【▼】ボタンを押して、詳細画像情報表示エリアを非表示にすることができます。

コメント入力ボックス

半角英数字で120文字 (全角60文字) まで入力することができます。

コメントを入力し、<return> キーを押します。

- コメント入力ボックスでは、改行できません。

☞ 複数の画像を選んだときは、最後に選んだ画像の情報が表示されます。

M

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

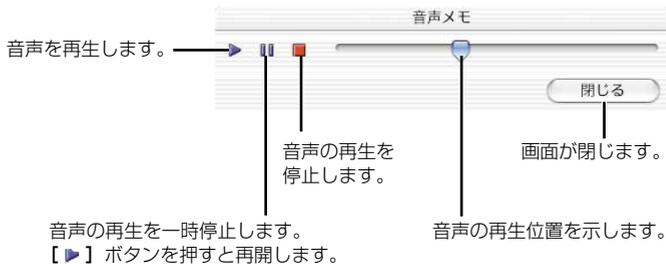
音声を再生する

音声が録音されている画像には、音声録音マークが表示されます。

- 1 **【🔊】** が表示されている画像を選び、**【音声メモ再生】** ボタンを押す
→ **【音声メモ】** 画面が表示されます。



- 2 ボタンやスライダーを操作して音声を再生する



画像を印刷する

撮影した画像をインデックス状に印刷することができます。

- 1 インデックス印刷したい画像を選ぶ (M-23)
- 2 **【ファイル】** メニュー ▶ **【インデックス印刷】** を選ぶ
→ プリント設定画面が表示されます。
- 3 印刷するプリンターや各種設定を行って印刷する

RAW画像を編集する

使用目的に最適な画像にするため、RAW画像の現像条件を設定することができます。

RAW画像の現像について

RAW画像は、撮影時にカメラで設定した現像条件（現像パラメーターやホワイトバランスなど）に基づいて現像処理が行われ、パソコンに表示されます。

● RAW画像は次の操作を行ったときに現像処理が行われて表示されます。

- ・ メイン画面からプレビュー画面に表示を切り換えたとき
- ・ プレビュー画面および、メイン画面で、現像条件を設定したとき
- ・ TIFF形式または、JPEG形式に変換して保存したとき
- ・ 設定したレタッチソフトに画像を転送したとき

また、現像処理を行ったときは、表示するまでに時間がかかります。

● 現像時間の目安

操作内容	メイン画面からプレビュー画面に表示を切り換えたとき	設定したレタッチソフトに画像を転送したとき
EOS-1D Mark II	約5秒	約40秒
EOS-1Ds	約5秒	約55秒
EOS-1D	約3秒	約30秒

- ・ 現像時間はあくまでも目安です。使用しているパソコン環境や画像により、現像時間は大きく異なります。
- ・ 現像時間は、当社試験基準によります。
(OS : OS X (10.2) / CPU : Power PC G4 700MHz / RAM : 256MB使用時)
- ・ レタッチソフトに画像転送したときの現像時間には、レタッチソフト (Adobe Photoshop 7.0使用時) の起動時間を含んでいます。

🔊 カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像では、プレビュー画面に表示 (M-20)、RAW画像の編集を行うことができません。メモリーカード内の撮影画像をパソコンに取り込んでから操作してください。

現像条件を設定する

現像条件の設定は、RAW調整ツールパレットで行います。

- 現像条件の設定は、RAW画像に手を加えるのではなく、仮想的に現像条件を適用します。そのため、何回でも条件を変更してやりなおしたり、設定した現像条件を撮影時の状態に戻すことができます。
- リニア処理は、画像保存のときやレタッチソフトに画像を転送したときに設定できる現像条件です。(M-46、M-49)

1 RAW画像をプレビュー画面に表示する (M-20)

- RAW調整ツールパレットを非表示にしているときは、**【表示】**メニュー ▶ **【ツールパレット】**を選んで表示します。

2 現像条件を設定する (M-31~M-44)

- **【撮影時設定にリセット】** ボタンを押すと、撮影時の設定状態に戻すことができます。
- **【プレビュー】** チェックボックスをチェックしておく、設定した現像条件がリアルタイムでRAW画像に適用されます。

3 **【更新】** ボタンを押す

- ➔ 現像処理が行われ、設定した現像条件がRAW画像に適用されます。
- ➔ 設定した現像条件は、自動的に画像に保存されます。



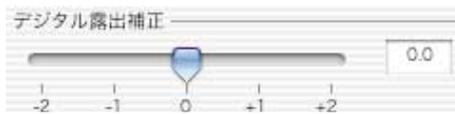
- メイン画面で複数の画像を選んでいるときは、選んだすべてのRAW画像に、設定した現像条件が適用されます。
- メイン画面で現像条件の設定を行うと、**【プレビュー】** チェックボックスをチェックしていなくても、設定した現像条件がリアルタイムで画像に適用されます。

明るさを調整する（デジタル露出補正）

画像の明るさを0.1段ステップ、±2段相当の範囲で調整することができます。

スライダーを左右にドラッグして調整する

- 調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。



M

3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

ホワイトバランスを調整する

画像のホワイトバランスを調整することができます。調整したホワイトバランスは、パソコンに保存（M-36）したり、カメラに登録（M-82）することもできます。

ホワイトバランスを選ぶ

撮影したときの光源にもっとも近いホワイトバランスを選びます。

リストボックスからホワイトバランスを選ぶ



ホワイトバランス	内 容	色温度 K (ケルビン)
オート	自動的にホワイトバランスを調整します。	約3000～7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約5200
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約7000
くもり	曇天や日陰、薄暮、夕焼け空などで撮影したときに選びます。	約6000
白熱電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約3200
白色蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約4000
ストロボ	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約6000
色温度指定	ホワイトバランスの色温度を2800～10000K（100Kステップ）の範囲で直接設定することができます。（M-33）	約2800～10000

➔ 選んだホワイトバランスが、RAW調整ツールパレットに設定されます。

色温度を設定する

色温度を設定し、ホワイトバランスを調整することができます。

1 リストボックスから【色温度指定】を選ぶ



2 色温度を入力する

- 【色温度】 入力ボックスに、2800K～10000Kまで（100Kステップ）の色温度を入力します。

→ 入力した色温度が、RAW調整ツールパレットに設定されます。



クリックホワイトバランス

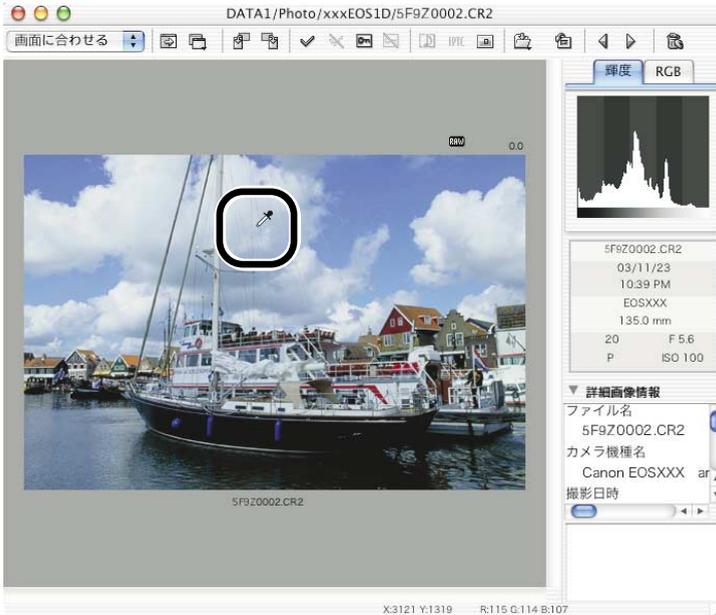
画像の白い部分を1か所選ぶと、自動的にホワイトバランスを調整することができます。

1 【クリックホワイトバランス】 ボタンを押す

- 画像の上にカーソルを移動すると、[] が [] に変わります。



2 画像の白い部分をクリックする



- 選んだ部分が白くなるように調整されます。



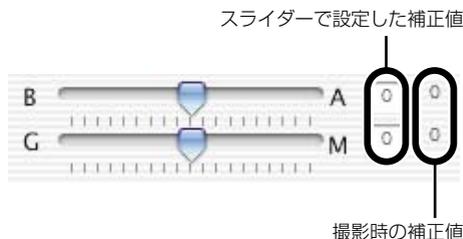
- クリックホワイトバランスは、【**プレビュー**】チェックボックスをチェックしていなくても、操作内容がリアルタイムで画像に適用されます。
- クリックホワイトバランスを使用すると、【**ホワイトバランス**】リストボックスには【**白点指定**】が表示されます。

ホワイトバランスを補正する

ホワイトバランスの標準色温度を補正することができます。この機能を使うと、市販品の色温度変換用フィルターや、色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。補正幅は各色9段です。

- 特に色温度変換フィルターや、色補正用フィルターの役割と効果を理解されている方におすすめます。
- この機能はEOS-1D Mark IIのRAW画像にのみ対応しています。

スライダーを左右にドラッグして調整する



【LBフィルター】 スライダー：

色温度変換用のLBフィルターに相当し、B側にスライドするとブルー寄りに、A側にスライドするとアンバー寄りに補正されます。

【CCフィルター】 スライダー：

色補正用のCCフィルターに相当し、G側にスライドするとグリーン寄りに、M側にスライドするとマゼンタ寄りに補正されます。

- ➔ 補正した数値がRAW調整ツールパレットに設定されます。



ブルー／アンバーの1段は、色温度変換フィルターの5ミレッドに相当します。
(ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表わす単位)

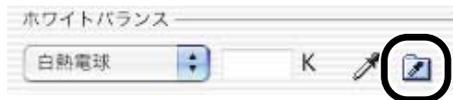
ホワイトバランスを保存する

調整したホワイトバランスをパソコンに保存して、カスタムホワイトバランス設定（M-82）で、カメラに登録することができます。

1 ホワイトバランスを調整する（M-32～M-35）

2 【ホワイトバランス設定保存】 ボタンを押す

→ 【保存】 画面が表示されます。



3 保存先を選び、ファイル名を入力して【保存】 ボタンを押す

→ ホワイトバランスデータが保存されます。

● EOS-1D Mark IIのRAW画像を調整して保存したホワイトバランスデータは、EOS-1Ds、EOS-1Dと互換性がありません。

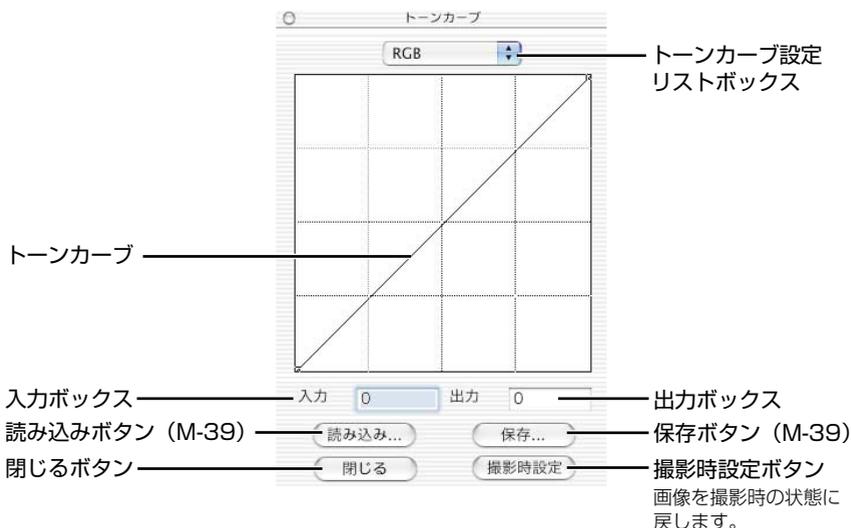
- EOS-1DsとEOS-1DのRAW画像を調整して保存したホワイトバランスデータは、互換性があります。
- パソコンに保存したホワイトバランスデータは、Windows/Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

色と明るさを調整する（トーンカーブ調整）

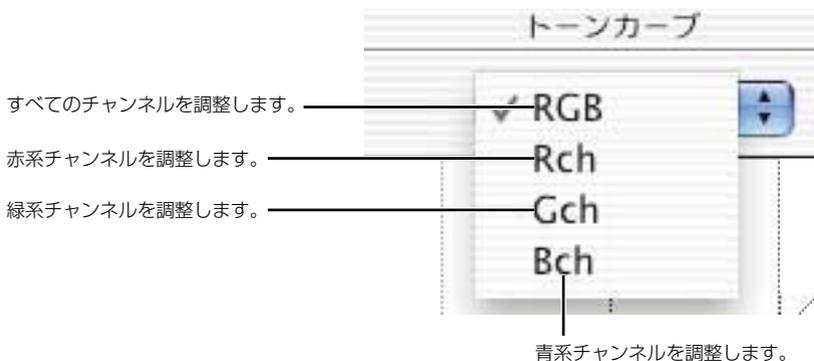
トーンカーブを操作して、色彩や明るさを調整することができます。また、調整したトーンカーブは、パソコンに保存（M-39）したり、カメラに登録（M-80）することができます。

1 【トーンカーブ調整】 ボタンを押す

→ 【トーンカーブ】 画面が表示されます。

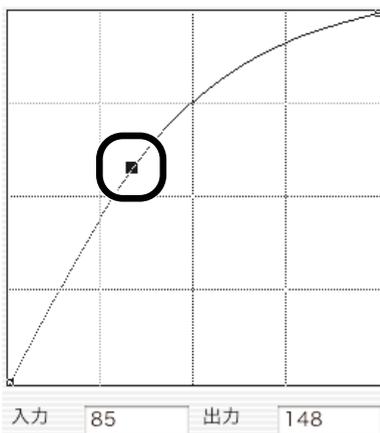


2 リストボックスからチャンネルを選ぶ



3 トーンカーブを調整する

- トーンカーブをクリックして **■** を表示し、任意の位置へドラッグします。
横軸：入力レベル
縦軸：出力レベル
- **■** を消去するときは、**■** を選び、<delete> キーを押します。
- **■** は4つまで表示することができます。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは4つのポイントが表示されます。また、ポイントの追加や削除はできません。
- トーンカーブ上の **■** を選び、**【入力】** ボックス／**【出力】** ボックスに数値を入力して調整することもできます。



4 RAW調整ツールパレットの**【更新】** ボタンを押す

- 調整したトーンカーブが画像に適用されます。
- 調整結果を確認し、手順2~4を繰り返して調整します。



5 **【閉じる】** ボタンを押す

- **【トーンカーブ】** 画面が閉じます。



トーンカーブを保存する

調整したトーンカーブを保存することができます。

1 トーンカーブを調整する (M-37)

2 【保存】 ボタンを押す

→ 【保存】 画面が表示されます。



3 保存先を選び、ファイル名を入力して【保存】 ボタンを押す

→ トーンカーブが保存されます。

EOS-1D Mark IIのRAW画像を調整して保存したトーンカーブデータは、EOS-1Ds、EOS-1Dと互換性がありません。

- EOS-1DsとEOS-1DのRAW画像を調整して保存したトーンカーブデータは、互換性があります。
- パソコンに保存したトーンカーブデータは、Windows/Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

トーンカーブを読み込む

保存したトーンカーブを、画像に適用することができます。

1 【読み込み】 ボタンを押す

→ 【ファイルの選択】 画面が表示されます。



2 トーンカーブの保存先を開き、ファイルを選んで【選択】ボタンを押す

→ トーンカーブが読み込まれます。

3 RAW調整ツールパレットの【更新】ボタンを押す

→ トーンカーブが画像に適用されます。

トーンカーブについて

トーンカーブは、調整前の画像（入力）と、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さをグラフ化したものです。撮影時に、カメラが自動的に調整した画像の明るさや色の濃さを調整することができます。

トーンカーブには、画像全体の入力と出力を一括して調整する「RGBトーンカーブ」と、R（赤）・G（緑）・B（青）の3原色の入力と出力を個別に調整するトーンカーブがあり、【トーンカーブ設定】リストボックスでチャンネルを切り換えて調整することができます。

横軸は、調整前の画像（入力）の明るさと色の濃さを表し、左側がシャドウ（画像の暗い部分）、右側がハイライト（画像の明るい部分）を示しています。

縦軸は、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さを表し、下側がシャドウ、上側がハイライトを示しています。

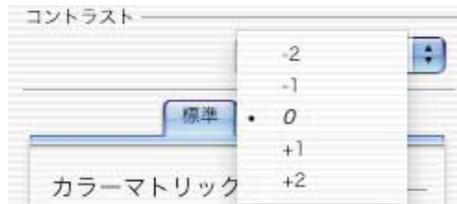
コントラストを選ぶ

画像の明暗差を強調するコントラストを調整することができます。

- この機能はEOS-1D Mark IIのRAW画像にのみ対応しています。

リストボックスから調整値を選ぶ

- 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。



カラーマトリックスを選ぶ

フィルムに相当する色相・彩度や、色域特性（再現できる色の範囲）を選びます。

1 【標準】タブを選ぶ

→ 【標準】タブ画面が表示されます。

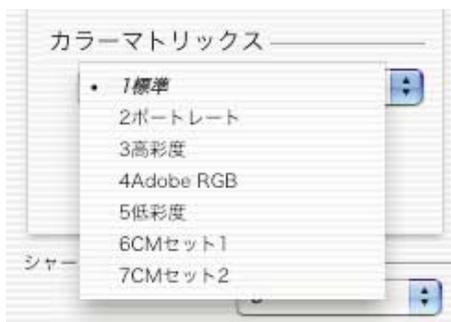
- EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では【標準】タブは表示されません。手順2へ進んでください。



M

2 リストボックスからカラーマトリックスを選ぶ

- EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では【6CMセット1】【7CMセット2】は表示されません。



3

EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する

カラーマトリックス	設定内容
1 標準	自然な色の濃さと色あいで現像されます。 被写体の持つ自然な色を出したいときに効果的です。
2 ポートレート	ポートレート向きの色あいで現像されます。 肌色をきれいにしたいときに効果的です。
3 高彩度	高彩度なリバーサルフィルムに近い色の濃さで現像されます。 くっきりした色を出したいときに効果的です。
4 Adobe RGB	Adobe RGBに対応した色空間となるように現像されます。 主に商用印刷などの業務用途で使用します。 画像処理とAdobe RGB DCF 2.0 (Exif 2.21) についての知識がない方にはおすすめできません。sRGBのパソコン環境や、DCF 2.0 (Exif 2.21) に対応していないプリンターでは、とても控えめな感じに仕上がるため、撮影後、画像処理を行う必要があります。
5 低彩度	色の濃さが薄めになるように現像されます。 ひかえめな色で表現したいときに効果的です。

→ 選んだカラーマトリックスが、RAW調整ツールパレットに設定されます。

カラーマトリックスの設定内容について

カラーマトリックス	色空間	色の濃さ	色あい
1 標準	sRGB	標準	0
2 ポートレート	sRGB	標準	-2
3 高彩度	sRGB	濃い	0
4 Adobe RGB	Adobe RGB	標準	0
5 低彩度	sRGB	薄い	0



ICCプロファイルを付加することができます。(M-45)

カラー調整

色の濃さ、色あいを調整したり、色空間を設定することができます。

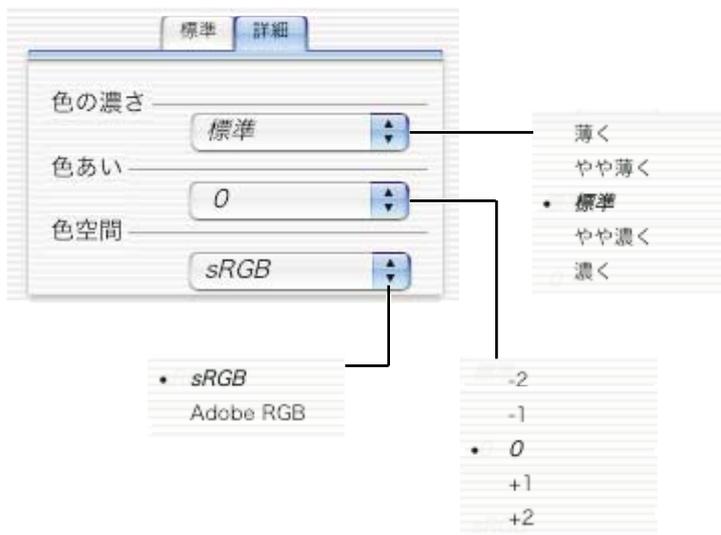
- この機能はEOS-1D Mark IIのRAW画像にのみ対応しています。

1 【詳細】 タブを選ぶ

→ 【詳細】 タブ画面が表示されます。



2 各リストボックスから設定を選ぶ



[-2] は強く、[-1] は弱く、肌色が赤めに調整されます。

[0] は、標準的な色みで調整されます。

[+2] は強く、[+1] は弱く、肌色が黄色めに調整されます。

→ 選んだ設定が、RAW調整ツールパレットに設定されます。

 【色あい】 は、マイナス側に設定すると赤色寄り、プラス側に設定すると黄色寄りの色になります。

シャープネスを選ぶ

画像の輪郭を強調するシャープネスを調整することができます。

- EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では、【強さ】と【対象】が表示され調整することができます。

リストボックスから調整値を選ぶ

- EOS-1D Mark IIのRAW画像では【シャープネス】が調整できます。数値が大きくなるほど強く調整されます。



- EOS-1Ds、EOS-1DのRAW画像では、【強さ】と【対象】が調整できます。



数値が大きくなるほど強く調整されます。

細かい
やや細かい
● 標準
やや粗い
粗い

選んだ被写体のパターンにシャープネスが適用されません。

- 選んだ調整値がRAW調整ツールパレットに設定されます。

画像を保存する

RAW画像をTIFF画像やJPEG画像に変換して保存したり、JPEG 画像を別名で保存することができます。また、RAW画像をTIFF画像に変換して保存したときは、設定した色空間情報 (M-41～M-43) が、自動的にICCプロファイルとして画像に付加されます。ICC (アイシーシー) とは、International Color Consortium (国際照明委員会) の略です。

1 保存したい画像を選ぶ (M-23)

2 【ファイル保存】 ボタンを押して表示されるメニューから 【変換・ファイル保存】 を選ぶ

→ 【ファイル保存】 画面が表示されます。



3 各項目を設定して 【OK】 ボタンを押す

→ 選んだフォルダに画像が保存されます。



設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し、【ファイル保存】画面を閉じます。

設定内容を適用して画像を保存します。

 RAW画像を変換して保存したTIFF画像には、自動的にICCプロファイルが付加されます。ICCプロファイルを付加した画像をレタッチソフトで表示するときは、より正確な色を表示できるICCプロファイル対応のソフトウェアをおすすめします。

選んだ画像と同じフォルダに、新たな画像として保存されます。

画像の保存先となるフォルダを指定することができます。



【以下の指定フォルダに保存】ラジオボタンを選んだときに、画像の保存先となるフォルダを指定します。
【参照】ボタンの横には、保存先のフォルダ名が表示されます。

リストボックスで、【JPEG】を選んだときの【画質】（圧縮率）を【4（最高画質）】～【1（やや高圧縮率）】から選びます。数値が大きくなるほど高画質なJPEG画像になります。



チェックするとRAW+JPEG形式で撮影したJPEG画像も、保存の対象になります。

保存するときの出力解像度を10～2000 pixels/inchの範囲で設定します。

保存する画像にRAW画像が含まれているときの、画像の変換形式を【変換しない】、【JPEG】、【TIFF】から選びます。【TIFF】を選んだときは、保存するときのbit数を【8bit/ch】、【16bit/ch】、【16bit/ch リニア】をから選ぶことができます。また、【JPEG】を選んだときは、【8bit/ch】で保存されます。保存後の拡張子は、次のようになります。

変換形式		拡張子
変換しない	EOS-1D Mark II	.CR2
	EOS-1Ds、EOS-1D	.TIF
JPEG形式（8bit/ch）		.JPG
TIFF形式（8bit/ch）		.TIF
TIFF形式（16bit/ch、16bit/chリニア）		.TIF

チェックすると画像の名称を変更しないで保存します。



ファイルに付ける番号の桁数と開始番号を入力します。桁数は最大9桁まで設定できます。

ファイル番号の前に付けるファイル名です。使用できる文字数は、半角12文字（全角6文字）です。文字を入力すると、テキストボックスの下にある【例】の部分に例が表示されます。

保存する画像に音声ファイルが含まれているときは、いっしょに保存することができます。

RAW画像をJPEG画像、またはTIFF画像に変換して保存するときにチェックすると、ファイル名の最後に以下の文字が付きます。

変換形式	ファイル名
JPEG	RJ
TIFF (8bit/ch)	RT8
TIFF (16bit/ch、16bit/chリニア)	RT16、RT16L

M

3 EOS Viewer Utilityで撮影画像を操作する



<control> + クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

レタッチソフトに画像を送る

EOS Viewer Utilityに表示されている画像をレタッチソフトへ転送することができます。ここでは、Adobe Photoshop 7.0を例にしています。

- 画像転送を行うには、Adobe Photoshopなど市販のレタッチソフトが必要です。
- 画像の転送をする前に必ず画像転送の設定を行ってください。

1 **【画像転送】 ボタンを押す**
→ **【画像転送】** 画面が表示されます。



2 **【参照】 ボタンを押す**
→ **【アプリケーションの選択】** 画面が表示されます。



3 **画像を転送するレタッチソフト (Photoshop 7.0) を選ぶ**

- Photoshop 7.0をインストールしたドライブ ▶ **【Adobe Photoshop 7】** フォルダ ▶ **【Adobe Photoshop 7.0】** の順に選び、**【選択】** ボタンを押します。
- Photoshopが設定され、画面を閉じます。



4 ラジオボタンを選び、転送する画像を保存するフォルダを設定する

転送する画像を同じフォルダに、
新たな画像として保存します。

- 元画像フォルダに保存
- 以下の指定フォルダに保存
Macintosh HD/ユーザ/xxx/デスクトップ

【参照】 ボタンを押して、転送する画像を
保存するフォルダを指定します。

5 【出力設定】項目、【ファイル名】項目を設定し、【OK】ボタンを押す



- 【出力設定】、【ファイル名】の設定方法については、「画像を保存する」(M-45)を参照してください。
- ➔ Photoshopが起動し、転送した画像が表示されます。
- ➔ 転送した画像は、手順4で設定したフォルダに保存されます。



- 画像転送機能に設定するレタッチソフト（市販品）は、16bit画像に対応したレタッチソフトの使用をおすすめします。
- RAW画像をTIFF画像に変換して転送したときは、設定した色空間情報（M-41～M-43）が、自動的にICCプロファイルとして画像に付加されます。
- <control> +クリックで表示されるメニューで行うこともできます。

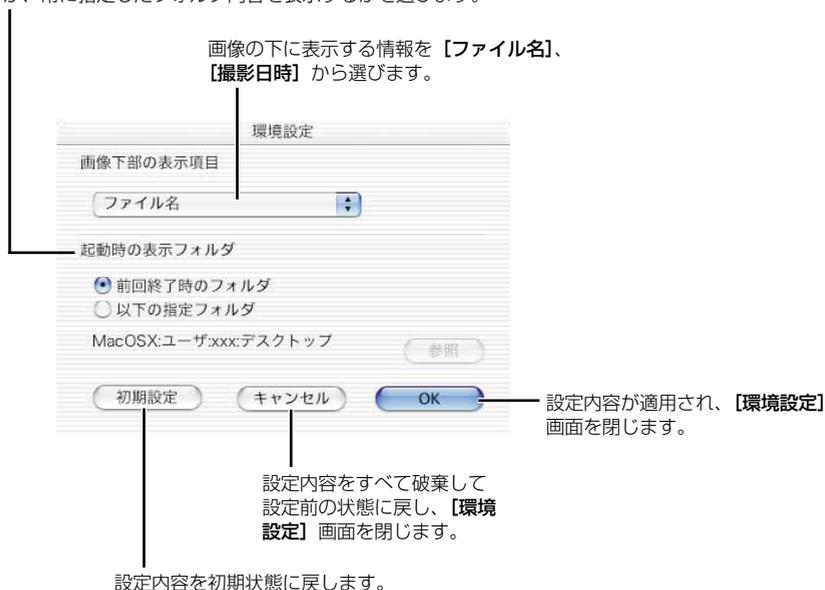
環境設定

EOS Viewer Utilityの各種設定を行うことができます。

1 **【EOS Viewer Utility】メニュー ▶ 【環境設定】 を選ぶ**
→ **【環境設定】** 画面が表示されます。

2 **各項目を設定して【OK】 ボタンを押す**
→ 設定内容が適用され、**【環境設定】** 画面が閉じます。

EOS Viewer Utility起動時に、前回開いていたフォルダ内容を表示するか、常に指定したフォルダ内容を表示するかを選びます。



IPTC情報設定

IPTC (アイピーティーシー) とは、International Press Telecommunications Council (国際新聞電気通信評議会) の略で、新聞／通信社が、画像の転送を円滑に行うために定めた、画像に付加する報道用情報交換タグの規格です。

このIPTC情報をJPEG画像や、EOS Viewer UtilityでRAW画像から変換／保存したTIFF画像、JPEG画像に付加することができます。また、入力したIPTC情報をパソコンに保存し、他の画像に読み込んで適用することができます。

1 JPEG画像または、TIFF画像を選ぶ (M-23)

2 【IPTC情報】 ボタンを押す

→ 【IPTC情報】 画面が表示されます。



3 情報を入力する (M-52、M-53)

- 【IPTC-1】 ～ 【IPTC-3】 タブを選んでタブ画面を表示し、情報を入力します。
- 【名前を付けて保存】 ボタンを押して表示される画面で、入力したIPTC情報を保存することができます。
- 【読み込み】 ボタンを押して表示される画面で、保存したIPTC情報を読み込むことができます。

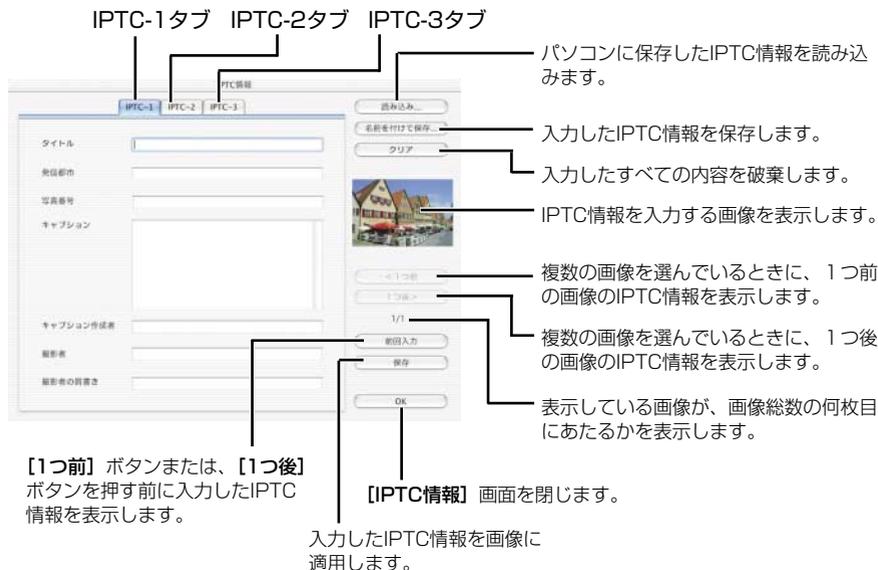
4 【保存】 ボタンを押す

→ 設定したIPTC情報が画像に適用されます。

5 【OK】 ボタンを押す

→ 【IPTC情報】 画面が閉じます。

 パソコンに保存したIPTC情報設定データは、Windows／Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。



【IPTC-1】 タブ画面設定項目

半角英数字で64文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で2000文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。



半角英数字で32文字まで入力できます。

【IPTC-2】 タブ画面設定項目

半角英数字で10文字まで入力できます。

リストボックスから、【最優先 (=1)】 / 【普通 (=5)】 / 【不急 (=8)】 のいずれかを選びます。

半角英数字で256文字まで入力できます。

半角英数字で8文字まで入力できます。

半角英数字で11文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

【IPTC-3】 タブ画面設定項目

半角英数字で3文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で256文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

半角英数字で32文字まで入力できます。

PhotoStitchで画像を合成する

複数のJPEG画像を合成して、パノラマ写真を簡単に作成することができます。

- 1 **[Canon Utilities] フォルダ ▶ [PhotoStitch] フォルダ ▶ [PhotoStitch ランチャー] アイコンの順にダブルクリックする**
→ [PhotoStitch Launcher] が表示されます。

- 2 **[画像を合成します] ボタンを押す**



- PhotoStitchが起動します。
- ガイダンスの説明にしたがって、画像を合成します。
- PhotoStitchの操作の詳細については、PhotoStitchのヘルプを参照してください。



- PhotoStitchでRAW画像は合成できません。
- PhotoStitchで合成できる画像は、最大4枚です。

EOS Viewer Utilityで カメラを設定する

4

この章では、所有者名や日付／時刻、パーソナル機能、現像パラメーター、カスタムホワイトバランスなどをカメラに設定する方法について説明します。

カメラ設定	M-56
基本設定	M-57
パーソナル機能設定	M-58
パーソナル機能で設定できる内容	M-62
設定内容の確認と保存／読み込み	M-75
撮影設定	M-77
現像パラメーター設定	M-78
トーンカーブ設定	M-80
カスタムホワイトバランス設定	M-82
カラーマトリックス設定	M-84
JPEG記録画質設定	M-86

カメラ設定

カメラ設定では、所有者名や日付／時刻、パーソナル機能、現像パラメーター、カスタムホワイトバランスなどをカメラに設定することができます。

1 カメラとパソコンを接続する (M-8)

2 EOS Viewer Utilityを起動する (M-12)

3 【カメラ設定】 ボタンを押す

→ 【カメラ設定】 画面が表示されま
す。



4 タブを選んでカメラを設定する

所有者名と日付／時刻をカメラに設定したり、カメラのプロパティ情報やバッテリー、メモリーカードの状態を確認することができます。(M-57)

現像パラメーター (M-78)、トーンカーブ (M-80)、カスタムホワイトバランス (M-82)、カラーマトリックス (M-84)、JPEG記録画質 (M-86) をカメラに設定することができます。



パーソナル機能を設定し、カメラに適用することができます。(M-58)

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは【基本設定】、【詳細設定】が表示されます。また、【詳細設定】では、パーソナル機能 (M-58)、現像パラメーター (M-78)、カスタムホワイトバランス (M-82) を設定しカメラに適用することができます。

基本設定

所有者名や日付／時刻をカメラに設定したり、カメラ内のメモリーカードの状態を確認することができます。

1 【カメラ設定】 画面を表示する (M-56)

2 【基本設定】 タブを選ぶ

→ 【基本設定】 タブ画面が表示されます。



3 基本設定をする

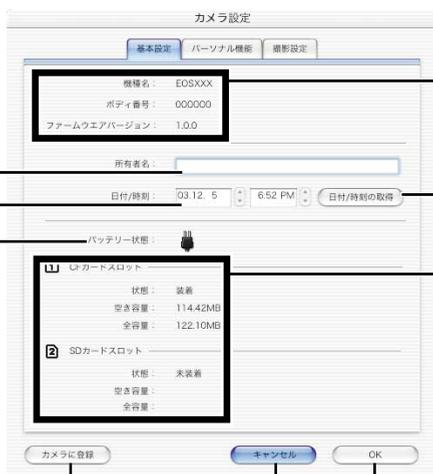
所有者の名前を入力します。半角英数字で31文字まで入力できます。

数値を入力するか、【▲】／【▼】ボタンを押して設定します。

カメラのバッテリー残量を【】または、【】で表示します。DCカプラーキットを使用したときは【】が表示されます。

【基本設定】タブ画面で設定した内容がカメラに適用されます。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し【カメラ設定】画面を閉じます。



カメラ機種名、ボディ番号(シリアル番号)、ファームウェアのバージョンを表示します。

パソコンの日付／時刻データを取り込むことができます。

メモリーカードがカメラに装着されているか未装着かの確認や、空き容量、全容量を表示します。EOS-1Ds、EOS-1Dではメモリーカードの情報が表示され、【フォーマット】ボタンを押せばメモリーカードの初期化を行うことができます。フォーマットは全ての記録内容が消去されますので注意してください。

すべてのタブ画面で設定した内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

4 【OK】 ボタンを押す

→ 設定内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

M

4

EOS Viewer Utilityでカメラを設定する

パーソナル機能設定

パーソナル機能を撮影目的に合わせて設定し、カメラに適用することができます。また、設定したパーソナル機能をパソコンへ保存したり、読み込むことができます。

1 【カメラ設定】画面を表示する (M-56)

2 【パーソナル機能】タブを選ぶ

→ 【パーソナル機能】タブ画面が表示されます。

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは【詳細設定】タブを選び【パーソナル機能】ボタンを押します。



3 リストボックスから設定する画面を選ぶ

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、設定するタブを選びます。

設定項目選択： 露出関連 1

- 露出関連 1
- 露出関連 2
- 露出関連 3
- AF関連
- ドライブ関連
- その他 1
- その他 2
- その他 3
- コンビネーション

カメラに設定されているパーソナル機能の内容を取得します。

各画面で設定したすべてのチェックをはずします。

すべてのタブ画面で設定した内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

【パーソナル機能】タブ画面で設定した内容がカメラに適用されます。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し【カメラ設定】画面を閉じます。

→ 選んだ設定画面が表示されます。

- 【コンビネーション】画面では、設定したパーソナル機能の内容や、カメラへの適用状態を確認したり、パーソナル機能の保存／読み込みを行うことができます。(M-75)

各画面では次のパーソナル機能を設定することができます。

[露出関連1]

P.Fn-01 撮影モードを限定する (M-62)

P.Fn-02 測光モードを限定する (M-62)

[露出関連2]

P.Fn-03 マニュアル露出撮影時の測光モードを指定する (M-63)

P.Fn-04 シャッター速度の上限、下限値を設定する (M-63)

P.Fn-05 絞り数値の上限、下限値を設定する (M-64)

[露出関連3]

P.Fn-06 撮影モードと測光モードの登録・切り換え (M-64)

P.Fn-07 連続撮影時、ブラケティング撮影を繰り返し行う (M-66)

P.Fn-08 ブラケティング撮影時の撮影枚数 (M-66)

P.Fn-09 C.Fn-09-2、3のブラケティング撮影順をプラス補正→標準→マイナス補正の順に行う (M-66)

P.Fn-10 プログラムシフトのシフト量を保持する (M-67)

[AF関連]

P.Fn-13 AI サーボ AF連続撮影を撮影速度優先で行う (M-68) *1、2

P.Fn-14 レンズ駆動によるピント検出 (サーチ駆動) を行わない (M-68)

P.Fn-15 AF補助光の投光を禁止する (M-68)

P.Fn-16 ピント固定・シャッターボタン全押し状態で合焦したら自動撮影する (M-69)

P.Fn-17 AFフレーム自動選択を選べないようにする (M-69)

P.Fn-18 C.Fn-11-2設定時にAFフレーム自動選択を可能にする (M-70)

[ドライブ関連]

P.Fn-19 連続撮影の速度を設定する (M-70)

P.Fn-20 連続撮影時の撮影枚数を制限する (M-70)

P.Fn-21 撮影後、シャッターボタンOFFで静粛動作する (M-71)

*1 EOS-1D Mark IIIは対応していません。

*2 EOS-1Dsは対応していません。

[その他1]

P.Fn-23 各種タイマー保持時間（〈6秒〉〈16秒〉など）を変更する（M-71）

P.Fn-24 バルブ撮影中、表示パネルの照明を消さない（M-72）

[その他2]

P.Fn-25 クリアボタン（QUALITY+WB）ON時の初期状態を変更する（M-72）

[その他3]

P.Fn-26 レリーズタイムラグを最適化する（M-73）*2、3

P.Fn-27 電子ダイヤルの設定方向（回転）を反転する（M-73）

P.Fn-28 サブ電子ダイヤルによる露出補正を禁止する（M-73）

P.Fn-30 サブ電子ダイヤルスイッチをメイン電子ダイヤルにも有効にする（M-74）*2、3

P.Fn-30 拡大表示モード（M-74）*1、3

P.Fn-31 オリジナル画像判定用データを付加（M-74）*3

*1 EOS-1D Mark IIIは対応していません。

*2 EOS-1Dsは対応していません。

*3 EOS-1Dは対応していません。

[コンビネーション]

設定内容を確認する（M-75） 設定内容を保存する（M-76）

保存されている設定内容を読み込む（M-76）

* P.Fn-11、12、22、29の欠番について

パーソナル機能の番号とその内容をEOS-1Vと合わせるために欠番を設けています。

4 パーソナル機能を設定する (M-62~M-74)

- チェックボックスをチェックすると、設定をすることができます。

チェックボックス

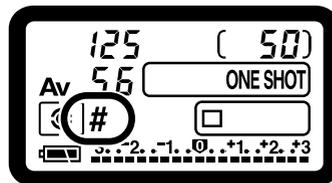


- 数値入力の際は、設定範囲外の数値入力は無効となります。
- **【設定取得】** ボタンを押すと、カメラに設定されているパーソナル機能の内容を取得します。
- **【リセット】** ボタンを押すと、各画面で設定したすべてのチェックをはずします。
- パーソナル設定をパソコンに保存しているときは、保存内容を読み込むことができます。(M-76)

5 設定内容を確認し、必要に応じてパソコンに保存する (M-75、M-76)

6 **【OK】** ボタンを押す

- 設定内容がカメラに適用され、**【カメラ設定】** 画面を閉じます。
- パーソナル機能がカメラに適用されると表示パネルに **<#>** が表示されます。



パーソナル機能で設定できる内容

- 本文中の **C.Fn** には、それぞれの機能に関するカスタム機能の簡単なガイドが書かれています。詳細については、付属のカメラ使用説明書「カスタム機能で変更できる内容」を参照してください。

P.Fn-01 撮影モードを限定する



- 使用しない撮影モードをチェックします。
- 撮影モードを選ぶときに、使用しない撮影モードをスキップさせることができます。
- 撮影モードを選ぶときの機動性が向上します。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、**【深度優先AEを使用しない】**の項目も表示されます。



全項目のチェックはできません。

P.Fn-02 測光モードを限定する



- 使用しない測光モードをチェックします。
- 測光モードを選ぶときに、使用しない測光モードをスキップさせることができます。
- 測光モードを選ぶときの機動性が向上します。



全項目のチェックはできません。

P.Fn-03 マニュアル露出撮影時の測光モードを指定する



- 設定する測光モードを選びます。
- マニュアル露出撮影時の測光モードを選ぶことができます。
- マニュアル露出モードを選ぶと、自動的に選んだ測光モードに切り換わります。AE撮影とマニュアル露出撮影で測光モードを使い分けるときに有効です。

P.Fn-04 シャッター速度の上限、下限値を設定する



- リストボックスから上限・下限値を選びます。
 - 上限値：1/2000、下限値：1/60を選ぶと、1/2000～1/60秒が制御・設定可能範囲となります。
 - シャッター速度を選ぶときの機動性を向上させたいときや、ストロボ使用時の絞り優先AEでスローシンクロにしたいときに有効です。
- ⚠** 上限、下限値に1/750秒など、1段ステップ以外の数値を選ぶと、制御・設定可能範囲が、設定値よりもわずかにずれることがあります。また、カスタム機能C.Fn-6-1、2併用時に1/3200秒など、1段ステップ以外の数値を選んだときにも制御・設定可能範囲が設定値よりもわずかにずれることがあります。
- 📄** ● プログラムAE撮影時のストロボ同調シャッター速度を確保するため、EOS-1D Mark II、EOS-1Dsは1/200～1/80秒、EOS-1Dは1/400～1/80秒の範囲を選ぶことはできません。
- セイフティシフト (C.Fn-16) 設定時は、セイフティシフトを優先します。

P.Fn-05 絞り数値の上限、下限値を設定する



- リストボックスから上限・下限値を選びます。
- 下限値：1.4、上限値：8.0を選ぶと、F1.4～8.0が制御・設定可能範囲となります。
- 選べる絞り数値範囲を限定して、絞り数値を選ぶときの機動性を向上させることができます。

- 下限値は、上限値よりも小さい値にしてください。下限値に上限値よりも大きい数値を選んだときは、警告メッセージが表示され、元の数値に戻ります。
- 上限、下限値にF4.5など、1段ステップ以外の数値を選ぶと、制御・設定可能範囲が、設定値よりもわずかにずれることがあります。また、カスタム機能C.Fn-6-1、2併用時にF6.3など、1段ステップ以外の数値を選んだときにも制御・設定可能範囲が設定値よりもわずかにずれることがあります。

- 下限値より暗いレンズを使用したときは、使用レンズの開放絞り数値が下限値となります。また、上限値より暗いレンズを使用したときは、使用レンズの開放F値で絞り数値が固定されます。
- セイフティシフト (C.Fn-16) 設定時は、セイフティシフトを優先します。

P.Fn-06 撮影モードと測光モードの登録・切り換え



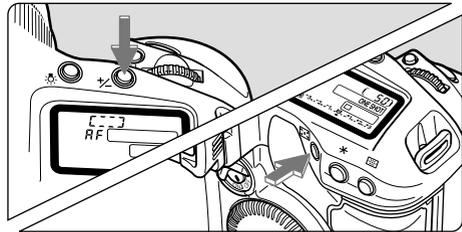
- < [AE-L/AF-ON] > ボタンを押している間だけ、登録した撮影モードと設定値（絞り優先AEであれば絞り数値）、測光モード、露出補正量に切り換えることができます。
- 設定値は、各撮影モードに対応した数値を選びます。
- 登録操作は、カメラ側で行います。
カメラの操作は「カメラ側での登録操作」(M-65)を参照してください。
- 順・逆光などに応じて、所定の撮影条件へ瞬時に切り換えたいときに有効です。

カメラ側での登録操作 (P.Fn-06)

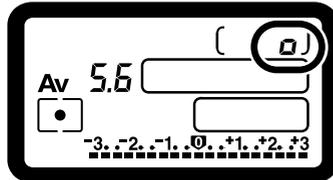
1 撮影モードと設定値（絞り優先AEであれば絞り数値）、測光モード、露出補正量を設定する

2 設定した内容を登録する

- 先に $\langle + \rangle$ ボタンを押して、次に $\langle \text{MENU} \rangle$ ボタンを押します。



- ➔ 上面表示パネルに $\langle \text{OK} \rangle$ が表示され、登録が完了します。
- 設定の変更は、何度でも可能です。



登録操作は、先に $\langle + \rangle$ ボタンを押してから $\langle \text{MENU} \rangle$ ボタンを押してください。
 $\langle \text{MENU} \rangle$ ボタンを先に押すと、登録済みの設定に切り換わります。

- バルブ撮影は登録できません。
- 連続撮影中の切り換えはできません。
- P.Fn-03「マニュアル露出時の測光モードを指定する」併用時に、このP.Fn-06でマニュアル露出を選んで、P.Fn-03と異なる測光モードを登録したときは、 $\langle \text{MENU} \rangle$ ボタン押しでP.Fn-03で選んだ測光モードに切り換わります。
- P.Fn-04、05併用時は、その設定可能範囲内でシャッター速度や絞り数値を選んでください。
- 設定したい撮影モードと測光モードがP.Fn-01、02で除外されているときは、一度、そのパーソナル機能を解除します。パーソナル機能の解除と再設定については、付属のカメラ使用説明書「パーソナル機能の解除と再設定」を参照してください。
- P.Fn-06で設定した撮影モードと測光モードが、P.Fn-01、02で除外されていても、P.Fn-06では有効となります。

C.Fn

- C.Fn-4-1、3設定時は、 $\langle \text{MENU} \rangle$ ボタンONで切り換えと同時にAF/AEも作動します。
- C.Fn-18設定時には、P.Fn-06は機能しません。

P.Fn-07 連続撮影時、ブラケット撮影を繰り返し行う

(P.Fn-07)連続撮影時、ブラケット撮影を繰り返し行う

- シャッターボタンを押しつづけている間、設定したドライブモードでブラケット連続撮影を繰り返し行います。
- 連続ブラケット撮影を行いたいときに有効です。

P.Fn-08 ブラケット撮影時の撮影枚数

(P.Fn-08)ブラケット撮影時の撮影枚数

撮影枚数 : 3

- リストボックスで撮影枚数を選びます。
 - 通常3枚のブラケット撮影が、2、3、5、7枚のブラケット撮影となります。
 - ブラケット撮影では、ステップ量を1段に設定して、5枚を選ばると、-2、-1、標準、+1、+2段で撮影します。
 - ブラケットの幅を調整したいときに有効です。
-  ● ブラケットレベルの表示範囲を超える設定をしても、露出補正は設定どおりに行われます。
- C.Fn-09-2、3や、P.Fn-09との併用もできます。

P.Fn-09 C.Fn-09-2、3のブラケット撮影順をプラス補正→標準→マイナス補正の順に行う

(P.Fn-09)C.Fn-09-2,3のブラケット撮影順をプラス補正→標準→マイナス補正の順に行う

- C.Fn-09-2、3設定時のマイナス補正→標準→プラス補正のブラケット撮影順が、プラス補正→標準→マイナス補正の順番になります。
- プラス補正からのブラケット撮影スタートを希望するとき有効です。

 P.Fn-08との併用もできます。

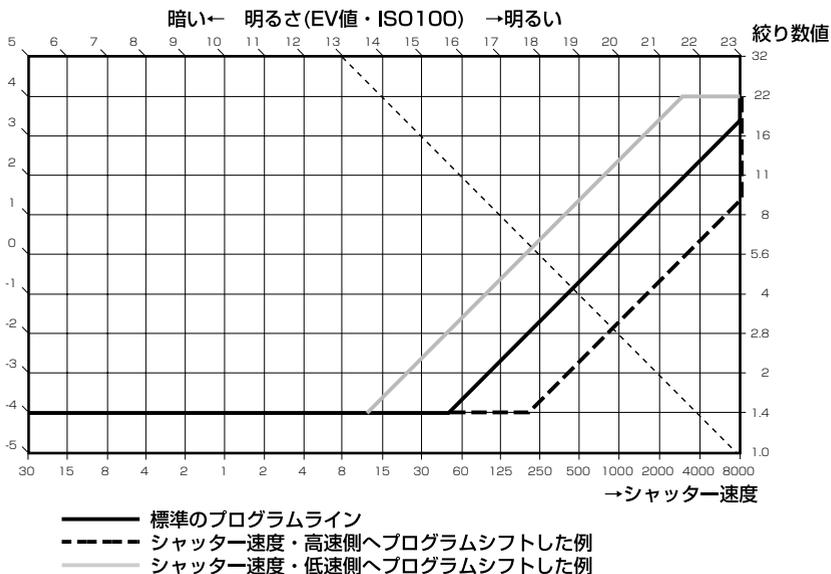
P.Fn-10 プログラムシフトのシフト量を保持する

(P.Fn-10)プログラムシフトのシフト量を保持する

- 通常、撮影後に解除されるプログラムシフトのシフト量を保持させることができます。
- 標準プログラムラインをシフトさせて、シャッター速度優先寄りや、絞り優先寄りに変えたいときに有効です。

プログラムシフトを行うと、露出を変えずにシャッター速度と絞り数値の組み合わせを変更することができます。同じ明るさであっても、プログラムラインを右にシフトさせると、シャッター速度・高速、絞り数値・開放寄りに変更することができます。逆にプログラムラインを左にシフトさせるとシャッター速度・低速、絞り数値・絞り込み寄りに変更することができます。

P.Fn-10では、このプログラムシフトした量を保持します。シャッター速度と絞り数値の優先度に応じて、シフト量を選んでください。



EF50mmF1.4USM使用時



- 手動でプログラムシフト量を戻すか、バッテリー交換または、クリアボタン (QUALITY+WB) を押すまで保持します。
- レンズ交換を行ってもシフト量は保持されます。

P.Fn-13 AIサーボAF連続撮影を撮影速度優先で行う

(P.Fn-13) AIサーボAF連続撮影を撮影速度優先で行う

- ピントが合っていないくても、撮影速度を優先して撮影を行います。
- 多少のピンボケよりも「写っていることの方が重要」というときに有効です。
- この機能はEOS-1Dのみ対応しています。

P.Fn-14 レンズ駆動によるピント検出（サーチ駆動）を行わない

(P.Fn-14) レンズ駆動によるピント検出（サーチ駆動）を行わない

- シャッターボタン半押しでピント検出できないとき、通常はレンズ駆動を行ってピント検出しますが、これを禁止します。
- 合焦後の再測距でピント検出できなかったときに大ボケ状態になることを防止できます。特に大ボケ状態になりやすい、超望遠レンズ使用時に有効です。
- 極端なピンボケ状態からAFを行うと、レンズが動かないときがあります。被写体の輪郭がつかめる程度まで手動でピント合わせをしてからAFを行ってください。

P.Fn-15 AF補助光の投光を禁止する

(P.Fn-15) AF補助光の投光を禁止する

- ストロボに内蔵されたAF補助光の投光を禁止します。
- 撮影会などでAF補助光パターンが他のカメラに写り込むことを防止できます。

P.Fn-16 ピント固定・シャッターボタン全押し状態で合焦したら自動撮影する

(P.Fn-16)ピント固定・シャッターボタン全押し状態で合焦したら自動撮影する

- ピントを固定した距離で合焦すると、自動的に撮影します。合焦検出は、選んだAFフレームで行います。
- レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉に設定し、手動ピント合わせで撮影距離を設定します。
- シャッターボタンは、全押し状態にしておきます。
- リモートスイッチRS-80N3などのレリーズボタン・ロック機能を使用すると、無人の自動待ち受け撮影が可能となります。

- シャッターボタン全押し状態で待機するため、バッテリーの消耗が早くなります。長時間の撮影では、DCカプラーキットを使用してください。
- ストロボ併用時はフル充電状態で待機するため、ストロボの電池消耗が早くなります（ストロボのSE機能は動きません）。
- ストロボ併用時は、ドライブモードを1枚撮影にしてください。連続撮影では、充電が間に合わないと未充電状態で撮影を続けます。
- ドライブモードで連続撮影を選んでいるときは、P.Fn-20で撮影枚数を設定してください。設定していないと、1回の合焦でメモリーカードの容量が無くなるまで連続撮影します。
- マニュアルフォーカス専用レンズ、および開放絞り数値が暗いためにAF作動ができないレンズでは、自動撮影できません。
- C.Fn-4-1、3を設定すると、ピントに関係なく撮影しますので、併用しないでください。

 シャッターボタン全押し状態を維持できる、リモートスイッチRS-80N3などの併用をおすすめします。

P.Fn-17 AFフレーム自動選択を選べないようにする

(P.Fn-17)AFフレーム自動選択を選べないようにする

- 任意選択AFフレームが外周まで移動すると、突き当たりで止まるため、外周AFフレームを選ぶときの操作性が向上します。
- C.Fn-11-2設定時、AF作動中に  ボタンを押すと、AFフレーム自動選択へ切り換えが可能になります。（付属のカメラ使用説明書「AFフレームの選択」）
- 「AFフレームの登録」で自動選択を登録しているときは、登録内容が有効となります。（付属のカメラ使用説明書「AFフレームの登録と切り換え」）

P.Fn-18 C.Fn-11-2設定時にAFフレーム自動選択を可能にする

(P.Fn-18)C.Fn-11-2設定時にAFフレーム自動選択を可能にする

- C.Fn-11-2設定時にAFフレーム自動選択を含んだ、標準状態の横方向選択ができるようになります。
- C.Fn-11-2設定時にもAFフレーム自動選択を行いたいときに有効です。



P.Fn-17「AFフレーム自動選択を選べないようにする」を同時に設定したときは、P.Fn-17が優先され、自動選択はできなくなります。

P.Fn-19 連続撮影の速度を設定する

(P.Fn-19)連続撮影の速度を設定する

低速連続撮影 : 3

高速連続撮影 : 8

- リストボックスで連続撮影時の連続撮影速度を選びます。
- 低速にしてAIサーボAF連続撮影をさらに安定化させたいときなどに有効です。
- EOS-1Dsでは【連続撮影】の項目のみ表示されます。



AIサーボAFでは、選んだ連続撮影速度に満たないときがあります。

P.Fn-20 連続撮影時の撮影枚数を制限する

(P.Fn-20) 連続撮影時の撮影枚数を制限する

連続撮影枚数 : 99

- 連続撮影時に、シャッターボタン全押し状態で最高何枚まで連続撮影するか入力します。
- 余分なシーンまで連続撮影したくないときに有効です。

P.Fn-21 撮影後、シャッターボタンOFFで静粛動作する

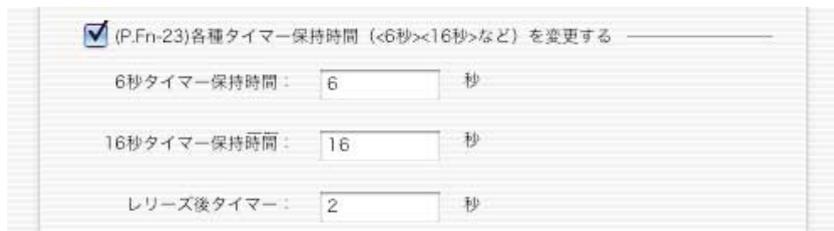


- ドライブモード1枚撮影時にシャッターボタン全押しから半押し状態に戻すと静粛動作を行います。
- 撮影後の動作音が周囲の雰囲気上、好ましくないときに有効です。

連続撮影時には、通常の動作となります。

C.Fn C.Fn-12のミラーアップ撮影を併用すると、露光する際の作動音をさらに小さくすることができます。

P.Fn-23 各種タイマー保持時間（〈6秒〉〈16秒〉など）を変更する



- ボタンから指を離してもその機能を何秒間か保持する機能がありますが、その保持時間を自分が必要な時間だけ設定することができます。
- 設定できる時間は、各タイマーとも0～3600秒（1時間）です。
- 標準のタイマー保持時間は長すぎる、または短すぎるというときに有効です。

6秒タイマー保持時間	● シャッターボタン半押しと〈*〉ボタンを押したときの測光値・保持時間。
16秒タイマー保持時間	● 〈FEL〉ボタンを押したときの測光値・保持時間。
2秒タイマー保持時間 (リリース後タイマー)	● 撮影後の露出値保持時間。時間を長くすると、同じ露出値でのAEロック撮影を行いやすくなります。 ● 撮影後の表示パネル照明時間。

タイマー保持時間を長くするとバッテリーの消耗が早くなり、撮影可能枚数が減少します。

タイマー保持を中断したいときは、〈MODE〉 / 〈AF〉 / 〈 52〉ボタンのいずれかを押してください。

P.Fn-24 バルブ撮影中、表示パネルの照明を消さない

(P.Fn-24)バルブ撮影中、表示パネルの照明を消さない

- バルブ撮影開始後に表示パネル照明ボタンを押すと、露光完了まで照明を続けます。
 - 露光経過時間を確認しながらバルブ撮影したいときに有効です。
- !** 長時間バルブ撮影を行うとバッテリーの消耗が早くなり、撮影可能枚数が減少します。

P.Fn-25 クリアボタン (QUALITY+WB) ON時の初期状態を変更する

(P.Fn-25)クリアボタン(QUALITY+WB)ON時の初期状態を変更する

撮影モード：	プログラムAE	↓
測光モード：	評価測光	↓
ドライブモード：	1枚撮影	↓
AFモード：	ワンショットAF	↓
AFフレームの選択：	自動選択	↓
記録画質：	L(ラージ)	↓
ホワイトバランス：	オート	↓
現像パラメーター：	標準	↓
カラーマトリックス：	1標準	↓

- クリアボタン (QUALITY+WB) を押したときの初期状態を選ぶことができます。
- 使用頻度の高い撮影状態へ瞬時に切り換えたいときに有効です。

P.Fn-26 レリーズタイムラグを最適化する

(P.Fn-26)レリーズタイムラグを最適化する

- 通常は、レリーズタイムラグを安定化する制御を行っていますが、この制御を行わないようにします。これにより、絞り数値が、開放から3段未満の撮影において、レリーズタイムラグが通常のとときに比べて最高で約20%速くなります。
- レリーズタイムラグの安定化よりも、短縮化を優先したいときに有効です。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。



10ミリ秒単位の差なので、設定しても体感できない可能性があります。

P.Fn-27 電子ダイヤルの設定方向（回転）を反転する

(P.Fn27)電子ダイヤルの設定方向（回転）を反転する

- メイン電子ダイヤルのみ
- サブ電子ダイヤルのみ
- 両方

- 電子ダイヤル操作の設定方向が反転します。AFフレームの選択方向、シャッター速度、絞り数値も設定方向が反転します。
- 電子ダイヤル回転方向に対する入力結果の変化方向が感覚的に一致しないときに有効です。



メイン電子ダイヤルの設定方向を反転させても、AFフレーム選択の横方向選択だけは逆転しません。

P.Fn-28 サブ電子ダイヤルによる露出補正を禁止する

(P.Fn-28)サブ電子ダイヤルによる露出補正を禁止する

- サブ電子ダイヤル操作による露出補正を禁止します。
- AFフレームを選ぶときに誤って露出補正してしまうことを防止できます。

P.Fn-30 サブ電子ダイヤルスイッチをメイン電子ダイヤルにも有効にする

(P.Fn-30)サブ電子ダイヤルスイッチをメイン電子ダイヤルにも有効にする

- サブ電子ダイヤルスイッチを「OFF」にすると、メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルの両方が機能しなくなります。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

P.Fn-30 拡大表示モード

(P.Fn-30)拡大表示モード

- 画面中央から表示
 前回の拡大場所から表示

- どの場所から拡大表示するかを選びます。
- カメラでこの機能を【ON】にして撮影すると、画像を拡大して見ることができます。
- カメラの詳しい操作方法については、EOS-1Ds使用説明書「P.Fn-30撮影画像を拡大して見る」を参照してください。
- この機能はEOS-1Dsのみ対応しています。

- 拡大表示するには、撮影時、再生時ともP.Fn-30を【ON】にしてください。特に、撮影時にP.Fn-30が【ON】になっていない画像は、拡大表示できません。
- EOS-1Ds以外で撮影した画像は拡大表示できません。

P.Fn-31 オリジナル画像判定用データを付加

(P.Fn-31)オリジナル画像判定用データを付加

- 撮影画像に、その画像がオリジナルであるか否かを判定するためのデータを付加します。オリジナル画像判定用データが付加された画像には、カメラの画像表示形式を「撮影情報表示 (INFO.)」にしたときに、オリジナル画像判定用データが付加されたことを示すマークが表示されます。
詳しくは、カメラ使用説明書の「撮影情報表示について」のページを参照してください。
- オリジナル画像の判定には、専用アクセサリ（別売）が必要です。
- この機能はEOS-1D Mark II、EOS-1Dsのみ対応しています。
- RAWデータから変換したJPEG、TIFF画像には、オリジナル画像判定用データが付加されません。

設定内容の確認と保存／読み込み

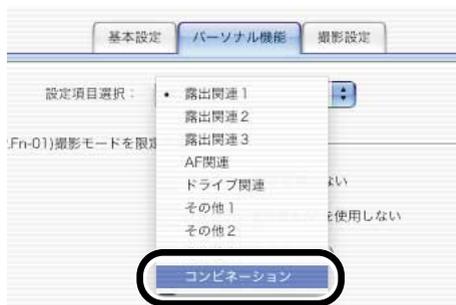
設定したパーソナル機能の内容や、カメラへの適用状態を確認することができます。また、設定内容をパソコンに保存したり、パソコンに保存したデータを読み込んでカメラに適用することもできます。

1 パーソナル機能を設定する (M-62~M-74)

2 リストボックスから [コンビネーション] を選ぶ

→ [コンビネーション] 画面が表示されます。

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、[コンビネーション] タブを選びます。



3 設定内容を確認し、保存／読み込みを行う (M-76)

- パーソナル機能の設定内容と、カメラへの適用を確認することができます。



設定内容を保存する

1 【名前を付けて保存】 ボタンを押す

→ 【名前を付けて保存】 画面が表示されます。



2 保存先を選び、ファイル名を入力して【保存】 ボタンを押す

→ 設定したパーソナル機能の内容が保存されます。



パーソナル機能設定データは、設定したカメラ以外と互換性がありません。



- 保存済みファイルを更新するときは、【上書き保存】 ボタンを押します。
- パソコンに保存したパーソナル機能設定データは、Windows/Macintosh双方のEOS Viewer Utilityで互換性を持っています。

設定内容を読み込む

1 【開く】 ボタンを押す

→ 【ファイルを開く】 画面が表示されます。



2 設定内容の保存先を開き、ファイルを選んで【開く】 ボタンを押す

→ 保存されている設定内容が読み込まれます。

撮影設定

各種の撮影設定（現像パラメーター、トーンカーブ、カスタムホワイトバランス、カラーマトリックス、JPEG記録画質）を行いカメラに適用することができます。

1 【カメラ設定】 画面を表示する (M-56)

2 【撮影設定】 タブを選ぶ

→ 【撮影設定】 タブ画面が表示されます。

- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、[詳細設定] タブを選びます。



M

3 設定ボタンを押して各画面を表示する

トーンカーブを選んだり、シャープネス、コントラストを設定して、カメラに登録することができます。(M-78)

保存されているトーンカーブの読み込みや、カラーチャンネルを選んで、カメラに登録することができます。(M-80)

カスタムホワイトバランスを読み込んで、カメラに登録することができます。(M-82)

カラーマトリックスを選んで、カメラに登録することができます。(M-84)

JPEG画質（L、M1、M2、S）を設定して、カメラに登録することができます。(M-86)



【撮影設定】 タブ画面で設定した内容がカメラに適用されます。

※ EOS-1Ds、EOS-1Dでは、【適用】 ボタンが表示されません。

設定内容をすべて破棄して設定前の状態に戻し【カメラ設定】画面を閉じます。

すべてのタブ画面で設定した内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

→ EOS-1Ds、EOS-1Dでは、【トーンカーブ】、【カラーマトリックス】、【JPEG記録画質】 ボタンは表示されません。

4 【OK】 ボタンを押す

→ 設定内容がカメラに適用され、【カメラ設定】画面を閉じます。

4

EOS Viewer Utilityでカメラを設定する

現像パラメーター設定

トーンカーブを選んだり、シャープネス、コントラストを設定し、現像パラメーターとして3セットまでカメラに登録することができます。

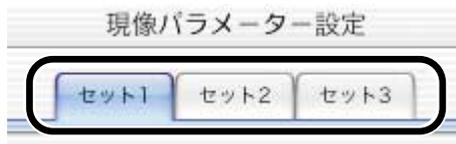
- 現像パラメーターのカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「現像パラメーターを設定する」を参照してください。

1 【現像パラメーター】 ボタンを押す (M-77)

- ➔ 【現像パラメーター設定】画面が表示されます。

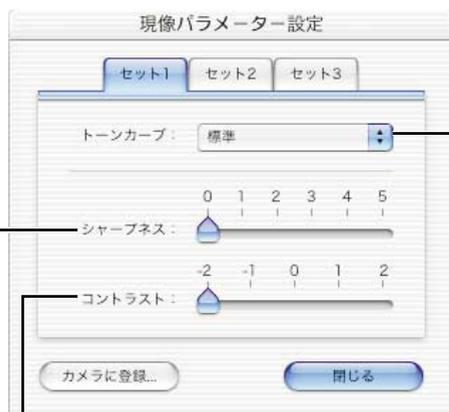


2 【セット1】タブ～【セット3】タブを選ぶ



3 トーンカーブ、シャープネス、コントラストを設定する

- ➔ EOS-1D Mark IIでは、以下の画面が表示されます。



● 標準

TCD1

TCD2

TCD3

【標準】：

標準的なトーンカーブが設定されます。

【TCD1】～【TCD3】：

「トーンカーブ設定」(M-80)で設定したトーンカーブが設定されます。

スライダーを左右にドラッグして設定します。
数値が大きくなるほど明暗差が強調されます。

スライダーを左右にドラッグして設定します。
数値が大きくなるほど輪郭が強調されます。

➔ EOS-1Ds、EOS-1Dでは、以下の画面が表示されます。

EOS-1Ds

- 標準
- TCD1
- TCD2
- TCD3

EOS-1D

- 標準
- ユーザー定義

【標準】 :
標準的なトーンカーブが設定されます。
【TCD1】～【TCD3】、【ユーザー定義】 :
「トーンカーブ設定」(M-80) で設定したトーンカーブが設定されます。

0
1
2
3
4
5

細かい
やや細かい
標準
やや粗い
粗い

6
7
8
9
10

1
2
3
4
5

数値が大きくなるほど、シャープネスが強くなります。

数値が大きくなるほど、低圧縮で高画質になります。

選んでいるセットを削除します。
※EOS-1D接続時に表示

新しいセットを追加します。【TCD1】～【TCD3】または【ユーザー定義】に登録するトーンカーブを設定します。(M-80)

M

4 【カメラに登録】または【カメラに設定】ボタンを押す
➔ 【設定の確認】画面が表示されます。

5 設定内容を確認し、【カメラに登録】または【カメラに設定】ボタンを押す
➔ 現像パラメーターがカメラに登録されます。



6 【閉じる】ボタンを押す
➔ 【現像パラメーター設定】画面が閉じます。

4

EOS Viewer Utilityでカメラを設定する

トーンカーブ設定

パソコンに保存したトーンカーブ（M-39）を読み込んで、トーンカーブデータとして3セットまでカメラに登録することができます。また、【TCD1】タブ～【TCD3】タブに読み込んだトーンカーブデータを「現像パラメーター設定」（M-78）のリストボックスで選ぶこともできます。

- トーンカーブデータ（【TCD1】～【TCD3】）のカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「現像パラメーターを設定する」を参照してください。
- EOS-1Dに登録できるトーンカーブデータは1つです。

1 【トーンカーブ】 ボタンを押す（M-77）

- ➔ 【トーンカーブ設定】画面が表示されます。
- EOS-1Ds、EOS-1Dでは、【現像パラメーター】ボタンを押して表示される【現像パラメーター設定】画面の【ユーザートーンカーブ設定】ボタンを押します。



2 【TCD1】タブ～【TCD3】タブを選ぶ

- EOS-1Dでは、手順3に進んでください。



3 【開く】 ボタンを押す

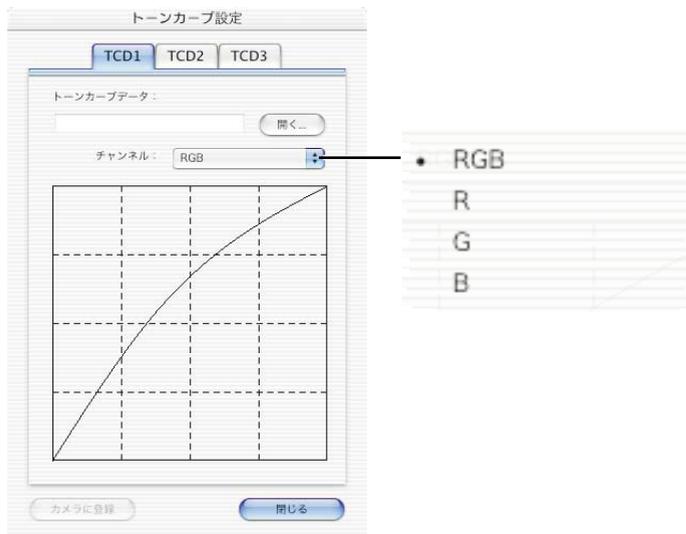
- ➔ 【ファイルを開く】画面が表示されます。



4 トーンカーブの保存先を開き、ファイルを選んで【開く】ボタンを押す

- ➔ トーンカーブが読み込まれます。

5 リストボックスからチャンネルを選び、確認する



6 【カメラに登録】または【カメラに設定】ボタンを押す

→ トーンカーブがカメラに登録されます。

7 【閉じる】ボタンを押す

→ 【トーンカーブ設定】画面が閉じます。

カスタムホワイトバランス設定

パソコンに保存したホワイトバランス（M-36）を読み込んで、カスタムホワイトバランスとして3セットまでカメラに登録することができます。

- カスタムホワイトバランスをカメラに適用すると、カメラの背面パネルに〈PC-1 ~ PC-3〉が表示されます。
- カスタムホワイトバランスのカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「ホワイトバランスの選択」を参照してください。

1 【カスタムホワイトバランス】 ボタンを押す（M-77）

- 【カスタムホワイトバランス設定】
画面が表示されます。



カスタムホワイトバランス

2 リストから、登録するPC（カスタムホワイトバランス）を選ぶ

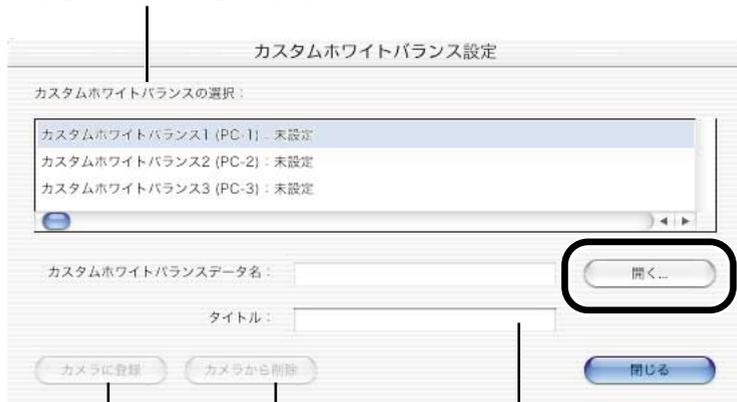
カスタムホワイトバランスの選択：

カスタムホワイトバランス1 (PC-1)：未設定
カスタムホワイトバランス2 (PC-2)：未設定
カスタムホワイトバランス3 (PC-3)：未設定

3 【開く】 または 【参照】 ボタンを押す

→ 【ファイルを開く】 画面が表示されます。

カメラに設定されている各PC（カスタムホワイトバランス）と設定状態、タイトルを表示します。



選んでいるPC（カスタムホワイトバランス）の設定内容をカメラに登録します。

選んでいるPC（カスタムホワイトバランス）をカメラから削除します。

登録するカスタムホワイトバランスにタイトルを付けるときに入力します。

4 ホワイトバランスの保存先を開き、ファイルを選んで【開く】 ボタンを押す

→ ホワイトバランスが読み込まれます。

5 【タイトル】 または 【キャプション】 入力ボックスにタイトルを入力する



6 【カメラに登録】 または 【カメラに設定】 ボタンを押す

→ ホワイトバランスがカメラに登録されます。

- 引き続き登録するときは、手順2～6の操作をくり返してください。PC1、PC2、PC3の3セットまで登録できます。
- 削除するときは、リストからPC（カスタムホワイトバランス）を選んで【カメラから削除】 ボタンを押します。

7 【閉じる】 ボタンを押す

→ 【カスタムホワイトバランス設定】 画面が閉じます。

カラーマトリックス設定

色空間、色の濃さ、色あいを任意に設定して、2セットまでカメラに登録することができます。また、リストボックスから規定のカラーマトリックスを選んで、設定の参考にすることができます。

- カラーマトリックスのカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「カラーマトリックスを選択する」を参照してください。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

1 【カラーマトリックス】 ボタンを押す (M-77)

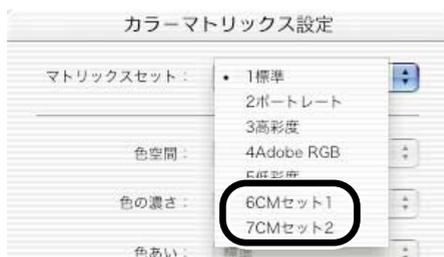
- 【カラーマトリックス設定】画面が表示されます。



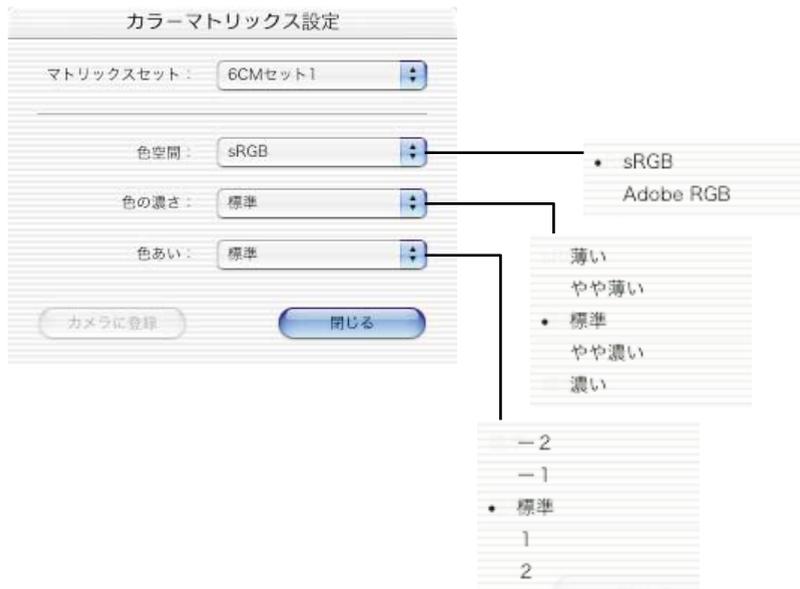
カラーマトリックス

2 リストボックスから【CMセット1】または【CMセット2】を選ぶ

- 【色空間】、【色の濃さ】、【色あい】リストボックスが設定できるようになります。
- 他のカラーマトリックスを選んだときは、カメラへの登録はできません。



3 各リストボックスから設定を選ぶ



M

4 **【カメラに登録】 ボタンを押す**
→ カラーマトリックスがカメラに登録されます。

5 **【閉じる】 ボタンを押す**
→ **【カラーマトリックス設定】** 画面が閉じます。

4

EOS Viewer Utilityでカメラを設定する

JPEG記録画質設定

JPEG画像の記録画質をL（ラージ）、M1（ミドル1）、M2（ミドル2）、S（スモール）サイズ別に設定し、カメラに登録することができます。

- JPEG記録画質のカメラへの設定方法については、付属のカメラ使用説明書「記録画質を設定する」を参照してください。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

1 【JPEG記録画質】 ボタンを押す (M-77)

- 【JPEG記録画質設定】 画面が表示されます。



2 スライダーを左右にドラッグして設定する

- 各サイズとも、数値が大きくなるほど圧縮率が低く、高画質になります。



3 【カメラに登録】 ボタンを押す

- JPEG記録画質がカメラに登録されます。

4 【閉じる】 ボタンを押す

- 【JPEG記録画質設定】 画面が閉じます。

EOS Viewer Utilityで リモート撮影する

5

この章では、EOS Viewer Utilityのリモート撮影機能を使い、パソコンからカメラを制御してのリモート撮影やカメラの設定方法について説明します。

リモート撮影の制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。

はじめにお読みください：[Canon Utilities] フォルダ ▶ [EOS Viewer Utility] フォルダ ▶ [EOSUtility] ▶ [はじめにお読みください] の順にダブルクリックして表示します。

リモート撮影機能を起動する	M-88
リモート撮影	M-90
1枚撮影.....	M-90
タイマー撮影.....	M-91
インターバルタイマー撮影.....	M-92
カメラを設定する.....	M-93
保存先設定.....	M-93
カメラ設定.....	M-94
ホワイトバランス補正	M-96

リモート撮影機能を起動する

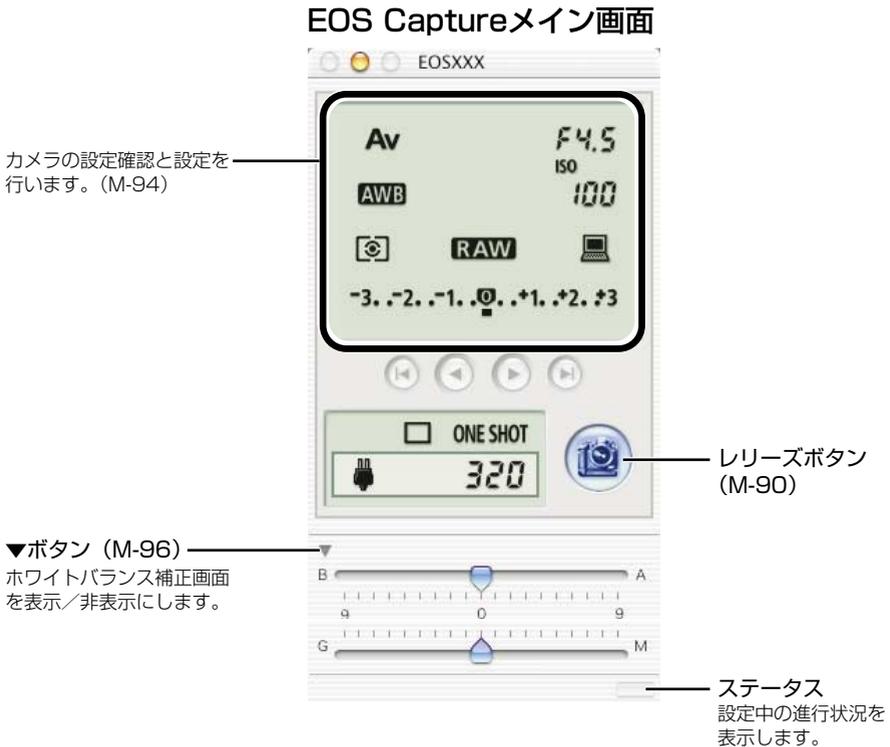
- 1 カメラとパソコンを接続する (M-8)
- 2 EOS Viewer Utilityを起動する (M-12)
- 3 画像を保存するフォルダを選ぶ

- フォルダツリー表示領域で、既存のフォルダを選ぶか、新しいフォルダを作成します。(M-16)
(ここでは、【Capture】フォルダを作成しています)



4 【オプション】メニュー ▶ 【EOS Capture】を選ぶ

→ EOS Captureメイン画面が表示されます。



- OS Xでリモート撮影を終了するには、【EOS Capture】メニュー ▶ 【EOS Captureを終了】を選びます。
- OS 9でリモート撮影を終了するには、【ファイル】メニュー ▶ 【終了】を選びます。

 EOS Captureは、EOS Viewer Utilityの機能の一部です。そのため、EOS Viewer Utilityを終了すると、EOS Captureも同時に終了します。

5 【リリース】ボタンを押して撮影する (M-90)

リモート撮影

パソコンからカメラをコントロールして、1枚撮影やタイマー撮影、インターバルタイマー撮影を行うことができます。撮影された画像は、自動的にパソコンへ保存されます。

! リモート操作は、必ずカメラが撮影可能な状態で行ってください。撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、手順通りの操作ができません。

1枚撮影

1 カメラを撮影できる状態にする

2 各種の設定を行う

- カメラの設定については、「カメラ設定」(M-94)、「ホワイトバランス補正」(M-96)を参照してください。
- 撮影画像の保存については、「保存先設定」(M-93)を参照してください。

3 **【レリーズ】** ボタンを押す

→ 撮影された画像がEOS Viewer Utilityに表示され、自動的にパソコンへ保存されます。



! 〈スペース〉キーを押して撮影することもできます。

RAW画像撮影時の転送時間の目安

EOS-1D Mark II	約8秒
EOS-1Ds	約15秒
EOS-1D	約6秒

- ・ 転送時間はあくまでも目安です。使用しているパソコン環境や画像により、転送時間は大きく異なります。
- ・ JPEG画像で撮影したときは、上記の時間より短くなります。
- ・ 転送時間は、当社試験基準によります。
(OS : OS X / CPU : Power PC G4 700MHz / RAM : 256MB使用時、[カメラ内のメモリカードにも保存する] チェックボックスのチェックを外して、EOS Captureメイン画面の【リリース】ボタンを押したときに、EOS Viewer Utilityメイン画面へ画像が表示されるまでの時間)



オートフォーカスではピントが合わないとは撮影できません。オートフォーカスで撮影できないときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてから撮影してください。



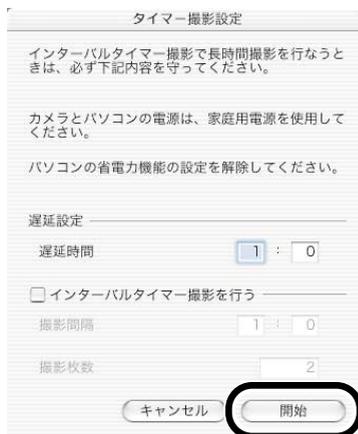
パソコンのハードディスク空き容量により、撮影できる枚数が変わります。撮影可能枚数は、【撮影可能枚数】(M-94)で確認することができます。

タイマー撮影

- 1 【ツール】メニュー ▶ 【タイマー撮影】を選ぶ
→ 【タイマー撮影設定】画面が表示されます。

- 2 遅延時間を入力して【開始】ボタンを押す

- 1秒単位、0分0秒～99分59秒までの範囲で設定します。
- タイマー撮影が行われます。



インターバルタイマー撮影

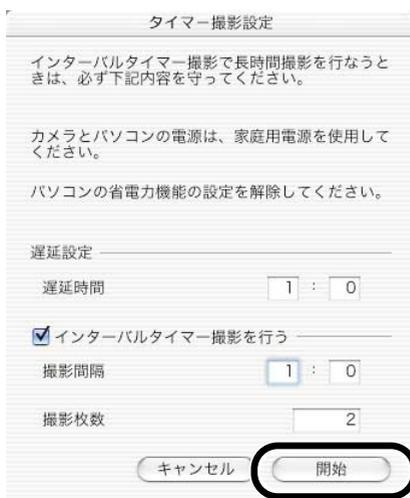
- 1 **【ツール】メニュー ▶ 【タイマー撮影】を選ぶ**
 → **【タイマー撮影設定】**画面が表示されます。

- 2 **【インターバルタイマー撮影を行う】**チェックボックスをチェックする



- 3 **撮影間隔と撮影枚数を入力して【開始】ボタンを押す**

- 撮影間隔は1秒単位、5秒～99分59秒までの範囲で設定します。
 - 撮影枚数は、最大1999枚まで設定できます。
- 入力した撮影間隔で、入力した枚数のインターバルタイマー撮影が行われます。



🔊 使用しているパソコンによっては撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

カメラを設定する

カメラの設定をリモート操作でパソコンから確認したり、再設定することができます。

- ④ 設定は、必ずカメラが撮影可能な状態で行ってください。撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、設定できない項目があります。

保存先設定

画像の保存先やファイル名を設定します。

- 1 **【ファイル】メニュー ▶ 【保存先設定】を選ぶ**
→ **【保存設定】**画面が表示されます。

- 2 **各項目を設定して【OK】ボタンを押す**

保存設定画面

チェックするとカメラ内のメモリーカードにも撮影画像が保存されます。

撮影画像の保存先を変更します。**【参照】**ボタンの横には、保存先のフォルダ名が表示されます。

The screenshot shows the '保存設定' (Save Settings) screen with the following fields and buttons:

- 保存先 (Save Location):** A text field containing 'DATA1:Photo' and a '参照...' (Reference) button.
- カメラ内のメモリーカードにも保存する (Save to memory card in camera):** A checkbox that is currently unchecked.
- ファイル名の設定 (File Name Setting):** A text field containing 'Image_'.
- ファイル名 (半角18文字以内) (File Name (within 18 half-width characters)):** A text field containing 'Image_'.
- ファイル名開始番号 (File Name Start Number):** A text field containing '0000'.
- Buttons:** 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons.

Annotations and their corresponding text:

- Line 1: Points to the 'カメラ内のメモリーカードにも保存する' checkbox. Text: チェックするとカメラ内のメモリーカードにも撮影画像が保存されます。
- Line 2: Points to the '参照...' button. Text: 撮影画像の保存先を変更します。**【参照】**ボタンの横には、保存先のフォルダ名が表示されます。
- Line 3: Points to the 'ファイル名' field. Text: 撮影画像に付けるファイル名を入力します。ファイル名は半角英数字で18文字まで入力できます。
- Line 4: Points to the 'ファイル名開始番号' field. Text: ファイル名の後に付ける連番を0000～9999の範囲で入力します。
- Line 5: Points to the 'OK' button. Text: 設定内容が適用され、**【保存設定】**画面を閉じます。
- Line 6: Points to the 'キャンセル' button. Text: 設定内容をすべて破棄して、設定前の状態に戻します。

カメラ設定

カメラの設定内容を確認したり、設定することができます。

● EOS-1Dは設定内容の確認のみで、設定はできません。

1 カメラの設定内容を確認する

色温度

色温度を2800K~10000Kの範囲で設定します。

撮影モード

撮影モードを表示/設定します。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを表示/設定します。

測光モード

測光モードの設定内容を表示/設定します。

シャッター速度

Tv (シャッター速度) を表示/設定します。
(撮影モードが絞り優先AE、プログラムAEに設定されているときは表示されません)

絞り数値

Av (絞り数値) を表示/設定します。
(撮影モードがシャッター優先AE、プログラムAEに設定されているときは表示されません)

ISO感度

ISO感度を表示/設定します。

記録画質

記録画質を表示/設定します。

保存先表示

撮影画像の保存先を表示します。
(【カメラ内のメモリーカードにも保存する】チェックボックスをチェックすると、カメラとPCアイコンが表示され、チェックを外すとPCアイコンのみが表示されます)

露出補正

露出補正值を表示/設定します。

ドライブモード

ドライブモードの設定内容を表示します。

ブラケット撮影*

ブラケット撮影の設定状態を表示します。
(WBB/AEB/ISOB/FEBのいずれかが設定されているときに表示されます)

電源状態

カメラのバッテリー残量を【】または、【】で表示します。DCカプラーキットを使用したときは【】が表示されます。

AFモード

AFモードの設定内容を表示します。

撮影可能枚数

撮影可能な画像の枚数を表示します。

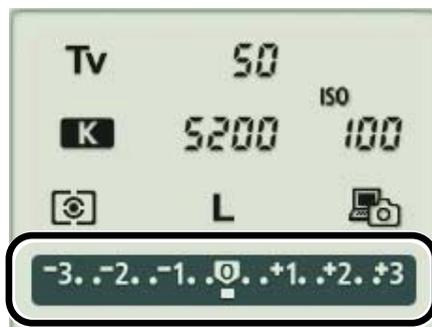
警告表示

設定が不適切なため、リモート撮影が行えないときに表示されます。

※ 上記の画面は、すべての情報を表示した状態です。実際には、状況に応じた情報のみ表示されます。

● *はEOS-1Ds、EOS-1Dでは表示されません。

- 2 アイコンをクリックする
- ここでは、露出補正を例にしています。

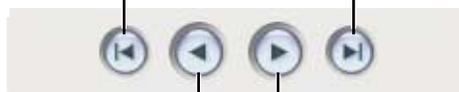


M

- 3 ボタンを操作して設定値を変更する

最小値設定ボタン
最小の値に設定します。

最大値設定ボタン
最大の値に設定します。



1つ上設定ボタン
1つ大きい設定値に変更します。

1つ下設定ボタン
1つ小さい設定値に変更します。

➔ 設定が変更され、カメラに適用されます。

5

ホワイトバランス補正

ホワイトバランスを補正することができます。

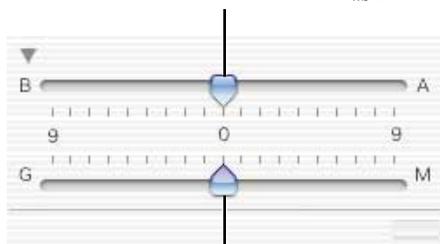
- 画面が表示されていないときは、【▶】 ボタンを押して表示します。
- この機能はEOS-1D Mark IIのみ対応しています。

設定内容を変更する

- スライダーを操作して設定します。

LBフィルタースライダー

ブルー／アンバー寄りのデジタルカラーフィルターでホワイトバランスを補正します。



CCフィルタースライダー

グリーン／マゼンタ寄りのデジタルカラーフィルターでホワイトバランスを補正します。

- 設定が変更され、カメラに適用されます。

トラブルシューティングと ソフトウェアの削除

6

この章では、トラブルシューティングや、ソフトウェアの削除について説明します。

M

トラブルシューティング.....	M-98
ソフトウェアを削除する（アンインストール）.....	M-100
索引.....	M-101

トラブルシューティング

「カメラとパソコンが通信できない」、「ソフトウェアが正しく動作しない」というときは、以下の項目を確認してください。

ソフトウェアをインストールしたのに、カメラとパソコンが通信できない

- 使用しているパソコンは、以下に該当していますか？
 - FireWire (IEEE1394) 接続部を標準装備したMacintosh
 - ※ 標準装備以外のMacintoshでFireWire (IEEE1394) 接続を行ったときの動作保証はしていません。
- カメラとパソコンが正しく接続されていますか？
 - 専用ケーブルで、カメラとパソコンを正しく接続してください。(M-8)
- カメラのバッテリー残量は十分ですか？
 - パソコンからカメラへの電源供給は行われません。カメラにDCカプラーキットを接続するか、充電済みのバッテリーを入れてカメラとパソコンを接続してください。
- 2台以上のカメラをパソコンに接続していませんか？

1台のパソコンに2台以上のカメラを接続すると、ソフトウェアおよびカメラが正しく動作しないことがあります。

 - ソフトウェアを終了してすべての専用ケーブルをパソコンから取り外します。そのあと、1台のカメラだけをパソコンに再度接続してください。

ソフトウェアが起動しないまたは、正しく動作しない

● ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている？

→ ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている可能性があります。

すべてのソフトウェアを終了して、**[Preferences]** フォルダ (OS 9では **[初期設定]** フォルダ) から **[Canon CameraCom Pref]** ファイルと使用するソフトウェアのファイルを削除し、ソフトウェアを起動してください。

OS Xを使用しているときは、システムが保存されているハードディスクドライブをダブルクリック ▶ **[ホーム]** ボタンをクリック ▶ **[ライブラリ]** (**[Library]**) フォルダ ▶ **[Preferences]** フォルダの順にダブルクリックして **[Preferences]** フォルダを開き、目的のファイルを削除します。

OS 9を使用しているときは、システムが保存されているハードディスクドライブ ▶ **[システムフォルダ]** ▶ **[初期設定]** フォルダの順にダブルクリックして **[初期設定]** フォルダを開き、目的のファイルを削除します。

- ・ Canon CameraCom Pref 各ソフトウェアが共通に使用する通信用の初期設定ファイル
- ・ CanonEOSViewerUtility Pref EOS Viewer Utilityの初期設定ファイル
- ・ com.canon.EOS Capture.plist EOS Captureの初期設定ファイル
- ・ PhotoStitch初期設定 PhotoStitchの初期設定ファイル

M

6

トラブルシューティングとソフトウェアの削除

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

ここでは、EOS Viewer Utilityを例にしています。他のソフトウェアを削除するときも同様の手順で行います。

- ソフトウェアの削除は、OS X、OS 9とも同様の手順で行います。
- ソフトウェアの削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用ケーブルをパソコンから取り外してください。
- 削除するフォルダやソフトウェアをゴミ箱に移動したときは、**【Finder】**メニューから**【ゴミ箱を空にする】**（OS 9では、**【特別】**メニューから**【ゴミ箱を空に】**）を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- **【Canon Utilities】** フォルダを開きます。



2 削除したいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上で **【Finder】**メニュー ▶ **【ゴミ箱を空にする】** を選ぶ

- OS 9では、**【特別】**メニュー ▶ **【ゴミ箱を空に】** を選びます。
→ 画像が消去されます。

- ゴミ箱にフォルダを移動して削除するときは、大切な画像をいっしょに削除しないように、十分注意してください。
- ソフトウェアの削除が終了したら、パソコンを再起動してください。

索引

英数字

AFフレームの確認	M-22
EOS Captureメイン画面	M-89
EOS Viewer Utilityメイン画面	M-13
EOS Viewer Utilityを起動する	M-12
ICC	M-45
IPTC情報設定	M-51
JPEG記録画質設定	M-86
PhotoStitchで画像を合成する	M-54
RAW画像の現像について	M-29
RAW画像を編集する	M-29
RAW調整ツールパレット	M-15

あ

インストール	M-4
音声を再生する	M-28

か

カスタムホワイトバランス設定	M-82
画像情報の確認とコメント入力	M-27
画像にチェックマークをつける	M-24
画像にプロテクトをかける	M-26
画像の表示サイズを選ぶ	M-22
画像を印刷する	M-28
画像を選ぶ	
プレビュー画面で画像を選ぶ	M-23
メイン画面で画像を選ぶ	M-23
画像を回転する	M-26
画像を消去する	M-27
画像を条件で選ぶ	M-24
画像を取り込む	M-16
画像を編集する	M-26
画像を保存する	M-45
カメラ設定	M-56
カメラ設定 (EOS Capture)	M-94
カメラとパソコンを接続する	M-8
カラー調整	M-43
カラーマトリックス設定	M-84
カラーマトリックスの設定内容に ついて	M-42
カラーマトリックスを選ぶ	M-41
環境設定	M-50

基本設定	M-57
現像条件を設定する	M-30
現像パラメーター設定	M-78
コントラストを選ぶ	M-40

さ

撮影設定	M-77
サムネイル表示	M-20
シャープネスを選ぶ	M-44
所有者名を設定する	M-57
操作の流れ	5
ソフトウェア動作環境	M-2
ソフトウェアの主な機能	
EOS Viewer Utility/EOS Capture	.4
PhotoStitch	.4
ソフトウェアを削除する	M-100

た

対応画像形式について	M-17
デジタル露出補正	M-31
トラブルシューティング	M-98
トーンカーブ設定	M-80
トーンカーブ調整	M-37
トーンカーブについて	M-40
トーンカーブを保存する	M-39
トーンカーブを読み込む	M-39

は

パーソナル機能設定	M-58
パーソナル機能設定を保存する	M-76
パーソナル機能設定を読み込む	M-76
パーソナル機能で設定できる内容	M-62
日付/時刻を設定する	M-57
プレビュー画面	M-20
保存先設定 (EOS Capture)	M-93
ホワイトバランス補正 (EOS Capture)	M-96
ホワイトバランスを調整する	
色温度を設定する	M-33
クリックホワイトバランス	M-34
ホワイトバランスを選ぶ	M-32
ホワイトバランスを補正する	M-35
ホワイトバランスを保存する	M-36



ら

リモート撮影

1枚撮影.....	M-90
インターバルタイマー撮影.....	M-92
タイマー撮影.....	M-91
リモート撮影機能を起動する.....	M-88
レタッチソフトに画像を送る.....	M-48



キヤノン株式会社 canon.jp
キヤノン販売株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

お客様相談窓口

製品の取り扱い方法、修理サービスのご相談は、機種名をご確認のうえ、お買い上げの販売店または、別紙のサービス窓口にご相談ください。

キヤノンカメラサイトのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。カメラに関する情報を掲載しているコンテンツ等もございますので、インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

キヤノン株式会社／キヤノン販売株式会社
canon.jp/camera

- この使用説明書は、2004年2月に作成したものです。それ以降に発売された製品との組み合わせにつきましては、別紙のサービス窓口にお問い合わせください。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
- 本誌に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、付属のソフトウェアと微小に相違することがあります。